

令和5年度車座集会の開催結果概要

○開催概要

「地区の現況と課題、これまでの取組み、地区をまたがる地域の課題」をテーマに、今後の地区におけるまちづくりについて、防災や見守り、地域コミュニティなど、地区をどのようにしたらもっと暮らしやすくなるのか、これまでの地区での取組みを振り返りながらご意見を伺い、区の政策・施策の検討に活かすことを目的に開催した（令和5年6月～9月）。

○開催結果

地域	地区	日付	曜日	時間		参加者数
				10～12時	14～16時	
世田谷	池尻	8月19日	土	○		25
	太子堂	9月10日	日		○	18
	若林	6月24日	土		○	22
	上町	6月24日	土	○		30
	経堂	8月20日	日		○	34
	下馬	7月23日	日		○	19
	上馬	9月3日	日		○	26
北沢	梅丘	7月23日	日	○		19
	代沢	7月16日	日	○		24
	新代田	7月16日	日		○	18
	北沢	8月26日	土	○		13
	松原	7月22日	土	○		25
	松沢	8月27日	日		○	21
玉川	奥沢	8月26日	土		○	31
	九品仏	9月23日	土	○		24
	等々力	7月15日	土	○		39
	上野毛	9月9日	土	○		20
	用賀	7月29日	土	○		24
	二子玉川	9月24日	日	○		19
	深沢	9月9日	土		○	22
砧	祖師谷	6月25日	日	○		27
	成城	7月15日	土		○	20
	船橋	8月20日	日	○		19
	喜多見	6月25日	日		○	25
	砧	9月10日	日	○		25
烏山	上北沢	7月2日	日	○		23
	上祖師谷	9月24日	日		○	19
	烏山	7月2日	日		○	30
合計						661名

○項目別意見・質問数

車座集会当日の質問への回答、「意見・質問票」への回答、「電子申請により提出された意見」への回答を以下の項目に分けてまとめた。

項目

「まちづくり」、「町会・自治会・コミュニティ」、「DX」、「防災」、「安心・安全」、「環境・清掃・リサイクル」、「福祉」、「子ども」、「みどり・公園」、「道路・街づくり」、「交通」、「教育」、「公共施設」、「その他」

【全区】※地区別の意見・質問数は次頁のとおり。

項目	件数	
まちづくり	36	件
町会・自治会・ コミュニティ	61	件
DX	24	件
防災	69	件
安心・安全	14	件
環境・清掃・ リサイクル	25	件
福祉	50	件
子ども	46	件
みどり・公園	30	件
道路・街づくり	100	件
交通	65	件
教育	97	件
公共施設	76	件
その他	143	件
合計	836	件

地区別意見・質問数

【世田谷地域】

項目	池尻	太子堂	若林	上町	経堂	下馬	上馬	合計
まちづくり	0	4	2	0	1	0	0	7
町会・自治会・ コミュニティ	4	2	3	5	0	3	1	18
DX	0	0	3	0	1	3	0	7
防災	2	2	5	2	4	2	1	18
安心・安全	0	0	1	0	0	0	0	1
環境・清掃・ リサイクル	1	0	0	0	0	1	3	5
福祉	2	0	2	1	5	5	1	16
子ども	1	0	1	1	0	1	1	5
みどり・公園	0	1	0	2	2	1	1	7
道路・街づくり	5	0	0	2	7	1	3	18
交通	1	3	0	2	2	0	2	10
教育	5	3	2	0	1	0	5	16
公共施設	3	2	3	9	3	1	2	23
その他	9	1	1	7	11	7	3	39
合計	33	18	23	31	37	25	23	190

【北沢地域】

項目	梅丘	代沢	新代田	北沢	松原	松沢	合計
まちづくり	0	2	2	6	0	0	10
町会・自治会・ コミュニティ	1	1	0	1	3	2	8
DX	0	3	0	0	1	0	4
防災	2	1	0	6	2	5	16
安心・安全	3	0	1	2	0	1	7
環境・清掃・ リサイクル	0	0	4	4	2	0	10
福祉	4	0	3	1	3	2	13
子ども	0	2	1	2	2	0	7
みどり・公園	1	4	0	1	0	6	12
道路・街づくり	6	1	3	5	11	2	28
交通	3	2	2	0	4	2	13
教育	1	3	3	13	0	2	22
公共施設	0	6	1	3	1	0	11
その他	2	3	11	7	5	4	32
合計	23	28	31	51	34	26	193

【玉川地域】

項目	奥沢	九品仏	等々力	上野毛	用賀	二子玉川	深沢	合計
まちづくり	0	1	0	1	0	9	1	12
町会・自治会・ コミュニティ	1	3	2	3	6	1	6	22
DX	0	0	2	1	1	1	1	6
防災	2	0	4	5	4	1	1	17
安心・安全	0	0	1	0	0	0	0	1
環境・清掃・ リサイクル	1	0	1	2	0	0	0	4
福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども	2	2	11	1	2	2	0	20
みどり・公園	0	2	2	1	1	0	0	6
道路・街づくり	1	1	3	3	1	6	2	17
交通	6	1	5	0	3	1	5	21
教育	4	2	10	4	2	5	0	27
公共施設	8	3	1	3	2	2	2	21
その他	4	10	2	3	2	5	6	32
合計	29	25	44	27	24	33	24	206

【砧地域】

項目	祖師谷	成城	船橋	喜多見	砧	合計
まちづくり	2	1	1	0	1	5
町会・自治会・ コミュニティ	1	0	3	0	4	8
DX	1	1	1	1	0	4
防災	8	2	2	2	1	15
安心・安全	0	0	0	4	0	4
環境・清掃・ リサイクル	0	1	3	0	1	5
福祉	3	3	5	2	2	15
子ども	3	2	0	3	2	10
みどり・公園	0	0	1	0	1	2
道路・街づくり	4	2	5	2	6	19
交通	4	2	1	2	6	15
教育	5	2	2	12	1	22
公共施設	2	2	2	1	4	11
その他	7	8	7	1	4	27
合計	40	26	33	30	33	162

【烏山地域】

項目	上北沢	上祖師谷	烏山	合計
まちづくり	2	0	0	2
町会・自治会・ コミュニティ	2	3	0	5
DX	1	1	1	3
防災	1	1	1	3
安心・安全	0	1	0	1
環境・清掃・ リサイクル	1	0	0	1
福祉	0	1	5	6
子ども	2	1	1	4
みどり・公園	0	1	2	3
道路・街づくり	7	1	10	18
交通	2	3	1	6
教育	1	2	7	10
公共施設	1	4	5	10
その他	7	3	3	13
合計	27	22	36	85

令和5年度車座集会
地区別質問・意見等（要旨）

令和5年12月
世田谷区

<目次>

○質問・意見等(要旨)

世田谷地域

池尻地区	・・・ P 3
太子堂地区	・・・ P 8
若林地区	・・・ P 13
上町地区	・・・ P 17
経堂地区	・・・ P 22
下馬地区	・・・ P 30
上馬地区	・・・ P 34

北沢地域

梅丘地区	・・・ P 39
代沢地区	・・・ P 43
新代田地区	・・・ P 47
北沢地区	・・・ P 51
松原地区	・・・ P 57
松沢地区	・・・ P 63

玉川地域

奥沢地区	・・・ P 69
九品仏地区	・・・ P 74
等々力地区	・・・ P 79
上野毛地区	・・・ P 87
用賀地区	・・・ P 93
二子玉川地区	・・・ P 97
深沢地区	・・・ P 102

砧地域

祖師谷地区	・・・ P 106
成城地区	・・・ P 112
船橋地区	・・・ P 115
喜多見地区	・・・ P 121
砧地区	・・・ P 125

烏山地域

上北沢地区	・・・ P 130
上祖師谷地区	・・・ P 135
烏山地区	・・・ P 139

○要望等一覧	・・・ P 146
--------	-----------

○アンケート集計結果	・・・ P 155
------------	-----------

地区別質問・意見等(要旨)

車座集会当日の質問への回答、「意見・質問票」への回答、「電子申請により提出された意見」への回答を以下の項目に分けてまとめた。

項目

「まちづくり」、「町会・自治会・コミュニティ」、「DX」、「防災」、「安心・安全」、「環境・清掃・リサイクル」、「福祉」、「子ども」、「みどり・公園」、「道路・街づくり」、「交通」、「教育」、「公共施設」、「その他」

○池尻地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	町会の加入率低下についてどう考えているか。どのように町会会員を増やすことができるのか。	地区の活動団体が共に地区の課題解決に取組み、それをまちづくりセンターが支援することが地域行政推進条例の理念である。また、インターネット上での広報に力を入れようと思っている。アプリ等を活用すれば若い世代が集まると思う。
町会・自治会・コミュニティ	大学と地域の交流の場を定期的に設けたいと考えているが、在学中の4年間しか地域にいないので、どのように進めていけばいいか考えがあれば教えて欲しい。	地域振興課で地域交流ラボを取り仕切っているので、やりたいことなど要望を出していただければ、検討していく。
町会・自治会・コミュニティ	町会の活動に参加する人が少ない中、行政からの依頼が多すぎる。もっと簡素化してほしい。	会議の重複等、整理をかけられるところをご意見をいただきながら検討していきたい。
防災	在宅避難は良いと思うが、オール電化のマンションなどは在宅避難ができず、避難所に押しかけてくるのではないか。	在宅避難は、水や食料、情報など避難所にいけば届くものが届かないという課題がある。各町会でも在宅避難の取組みを研究してもらい、区としても情報や必要最低限の水・食料の供給についての仕組みを提示していきたい。

防災	感震ブレーカーを、希望者全員に無償で配布することを要望する。	区では、あっせんによる防災用品の購入支援のなかに感震ブレーカーを入れており、普及啓発を進めてきている。また、今年度、都において木造密集地域の2階建て以下の木造住宅へ、感震ブレーカーの無償配布事業が行われている。配布対象地域以外への配布については、都の事業や他自治体の動向や、効果などを検証しながら引き続き初期消火への支援を進めていく。
環境・清掃・リサイクル	管理人のいないアパートのごみの扱いが粗末である。	あまりひどい状態であれば、担当部署が注意に出向くので、まちづくりセンターを通して知らせてほしい。
福祉	介護保険の利用者でなくても、困ったときにヘルパーを呼べるような制度があるといい。	介護保険制度では一時的なヘルパー派遣には踏み込めていない。福祉の相談窓口にご相談いただき、よい方法を一緒に考えるようにしたい。
道路・街づくり	東京都道420号線沿道(補助26号線)の商業地域化は反対である。	現在のところ用途地域の変更は考えておらず、これまでに策定した地区計画等に基づき、建築物の不燃化の促進などにより、防災性の向上を図る街づくりを進めていく。
道路・街づくり	三太通り道路整備の担当部署はどこか。本件については、全て竣工しているのか。6m道路の整備を目的としたにも関わらず、一般車両等の駐停車が多く、歩行者の安全が確保されているとは思えない箇所があり、改良が急務である。	沿道地権者等のご協力により、概ね90%の用地取得状況であり、令和8年3月31日までを事業期間として完成を目指している。歩行者の安全対策については、現場の状況を確認し警察とも相談しながら検討していく。担当部署は、道路事業の担当は世田谷総合支所街づくり課、道路整備の担当は土木部工事第一課である。
道路・街づくり	三太通り沿道会議にコンサルタントが参加しているが、専門的な見地があまり反映されていないように感じる。	まちづくりの専門家にファシリテーターとして参加してもらい、中立的な立場での会議進行を依頼している。そのため、専門家としての個人的な見解が反映されることは少なく、会議中の意見を参加者に分かりやすく説明していただいている。今後、専門家の意見を反映することで、より良い会議になるよう努める。

道路・街づくり	狭あい道路拡幅に協力する土地所有者に奨励金を出す条例を議会に提案することを要望する。	公道の狭あい道路のうち、建築基準法第42条第2項又は同法第43条第2項の後退用地を2面以上の寄附又は東京都建築安全条例第2条に規定する隅切りを寄附した場合は、条例に準拠し後退用地は路線価の4分の1、隅切りは平均路線価の2分の1の額を、200万円を上限として、申請に基づき奨励金として交付している。
交通	補助26号線（都道420号線）にバス路線を通してほしい。	現在、バス会社は経営上厳しく、運転手も集まらない状況であり、今あるバス路線を維持し、廃止の場合の代替を作ることに取り組んでいる状況である。ご意見については、新しい移動手段の公共的な活用という大きなテーマとして考えていきたい。
教育	若者世代向けに職場体験の場をつくってほしい。	区教育委員会では、「キャリア教育」として、教室にとどまらず様々なところに出かけていこうということを方針にしている。また、ものづくり学校が来年秋にリニューアルオープンし、中高生を対象とした企画も準備中である。
教育	知らない人に電話をかける電話相談よりも、身近で知っている人に相談できる児童館はとても良い。児童館で相談ができることをもっと広めたい。	様々な相談ができることが分かるよう、大きな表示を付けることを検討する。
教育	児童館でもゲームやスマホで遊ぶ人が多く、体を動かす楽しさを知ってもらうためにスポーツ選手と交流する機会を作ってほしい。	コロナでほとんど交流できなかったが、五輪でアメリカ選手団に大蔵運動場を提供したのは、若者たちと交流してほしいということだった。今後も児童館とスポーツ選手の交流を考えていく。
教育	児童館の音楽室の音響機器や楽器を増やしてほしい。	予算に限りがあるが、できるだけ揃えられるよう努力している。大きな音を出せる児童館は少ないため、ご意見は参考にしたい。

公共施設	池尻中学校跡地の活用について、担当部署と定期的に話し合いをしている。広いグラウンドは貴重なので、お互いにメリットがあるような関係を維持できるように、話し合いの場を継続したい。	ご要望は経済産業部にお伝えする。
公共施設	池尻小学校の防災倉庫の工事があるが、中学校側の体育館がトリアーの会場のため、工事中も行き来ができるよう引き続き話しをしたい。	
公共施設	けやきネットで予約できる会議室が少なく、予約しにくい。また、会議室が広すぎて料金が高い。広い会議室はパーティションで仕切ることや、新たな施設を建てることなどを考えてほしい。	けやきネットを通して利用できる三軒茶屋周辺の集会施設は、太子堂区民センター、三軒茶屋区民集会所があり、安価な料金で使用できる会議室がある。区の財政上施設を新たに作るのは難しいが、ご意見は今後の施設利用の在り方等の参考にさせていただく。
その他	不動産の評価額が上がると固定資産税が上がる。下がることはないのか。	若者や子育て家庭のために、安くて良質な住宅を提供できないか検討しているが、売買そのものをコントロールするのは国の力が必要だと思う。
その他	太子堂2丁目に壁が崩れている家があり、区に連絡したが対処されていない。	建築安全課に連絡をして、所有者には連絡をしている。
その他	太子堂2丁目に穴があいているマンホールがあり、区に連絡している。	現場を確認し、下水道局等管理者に連絡する。
その他	地区の困りごとをまとめたパンフレット等を作るのはどうか。また、コンシェルジュのように、困ったときに簡単に相談できる人を作ってみたらどうか。	冊子にするようなアイデアだけでなく、チャットボット等のデジタル技術を活用していきたい。
その他	物件に表示をせず民泊事業をしている「違法民泊」について対応してほしい。また住居地域に民泊があるのは迷惑だが、解決策があるのか。	民泊のルールをもう一度周知していく。届出のない民泊については、通報していただき厳しく対処したい。

その他	ふるさと納税に関連して、地方交付税が交付される団体と交付されない団体の違いは何なのか。また、返礼品について良いアイデアがあれば教えて欲しい。	地方交付税は財政運営が健全だと交付されない。区でもスイーツや食事券などを返礼品として寄付額は増えたが、それ以上に流出額が増えている。皆さんから良いアイデアがあれば募りたい。引き続き制度のあり方について国に訴えていく。
その他	区の今後のふるさと納税対策として、出版本や区史を返礼品とするのはどうか。	他自治体にお住まいの方からの寄附（ふるさと納税）獲得につなげるため、世田谷の魅力を伝え、来街を促すような、お礼の品の大幅な充実にも取り組んでいる。
その他	民泊の届出物件にはその旨を示す標識を掲示させてほしい。民泊に対する地域の不安、苦情を区の担当部署で対応してもらいたい。また、住宅地域においては、決議は実行しにくいですが、集合住宅においては管理組合で決議すれば民泊禁止にできるのか。	民泊には旅館業法や住宅宿泊事業法に基づき運営している施設があり、住宅宿泊事業の届出施設は法律で定められた標識を設置する義務がある一方、旅館業施設には標識等を設置するルールがない。 建物の区分所有者等に関する法律に基づき、マンション管理規約等に定めることで住宅宿泊事業を禁止することは可能だが、自治会等のルールで地域における住宅宿泊業を禁止した場合は法的な効力はない。今後も住宅宿泊業及び旅館業の監視指導に努める。
その他	「旧大山通」という案内標識があるが、これは誤りで、「旧大山道」である。この標識を設置するにあたり、歴史に係る担当部署に相談・確認しないのか。	ご指摘のとおり「旧大山道」とすべきであった。お詫び申し上げます。該当の標識は年内に修正する。

○太子堂地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	<p>三軒茶屋の再開発をどうするかという三茶話会に参加しており、その中でウォーカブルシティという言葉が出てくる。これに関して下北沢の再開発を好事例として、持続可能な社会をどのようにつくっていくかというテーマで書かれた本があるので、職員やコンサルの方には知っておいていただきたい。</p>	<p>ウォーカブルシティは、歩いて楽しい、人間の身体、体の目の高さでまちづくりをしようということ。三軒茶屋をどうするかは、区として大きな課題。国道246号線や首都高、地下には田園都市線が走っているので構造的に難しい点がある。国道246号線で生活圏が分かれているので、どのように行き来を自由にできるかは、これから知恵を絞りながら考えていきたい。専門家の意見も聞きながら、地域、住まいの皆さんの声を反映させたまちづくりをしていきたい。</p>
まちづくり	<p>まちづくりセンターになぜデジタルサイネージを取り入れないのか。駅を降りたら駅の案内や地域の情報が分かるデジタルサイネージがあると良いと思う。また、銀行のATMで高齢者の振り込め詐欺が多いが、タッチパネルを操作するときに、おかしいと思ったときはどのように防げばいいか、銀行と協力して講習会をやってもいい。大学の学生たちも協力できる。若い力を活用して、若い人たちが地域に入ってくるということをやったらどうか。</p>	<p>デジタルサイネージは、太子堂出張所の前に試験的に置いて使っているが、駅前などもっと多くの方が見えるところに設置してはどうかというお話だと思う。区の広報の考えもあるが、担当部署と話してみたい。振り込め詐欺防止の講習会の話も出たが、三軒茶屋のまちの様々なプレーヤーが集まって一緒にまちについて考えていく流れができていくことが必要だと思う。三軒茶屋のまちづくりのプランについてワークショップなどを続けてきたが、さらにそれを発展させて輪を広げていきたい。</p>

まちづくり	<p>大学のある三軒茶屋が第2のホームタウンになり、地域の方と関係性を構築することで、町会の参加率の低下や高齢化を少しでも解消いかと考えている。そのために、大学に学生が地域や区の方と関係を構築できるハブをつくりたいと思っている。</p>	<p>地域に関わりたい学生が集まり、地域の人と交流できるチャンネルや機会をつくる用意をしていると理解した。若い世代の力を借りながら、つなげていただきたい。また、いつスタートし、どういう形になるのかなど、まちづくりセンターや大学を通して、地域の方に伝わるように発信をしてほしい。</p>
まちづくり	<p>大学と三軒茶屋のまちの関係があまりないと感じている。学校主催のプロジェクトで地域の方と関わることはあるが、永続的ではなく、地域や区の方と顔見知りになれないので、大学生がまちに入っていけないと思う。大学とまちをつなぐようなハブをつくり、まちの美化やスマホ教室などに参加していける関係を築きたいと考えている。</p>	
町会・自治会・コミュニティ	<p>多くの地区に共通する課題として、地域活動に参加する人の高齢化がある。他の地区はどうかを聞きたい。</p>	<p>どの地区の車座集会でも出る話題だが、前回より若い世代の参加が増え、地域の活動に参加したいがどうすれば良いか分からないという発言もあった。例えばワクチンのスマホ予約は、中学生や高校生でも教えることができる。まちづくりセンターにおいて、若い人たちが地域の人たちと向き合う場や機会を提供していく中で、町会活動や自治会活動のバトンを若い世代にも渡していく方法がある。その他にも、フリーマーケットや、子ども食堂のお知らせをする中で、高齢者の方や子育て世代も入れるよう工夫している。また、町会回覧をスマホで見るアプリを開発しようとしている町会もあり、デジタルが得意な人や若者、50代の方も入っていた。このような活動を通じて、幅を広げていけるとよい。</p>

町会・自治会・コミュニティ	三軒茶屋の駅前を掃除してきたが、吐しゃ物などの土曜日の盛り上がりの後始末に時間がかかった。このように日頃から地域で清掃しているが、区にもお手伝いいただけないか。	シルバー人材センターで、放置自転車の見回り・撤去をする方々が、ごみのポイ捨ても指導しながらやったことがある。このように、ほかの役割と兼ね合わせた方法を含めて、他の所管とも調整していきたい。
防災	D型ポンプは、ツーサイクルでエンジンがかかりにくい。また、ガソリンとオイルを自分で混ぜなくてはならず大変。冬場になるとかかりにくいのがほとんどであり、ほかの地区ではどう対応しているのか聞きたい。	D型ポンプは製造中止となっており、今後はD型ポンプも使いながらスタンドパイプでの消火活動が主流になるので、順次移行していただきたいと思う。ただし、D型ポンプも大事な役割があるので、使われる限り修繕や使い方について丁寧に説明と援助をしていく。
防災	賃貸している住宅の耐震性が心配である。建替えの予定はないとのことだが、区で行っている耐震の点検や補助などがあれば教えてほしい。	木造住宅耐震化支援事業の対象住宅であれば、無料の耐震診断を受けることが可能。ただし、申請者は所有者になるので、管理会社を通じて所有者に耐震診断を希望することを伝える必要がある。※希望により、本人と管理会社に事業のパンフレットを郵送した。
みどり・公園	世田谷地域の課題として、住宅建て替え時の緑化の推進や農地の保全が挙げられていたが、農地に住宅やマンションが建てられることが多い。また、相続が発生すると業者が土地を買って分筆してしまい、緑を増やそうといっても場所がない。まちづくりを進める中で、法や計画に基づく指導をしてもらいたい。	農地の保全については、相続の関係で売りに出される農地を購入して農業公園という形で保全し、区民や福祉団体が使用することが行われている。また、住居系の用途地域については、敷地面積の最低限度を設定し、細分化を防ぐ決まりが設けられている。地区計画という制度で、地域の特色に合わせ指定した土地の大きさを建築物を建築するようルール化されているところもある。

交通	<p>40年来、住民参加のまちづくりをやっているが、国道246号線の分断はずっと問題になっている。高速道路を造るときに立体交差を造ってしまい、横断歩道も信号も無くなってしまった。三軒茶屋の交差点から三宿の交差点まで横断するところがないというのは異常。横断歩道を作るように、国交省と警察に強く言ってほしい。</p>	<p>この地域で国道246号線を渡るには、歩道橋まで回るしかなく、歩道橋も非常に狭く不便で、まちが分断されざるを得ない仕組みになっている。これだけ人口が増え、にぎわいも生じてきたところで、人間をもっと優先しようという風潮になっているので、この分断問題については国にも意見をあげていく。</p>
交通	<p>昭和女子大学の歩道橋のすぐ向かい側にスーパーができる予定だが、行き来ができない。高齢者が荷物を抱えて歩道橋を行き来できるかなど、直近の問題である。是非、高速道路の高架の下を通れるようにしてほしい。また高架下は資材置場ではなく公園のような明るいイメージのものを作ってはどうか。</p>	<p>平成18年に世田谷区三軒茶屋駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を定め、令和元年から地域の方々と横断歩道設置に向けた検討をし、関係者で現地確認して、課題を検証してきた。警視庁からは、横断歩道を設置すると渋滞が発生してしまい、高速道路入口の交通安全対策、また信号機が設置できるのかという課題が判明し、設置が難しい状態になっているという意見をいただいている。課題解決に向けて、車両の安全性を確保するための交通の在り方や、甲州街道や幹線道路で横断歩道ができているものとの比較、補助26号線(都道420号線)が交通開放されたことに伴い交通量の変化があったかなどを街づくり課で調査し、世田谷警察署等に情報を提供し、課題解決できないか、警視庁も含めて検討している。横断歩道設置に向けては、国土交通省へ要望と情報提供をしていくが、まずは信号機が設置できるかどうかになるので、世田谷警察署及び警視庁と設置に向けたまちづくりを進めていきたい。</p>

交通	<p>国道246号線の横断歩道の問題は、何としても解決したい。歩道橋の幅を変えるのにも12年かかった。皆で力を合わせれば何とかなら、大学も全面的に協力したいので、定期的に関係者が集まる機会をつくってほしい。</p>	<p>情報収集を改めて行い、関係者の共有の場を持てるように、調整させていただきたい。</p>
教育	<p>世田谷市民大学は不便な場所にあるので、再開発の際などに便利な場所に移して、認知度を高めたほうが良いと思う。</p>	<p>市民大学は、生涯大学も含めて場所が東寄り過ぎるという声をいただいている。市民大学の講座を別の場所で行うことや拠点を移すということも将来の課題だと思っている。</p>
公共施設	<p>三茶しゃれなあとホールが移転するということが、移転後には児童館や図書館、子どもや介護が必要な方を一時的に預かってくれる場所をつくって欲しい。多くの人に商店街に来てもらいたいので、ぜひとも不特定多数の方が気軽に訪れることができるような場所にしてほしい。</p>	<p>産業プラザは、就労関係の相談窓口フロアをまとめたが、コロナもあり、ひきこもりの方を含めて相談件数が伸びてきている状況で、こちらの施設・機能を移転できないかを優先的に検討を進めている。児童館機能、多世代交流機能については、太子堂中学校の改築に合わせて整備するのが区全体の整備計画だが、まだ先になるため、それまでの間フロアの活用可能について調整させていただく。</p>
公共施設	<p>らぶらすが北沢総合支所にあった際は利用者が多かったが、三軒茶屋に移動してからは割とすいている。夏休み期間中の図書館は中高生でいっぱいなので、らぶらすをもっと利用できないのか。</p>	<p>決して不便な場所ではないが、将来は、多くの区民が来やすい場所に移すことも考えている。今年は、猛暑で図書館が満員になっている状況を受けて、学生に勉強する場所を開放しており、有効に使われていると思われる。</p>

○若林地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	地域行政推進条例について、発想は素晴らしいが、まちづくりセンターの職員数からして期待が大きいのではないか。	昨年10月の条例制定とともに地域行政推進計画を策定したが、今年度いっぱいまでの計画であり、現在、来年度からの計画を策定している。体制の強化等については認識しており、建物の制約など色々あるが、新しい技術を使うことも含めながら、今後何ができるか計画の中で検討していきたい。
まちづくり	身近なまちづくり推進協議会のコミュニティ部会について、予算が1万円しかないため、もう少し増やしてほしい。	支所の予算はあまり多くなく、まちづくりセンターの予算も限られている。地域行政推進条例制定時に予算の改革についても議論しているが、地域・地区のニーズに合わせて予算が届くように、仕組みを改革していきたい。
まちづくり	若者と高齢者、若者と地域の方々をいかにつなげていくか、若林や三軒茶屋をどういったまちにしていきたいか聞きたい。	希望丘中学校跡地にできた青少年交流センターは、「次の世代が地域を担うような場を作ってほしい」と強い要望があり開設した。若い人がそこに集まり、企画を通じて地域の人たちとの交流が生まれた。このように、多世代が共に生きるまちを目指したい。
町会・自治会・コミュニティ	大学の中に、学生が作った趣旨に賛同できる区民を呼んでくれるような、課外ゼミなりサークルをやってみたい。	地域交流ラボというものをやっているのですが、逆に、大学の中に地域の人が入っていけるような場について検討してほしい。
町会・自治会・コミュニティ	「いちのいち(町会・自治会向けSNS)」について、大変ありがたい取り組みだと思うので、十分に活用してやっていきたい。	「いちのいち」を使い始めている町会もあるが、手探りの状態である。始めていく際には、まちづくりセンターの若い職員、地域の中で、IT系で働いている方や国土館の学生など、若者のスキルとパワーを出して、定着させていただきたい。

町会・自治会・コミュニティ	町会・自治会と若い世代との連携について、「いちのいち」を活用しているが、なかなか広がらない。町会だけでなく地域を巻き込んだ独自のアプリを作っていきたいので、支援をお願いしたい。	「いちのいち」を改善したような独自アプリを開発されるということで、大変心強い。
DX	商店街と住宅地が結びついて発展していくような方策を新しいプラットフォームで実現したい。区のDX推進の方針である「参加と協働のRe・Design」と、どのように関連してくるのか。	デジタルツールにより横につながるような、デジタルデモクラシーという考え方を発展させたいと考えている。参加と協働のDXというのは、横のつながりを強くして、情報を受け取るだけでなく、発信したり、対面でつながったりというようにできればよいと考えている。
DX	区のLINE、メルマガ、ツイッター（現X）、インスタ、フェイスブックなど初めて聞いた。情報発信のやり方やITの運用など、みんなで話し合う機会があれば参加したい。	区の広報としては、紙の「区のおしらせ」のほか、ツイッター（現X）、フェイスブック、インスタグラムやLINEを使っている。このことを若者がよく接するところで広告を出すなど、良い方法があれば教えていただきたい。
DX	高齢者へのデジタル支援について、受動的なセミナーが多く、アウトプットの機会が少ない。今後のデジタル支援はどんなことを計画されているか。	まちづくりセンターや総合支所で受け止め、寄り添って、一緒に手続きをしてお手伝いすることはもちろん、お互い知り合い同士でサポートしあうことができたらなおいいと考えている。
防災	防災への備えとして、配慮が必要な方に対する区の実施計画をもう一歩進めて、具体的な支援を考えてほしい。	災害弱者の方がひとり暮らしの場合、避難できないということがある。その支援プログラムを早く作るべきだと議会からも提案があり、水害に近いところから作業を始めている。
防災	在宅避難について、宣伝を強化してほしい。	在宅避難については、力を入れている町会の取り組みなどをヒントに、食料や水の確保の重要性とあわせて周知していきたい。情報が入ってこないことと物資の確保が課題なので、在宅の方も避難しているという考え方で、対応する仕組みをつくっていききたい。

防災	同時発災型訓練について、区の防災フェアで実施してほしいという要請があり、ぜひ協力したい。	区長になってすぐに同時発災型訓練に参加して、当時はほかにほとんどやっていないような訓練だったため、大変感銘を受けた。また色々ご協力いただけるとのことで感謝する。
防災	防災訓練について、若い人の参加率が低く、年齢層に偏りがあるが、共助の面で課題だと思う。それに関する改善案を聞きたい。	地域には様々な方が住んでいる。皆さんが多様な形で、世代も超えて集まって来られる場所が必要なのかと思う。そういう場所があれば、災害時の訓練、あるいは実際に発災したときにも強いと思う。
防災	若林地区では、各丁目でLINEを使って防災情報を流している。各戸に二次元コードを貼ったチラシを入れて、加入者を増やしている。デジタルやSNSを使った広報に苦労しているとのことだが、既存のものを使ってどんどんやれば良いと思う。	LINEを使った防災情報の発信については、今まで聞いた中で一番進んでいる例だと思う。
安心・安全	若林地区の防災について何か提示したいとか考えているが、若林地区の防犯対策について何かあるのか、どのような犯罪対策を考えてほしいか聞きたい。	若林地区では、警察主導の防犯パトロールを各町会と実施している。地域住民が誰でも参加できる防犯パトロールができないか議論を始めたところである。区内では、特殊詐欺の対策として、啓発キャンペーンや自動通話録音機の配布をしている。また、還付金詐欺防止として、妨害電波を出すキャッシュディスプレイのボックスを昨年から設置している。
福祉	コロナはまだ終わっておらず、基礎疾患がある人にとってはリスクである。何かあった場合の相談先や、施設について聞きたい。	コロナが再燃する際には、緊急の体制に切り替えることを想定した配置をしている。お困りの点があれば、まちづくりセンターに福祉の相談窓口があるほか、総合支所であれば、保健福祉センターに相談いただければ適切なおところにおつなぎする。
福祉	旧若林小学校のハートフル若林で「ハートふるカフェ」を開催しているが、予算の支援を考えてほしい。	認知症とともに生きる希望条例を制定し呼びかけている以上、ボランティアの方々に運営の工夫をしていただくと同時に、支援体制を整備していきたい。

子ども	青少年交流センターについて現在3か所あるが、まずは区内5か所くらいを目標に増やしてほしい。	施設を造れるところは限られているが、効果も確認できているので、これから広げる方向で考えていきたい。
教育	三軒茶屋小学校について、建て替えて機能改善をしてほしい。	学校が一斉に改築の時期を迎えているが、営繕部門の職員数は変わらないため、年2~3校の改築がやっとである。仕事のやり方を変え、民間の力も入れて、もっと改築できるようにしたい。また共通の仮設校舎を使い回していける場ができないか検討している。
教育	区長4期目だが、教育に関してはどのようなことを行おうと考えているのか。	不登校の児童が増えており、行きたくなる学校に変わる必要があるが、教員の定数が埋まらないなど大変な人手不足である。若い教員を支えるベテランの教員が必要であり、特別支援教育のニーズも広がっているため、区で教員を採用できないか考えている。
公共施設	本庁舎建設の遅延について、工事を管理監督する区側サイドの管理が行き届かなかったのではないかな。	工事監理を行う事業者も、計画に不具合があったことを見抜けなかった。施工業者のミスで工期が伸びたため、その事業者が責任を負い、区民には負担をかけないことを原則に交渉する。
公共施設	旧若林まちづくりセンターを民間などに売ったりせず、地域のために施設として残してほしい	現在、本庁舎建替にあたり、一部事務所機能として職員が仕事をしている。また保存文書の保管スペースとして活用している。今後の跡地活用について検討し、地域にも情報提供しながら進めていく。
公共施設	保健センターの跡地活用について、一緒に考える場を設けてほしい。	平常時は地域コミュニティ、若者・子育て支援機能を作りながら、感染症のときには医療的などところに代わるような場所として個人的に考えている。今後どういう場にするか、地域の皆さんや議会とも議論しながら進めていきたい。

○上町地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	新聞の「声・気流」などを話し合う会を開催しているが、このような会を区長はどう思うか。またこの会を広げていくにはどうしたらよいか。	フラットな立場で、相手を否定せず話し合うことはとても素晴らしいと思う。チラシなどを見て参加する方がもっと増えればよい。また、活動の楽しさをInstagramなどの電子ツールで発信していくのも1つの方法。
町会・自治会・コミュニティ	地域の絆連携活性化事業の助成金について、備品の購入を可能としてほしい。	地域で活動している方々と町会の連携の仕方、備品の必要性やこれまでの継続性をみて整理したい。
町会・自治会・コミュニティ	小学校にあがるまでの母親のつどいの場はあるが、それ以上の母親の集まり場が見当たらない。コロナ禍もあけて色々情報やつながりが欲しいがない。	児童館にいる「子育てサポーター」は、子ども達の日常の活動や年間の大きな事業を手伝いや、企画を検討している。これらの活動を通して、保護者や地域の皆さんとの情報交換や交流が生まれている。サポーターの意見から、思春期の時期の親同士で話をする場が開催されたこともある。
防災	防災に関する予算は、各避難所に1万円しかない。町会にも予算はあるが、各避難所への振り分けが難しい。助成金制度や、分配をまちづくりセンターに任せるなど、制度の見直しをしてほしい。	予算と実態が乖離しているところはお話を伺い、お金の計上の仕方を改めて精査したい。
福祉	発達障害の診断を受けている子と違い、グレーゾーン（診断名なし）の子の就職の場が見えてこない。そのような子の支援の場を教えてほしい。	障害のある方の就労支援等を図る「障害者就労支援センター」や就労に向けた準備、仕事体験等の支援を目的とした「せたがや若者サポートステーション」、生きづらさを抱えた若者の支援を目的とする「メルクマールせたがや」、生活全般にわたる困りごとの相談窓口「ぷらっとホーム世田谷」等、障害の有無に関わらず就労等に関する多様な支援機関があり、必要に応じ機関同士が連携しながら支援にあたっている。また、ハローワークでは、障害者手帳や診断書の有無に関わらず様々な相談に専門的に対応している。児童発達支援及

		<p>び放課後等デイサービスでは、障害のあるお子さんの日常生活における基本的な動作の指導や集団への適応訓練などを行っており、就職に関する直接的な支援は行っていないが、お子さんの将来等、現状ご不安に感じることについては、各事業所のスタッフに相談することができる。</p> <p>中学校においては高校等への進学についての進路相談と合わせ、将来の就労を見据えた指導・相談を行っている。特別支援教室（すまいるルーム）においても、生徒本人の特性に応じた進路指導を行っている。また、進学先の高校などと、情報の共有や引継ぎ等を行っており、自分の特性に合う将来の職業や生活を想像していくためのサポート体制を構築している。なお、令和3年度より全ての都立高等学校や都立中等教育学校において、通級による指導を実施できる仕組みとなった。</p>
子ども	<p>育仕両立支援ルーム「イクシモ」を立ち上げた。仕事と子育ての両立にポイントを置いたプログラムを実施しているので、よろしく願いしたい。</p>	<p>区では妊娠から出産、保育園・幼稚園に通うまでの間の、在宅子育ての支援がひとつつながりにない部分がある。イクシモのような取組みを地域で横に広げ、まちづくりセンターでも情報共有できるようにしていただければと思う。</p>
みどり・公園	<p>生産緑地について、将来的に農地を住民が手放したとき、区はどういった形で保全・利用していくのか。</p>	<p>農園を農業公園として区で買い取ることに、力を入れたいと思っている。農地の保全だけでなく、区民が農に関わる、土に触れる機会を増やしていきたい。農地を残していくために、様々なイベントやシンポジウムを開催したい。</p>

みどり・公園	ウォーキングの際、緑道や公園にトイレが少なく困ることがある。緑道や小公園等にもトイレを設置してほしい。維持管理費が大変なので、有料にすればよい。	緑道は河川の上部を占用しており、建築基準法上、トイレを建築することが原則できない。また小さな公園は、都市公園法上、建築面積が限られていることや、近隣の住宅から十分距離をとることが困難なため、近隣住民の理解を得られない場合もある。しかし、街なかにトイレが充実していることは重要であり、公園などを新設・改修する際には、地域住民や公園利用者の意見等を聞き、周辺の公園以外の公共トイレの設置状況も把握しつつ、トイレの新設や改修に加え、適切な維持管理の在り方についても検討を行う。
道路・街づくり	近隣のマンションでは、公道に面しブロック塀が設置されているが、地震対策がされているか心配である。新しい基準に則って、区でブロック塀をチェックしてほしい。	区職員による目視確認の上、マンションの所有者及び管理組合等に対し、いただいたご意見をお伝えし、適切な管理をお願いしていく。
交通	都道の補助128号線は信号が1か所しかなく、位置も交差点から外れているため何とかしてほしい。	支所をあげて現場を確認し、お話を聞いて警察とも対応する。そのほかゾーン30など代替策も含めて検討する。
交通	桜小学校正門前の歩道に信号機をつけてほしいと、区や都に訴えているが、つけられないとの回答に承服できない。	桜小学校の特に出入口付近での交通環境について、改めて支所を中心に取組み、区でできるような安全策について検討する。
公共施設	大蔵第二運動場の駐輪場に、簡単な仮設のものでもよいので屋根を作してほしい。	その話は聞いている。どのような改善が図れるか、所管課に確認する。
公共施設	本庁舎工事遅延に伴う補償について、施工業者の責任をしっかりと追及してほしい。	約款上の損害賠償を超えてなお損失が大きい場合、遅れたことが原因の出費に区民の税金は使わず、施工業者が責任をもって支払うよう交渉していく。
公共施設	世田谷地区会館で子ども食堂の活動をしているが、飲食が禁止されている。地区会館利用ルールの改定をお願いしたい。	子どもの貧困対策については全面的に応援していきたい。活動場所については、例えば学校のランチルームや児童館など、他の選択肢も検討したい。

公共施設	ふじみ荘や厚生会館のような施設がなくなってしまったため、上町地区に同じような施設を建ててほしい。	地区の中で、仲間づくりや話し合いの場などをつないでいく機能が大切。元気に活動できる高齢者の居場所、若い世代や子育て世代とも交流することができる場の情報を、皆さんに届けられるようにしたい。
公共施設	本庁舎整備の工期が延びるとはいえ、リニューアルされた区民会館は5年度には完成されるものと思っている。	世田谷区民会館は本庁舎等整備工事における工程遅延に伴い、完成予定日が令和6年3月29日へと変更となった。これにより、内覧会やオープニングイベント、一般利用開放時期についても、再調整している。詳細が決まり次第、区HPや区のおしらせ等で案内する。
公共施設	世田谷区民会館で開催するイベント等の周知について、公演スケジュール表の掲示が区民ホール玄関横のみで、ホームページにも表示されておらず、区民への案内がほとんどされていない。	利用者にとって分かりやすいイベント等の開催スケジュールの周知ができるよう、他のホール等の事例を参考に検討する。
公共施設	世田谷区民会館の管理委託業者の業務状況を確認し、不備があれば指導すべき。また、業者の募集に関して、新しい区民ホールでの公演に多くの聴衆が集まるような企画・運営ができる委託業者を選択してほしい。	改修後の世田谷区民会館の管理運営業務委託にあたっては、プロポーザル方式により広く公募して決定しているが、契約締結後も業務の状況を逐一確認し、必要に応じて改善等の指導を行う。
その他	今年、世田谷文学賞が中止になった。見直すとのことだが、これからの行方が心配である。いつ再開されるのか。	世田谷文学賞は、せたがや文化財団（世田谷文学館）が主催している。現在、事業内容等の見直しを行っており、今後のスケジュールもこれから検討を行う。次の実施が決まり次第、世田谷文学館ホームページ等でお知らせする予定。
その他	世田谷うたの広場が解散したという手紙がきた。区が支援できなくなったことが原因の1つと聞いたが、文化に対する支援を減らしていくのか。また、継続のためのアドバイスを聞きたい。	世田谷うたの広場「詩と作曲の会」の今後の活動については、世話人の方々に検討していると聞いている。今後については決まり次第、世田谷うたの広場「詩と作曲の会」より通知する予定である。

その他	MTP（マネジメント・トレーニング・プログラム）の考え方を職員一人一人がもって職務をしてほしい。最初から断るのではなく、やるためにはどうしたらよいかという観点から議論しあうような姿勢でいてほしい。	DX推進方針を見直している中で、住民と職員が同じところを目指すこと、どうやったらできるか考えて、問題を発見し解決する組織にすることを強く打ち出している。一方で安定した行政サービスを提供するところにも能力を発揮している。安定性と新しいことにチャレンジして問題を解決する2つを両立させるといところを頑張っていきたい。
その他	区長がテレビ番組に出演の際、マイナンバーカードの混乱について、自治体に負荷をかけるようなことをするなどの発言があり、区長を見直した。	9月までに全自治体で、個人情報の照らし合わせをコロナ並みのスピードでやれと言われた。コロナは命に関わるため全力でやったが、人為的・政策的ミスも絡んだものにまで無理はさせられない。国の政策をよくするためにも、住民サービスにしわ寄せがいくと意見を申し上げた。
その他	世田谷区は一人あたりの歳入額が23区の中で一番下である。インバウンド需要が増加する中で、民間企業のやりたいことをサポートするなど、経済の活性化に取り組んでほしい。	人口が多いため一人当たりだと少なくなるが、住民税として納めていただいている規模は23区では上位で、税収は安定している。ただ、ふるさと納税の影響で学校改築2校強分くらいの財源がなくなっている。また観光において、世田谷区産業振興公社に観光を担当する部署をおき取組みはしているが、お金を稼ぐということについては準備段階である。
その他	ベンチマーキングの実施やベストプラクティスの展開について、区としての考え方、そして区内の事例を教えてほしい。	施策の立案や事業手法の見直しなどにあたり、他自治体の動向や実施手法について比較検討し、必要に応じてヒアリングに赴くなどの取組みを行っているが、今後も、民間企業等との連携や他自治体の好事例の取組みなどを参考にしながら、区民福祉のさらなる充実を目指し、区の経営力の向上に取り組む。

○経堂地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	縦割り行政の弊害をなくし、区民参加と協働に関する施策の企画、調整及び実施を促進するため、また、地域支援活動を支援するため、横串をさす課の創設を希望する。	世田谷区地域行政推進条例では、まちづくりセンターが、区民生活に寄り添い、区民から頼りにされる行政拠点としてその機能の充実強化を図り、総合支所が、地域を経営する機能を強化し、本庁が、地域行政制度の意義や目的を踏まえた区政運営に取り組むための基本方針を定めている。この基本方針により、本庁はまちづくりセンターや総合支所と情報を共有し、一体となって施策を実施していくことにより縦割りの弊害が生じないように努め、地域活動をはじめとした参加と協働のまちづくりを支援していく。また、各地区では、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館の4者が横に連携し、地区課題の把握に努め、それぞれの有する専門分野の力を活かし、区民の参加と協働により課題に対応した取組みを進めている。4者での対応が難しい課題については、総合支所が業務の専門性を活かして、地域における社会資源を活用して支援していく。
DX	スマホ教室に参加してもよく分からなかったという話を聞く。それで終わりではなく、次にどうしたら理解してもらえるか考えてほしい。区だけでなく、あんしんすこやかセンターや社会福祉協議会も実施しているので、区民の声が届くよう情報共有してほしい。	分からなかったという声をどんどん上げて欲しい。次はこうしてみようというように、その声がいい施策につながっていく。
防災	経堂駅の南側に災害時に避難できるような広場を設け、簡易トイレを設置できるようにしてほしい。	総合支所を中心に解決をするように図っていきたい。

防災	最も多くの区民に災害発生時に避難を促す情報伝達の手段は何か。今後その情報伝達の面で、経堂地区がより多くの区民を避難させるためにはどのような改善点があると考えているか。	新しい防災情報システムを入れ、そこからの情報はエフエム世田谷で随時流していく。テレビだと全国の情報になるので、世田谷の災害情報はエフエム世田谷を聞くことをお勧めする。ラジオがないお宅も多いと思うので、PRをしっかりとしていきたいと思う。
福祉	認知症とともに生きる希望条例が施行されたが、区民にほとんど知られていない。アクションチームを立ち上げて様々な活動・取組みをしているが、区の所管課の職員が現場を見に来たことがない。現場をしっかりと見て施策に反映してほしい。	福祉の現場は様々な方の対応で多忙だが、その中で、相手が本当に必要なことは何かを酌み取ることが重要である。経験に培われる部分も多いため、若手職員は先輩職員と同行して現場の経験を積んでいくことが重要である。ご意見を担当所管課にも伝える。
福祉	地域の方々、行政、ケアマネジャー等がうまく連携していける仕組みの構築とそのような情報発信のあり方について教えてほしい。また更に進化したあり方の検討をお願いしたい。	区では、平成26年より「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいる。この取組みの一つとして、区内28か所に福祉の相談窓口を設置し、区民からの様々な相談に応需し、個別の事例を通して居宅介護支援事業者をはじめとする医療・介護・福祉等の関係機関との連携強化を図っている。また、各地区の区民ニーズや課題に応じた社会資源開発を推進している。加えて、各総合支所では、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館、成年後見センター、地域障害者相談支援センター等の関係機関が参加する「地域版地域ケア会議」を開催し、地域の課題解決に向けての検討を行いながら地域づくりを進めている。そして、介護支援専門員の方々との連携として、区の施策や研修等の各種情報を毎月発信する「FAX 情報便」や各地区のあんしんすこやかセンターが開催する「ケアマネジャー連絡会」等で情報発信を行っている。さらに、令和5年秋に作成予定である発災時に備えた避難行動要支援

		者の方の個別避難計画については、介護支援専門員の方々と情報を共有し、連携を深めていきたいと考えている。
福祉	認可保育園の入園に関して、職業種類の差というのではなく「保育士」「看護師」「介護士」等について、手続き上での優先順位を与えることはできないか。	職業の内容や理由に関わらず全てのご家庭の状況を一律に「規則で定めた指数」に置き換え選考することで、客観性・公平性が確保できることから一定のご理解をいただいているものと認識している。ただし、保育士に関しては、区内の保育施設等の運営の観点から、4月入園一次選考で内定しなかった場合に、4月入園二次選考において、勤務先の施設長からの申出書の提出をもって、「区内の保育施設等に月20日以上かつ1日6時間以上勤務している保育士・保育教諭が、申込児の入園が決まらないことにより、産休または育休から復帰できず、区内の保育施設等の運営に深刻な影響がある場合」に調整基準指数2点を加点している。他の職業と比較して過度に有利とする選考は、公平性の観点から区民の理解が得られないため、現在は、上記のような対応のみとしている。
福祉	経堂地区には保育園が少なく小規模の認可園しかなく3歳児までの通園。3歳以上の子どもは転園をしなければならぬ。就学前までの保育園を増やしていただきたい。また、ホームページの保育園情報がわかりにくい。	経堂駅周辺には低年齢児対象の保育園や小規模保育事業所があり、連携施設が設定されていない園は、3歳児以降の進級時に改めて入園選考を申込む必要がある。一方で、5歳児まで受け入れている区立保育園や私立保育園も複数園あるほか、就学前人口が減少していることや既存の保育園に空きが生じていることから、当面新たな保育園を整備する計画はない。保育園情報は、ホームページのほか世田谷区のLINEにも掲載しているので、活用してほしい。区民の皆様が求める情報をわかりやすく得られるよう、情報発信に努めていく。

みどり・公園	<p>けやき広場について、同じ内容の看板が区や警察、大学などがバラバラに設置しており、景観が損なわれている。ベンチも古く、周りに自転車が放置されている。看板は1、2箇所にとりまとめ、ベンチは対面にしてコミュニケーションをとりやすくするなど、広場としての効用を高める工夫をするべき。</p>	<p>上用賀公園から馬事公苑も含めて公園が連なるエリアになっていく。その全体像と併せて、けやき広場を新たな都市デザインとして良いものにしていくため、関係者が協議して目立つ看板を1か所出すことや、ベンチのあり方についてご意見を伝えていく。</p>
道路・街づくり	<p>都が進めている補助52号線の道路建設計画について、生活環境を守るために優先整備路線の指定から外してほしい。</p>	<p>都の事業ではあるが、今後の進め方を含めて情報収集しながら、説明会の場を丁寧に設けて進めていくように、積極的に都に働きかけていきたい。</p>
道路・街づくり	<p>経堂駅高架下のタクシー乗り場の電気、街路灯の増設とLED化をしてほしい。</p>	<p>薄暗い箇所を点検し、検討させていただきたい。</p>
道路・街づくり	<p>補助52号線の沿線近くにある滝坂道は、地域風景資産に登録されており昔の面影をとどめているが、補助128号の整備により失われてしまうのは残念である。</p>	<p>都の進捗は逐一確認し、住民に対し丁寧に説明会等開催していくよう補助第52号線と同じく働きかけていく。</p>
道路・街づくり	<p>補助52号線に関して、もっとデータ検証を行い、本当に道路を通さなければならぬのか、住民が納得できるものなのかを検討してほしい。</p>	<p>補助52号線については、総合支所で受け止め、例えば都とのやり取りについても皆さんに伝えていけるようなやり方を考えようと思う。</p>
道路・街づくり	<p>庭のある住宅が売られ、周囲になじまないシェアハウスやワンルームマンションが建つことを区はどう考えているのか。緑豊かできれいな環境を損ねているのではないのか。これらの建物に対する規制はどのようになっているのか。</p>	<p>区では、みどりの保全・創出による豊かな住環境の形成のため、平成26年度より「みどりの計画書」の届出対象を拡大し、敷地面積が150平方メートル以上の建築行為についても、緑化基準の遵守を求めている。また、平成13年度より「世田谷区建築物の建築に係る住環境の整備に関する条例」を制定し、一定規模の建築物等については、周辺地域等の住環境に配慮した建築計画となるよう、ワ</p>

		<p>ンルームマンション居住者等のごみ収集の適正管理等を目的とした管理人室の設置や管理に関する基準などを定めている。区では、適宜、建築事業者と協議し、条例に基づき建築計画を適正に誘導している。</p>
道路・街づくり	<p>都道 52 号線が完成すると 道路周辺で、様々な健康被害の増加や、大気汚染が拡大する可能性があるため、52 号線の優先整備路線の指定を外してほしい。</p>	<p>都市計画道路には、交通機能、防災機能、空間機能、市街地形成などの機能があり、どれも区民生活には欠かすことのできないものである。都市計画道路、主要生活道路、地先道路など、各々の道路の機能を十分に発揮するよう適切に組み合わせ配置することで、将来の道路ネットワークを構築し、誰もが安全で安心して暮らせるまちを形づくりと取り組んでいる。こうした地域の街づくりを担う地元区として、都市計画道路の整備を沿道の住環境の整備とあわせて地元の皆様とともに進めていくことが大切であると考えている。そのため、地元の皆様の声を聞くとともに、道路整備が周辺に配慮した計画となるよう、補助第52号線の事業者である都へ伝えていく。</p>
道路・街づくり	<p>補助第 128 号線でトンネルを出た場所に信号機を設置してほしい。</p>	<p>信号機の設置については、警視庁が担当している。ご意見は世田谷警察署に情報提供するほか、補助第 128 号線を管轄する東京都建設局第二建設事務所工事第一課にもお伝えする。</p>
交通	<p>区の自転車事故が都内でもとても多い。自転車販売店や警察と協力・連携して事故防止に取り組んでほしい。</p>	<p>ヘルメットの購入について、1人当たり2,000円の補助を区内50店の自転車店で行っている。また、区民が入れる自転車事故の保険があるので、自転車に乗る方に加入を訴えていきたい。</p>

教育	<p>子どもの自殺や不登校児の増加、教員不足などにより教育現場が足元から崩れている。小学校でボランティア活動をしており、囲碁、将棋、語学などを教えられる小さな教室をたくさん学校の中に作る計画をしている。こうした活動を通して、教育現場を支えたい。</p>	<p>子どもたちが今あるままで否定されない場を作っていただき大変ありがたい。そのような取組みを横に広げていただきたい。区としても応援させていただく。</p>
公共施設	<p>区民センターで住民の声を酌み取る方法を作してほしい。また、区民センターを情報が置ける場所、そこへ取りに行ったら情報がある場所にしてほしい。</p>	<p>区民センターの運営は、住民自身が運営協議会をつくり運営主体者となる住民自治の方式である。運営協議会には新たなメンバーに加わっていただきながら、時代に合ったテーマに対応していくということが必要だと思う。住民自治であるため、区から言いにくいところがあるが、しっかり取り組んでいきたい。</p>
公共施設	<p>認知症カフェを桜丘区民センターの談話室で行っているが、相談コーナーを狭められてしまった。区民センターの運営をしている運営協議会は取り合ってくれないので、区から声掛けしてほしい。</p>	<p>経堂地区は、まちづくりセンターから離れている場所もある。地域行政の課題として、今後考えていきたい。</p>
その他	<p>まちづくりセンターが遠く、高齢者は行けない。どうかならないか。</p>	<p>経堂地区は、まちづくりセンターから離れている場所もある。地域行政の課題として、今後考えていきたい。</p>
その他	<p>本庁舎建設の工期の遅れに伴い、今後、施工業者に期限を守るよう要請していくと思うが、それが現場で働く人を追い詰めることにならないか危惧している。</p>	<p>工事手法をより合理化することで、日数を縮減する提案を検証委員会から受けており、それを基に交渉をしている。働く方にしわ寄せが行かないことを前提に、なるべく早く良いものができるようにしていきたい。</p>
その他	<p>多くの区民があんしんすこやかセンターやまちづくりセンターを知らない、行ったことがない状態だと思う。「世田谷みどり33」についても同様。区の様々な施策を区民に広めるにはどうしたらいいかを考えてほしい。</p>	<p>デジタルも含めて知らせていくが、ただ知らせるだけではなく、区民と一緒に取り組んでいく機運をつくる方向で取組みたい。</p>

その他	地区にどんな課題があるのか、それがどんな状況になっているのかをオンラインで常に見える状況になっていると区政に興味を持てるのではないか。	基本的には区の情報オープンにしていくという流れだが、まとめてわかりやすく見せる形にはできていない。財政情報などは年に1回整理して見えるようにしているが、その他は少しずつ取り組んでいる状況である。また、車座集会を実施している中で、まちづくりセンターや町会単位のアプリや情報サイトをつくり、生活レベルの近い近隣の情報が入る仕組みをつくろうとしている地区があり、そのようなことも実現に移せるようにしていきたいと思う。
その他	選挙の掲示板を増やしてほしい。	立てられる場所など提案があれば、まちづくりセンターや地域振興課に伝えてほしい。
その他	経堂出張所・まちづくりセンターが非常に狭い。建物の建替えや増築ができない中で、どのようにして地域行政の拠点であるまちづくりセンターの機能をつくっていくのか。	現状のところで建替えは難しいので、建てられる場所をこれから探していこうと内部では話している。
その他	商店街のお休み処が十分に機能していない。シャッターが下りたままずっと開かないところもある。区から指導してほしい。	総合支所を通してチェックし、ちゃんと稼働するようにお願いをしていく。
その他	ボランティア体操教室のボランティアについて、「せたがや元気体操リーダー」の雇用契約書に「兼業禁止」項目があるが、なぜ兼業禁止なのか。項目を廃止してほしい。	せたがや元気体操リーダーは「雇用契約書」ではなく「せたがや元気体操リーダー登録（新規・更新）申請確認書」により認定している。この登録申請確認書には、「兼業禁止」の記載はないが、個人の依頼を受け、他のボランティア体操教室に「せたがや元気体操リーダー」として体操指導活動を行うことは、「せたがや元気体操リーダー・マニュアル」に定めている制限の対象となる。この制限は、せたがや元気体操リーダーの指導の機会の平等化を図るため定めている。

その他	世田谷区民のための合同墓を建設してほしい。	区では合同墓を取り扱っていない。都立霊園・納骨堂の利用については、公益財団法人 東京都公園協会のホームページを確認し、都立霊園の担当まで問い合わせてほしい。
-----	-----------------------	--

○下馬地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	町会へ加入している人が少なくなっている。子育て世代は学校でPTAに加入していることも多いが、町会や地域づくり活動につながらない。地域行政推進条例の中で、まちづくりセンターが中心となって地域の課題解決や地域資源の開発など総合調整を行っていくという認識で良いか。	まちづくりセンターを拠点として、多世代の区民が寄り合い地区の情報や課題について話をしていくことが地域行政推進条例の狙いになっている。地域で活動している方々がつながり、情報交換ができるようにまちづくりセンター、総合支所と支援を行っていききたい。
町会・自治会・コミュニティ	町会への配布物や提出物が大量にあり、処理が大変である。煩雑さをどうにかできないか。	区では町会への配布物など地域の方への文書の整理を行うようにしている。引き続き文書の整理、削減に努めていく。
町会・自治会・コミュニティ	地区内に600世帯以上が入居するURマンションがあるが、ほとんど町会に入っていない。大きな団地については、自主的に自治会等を作ってシームレスに地域活動ができるようバックアップしてほしい。	防災関係では管理組合とつながりがあるため、取組みなど支援していききたい。URとしても、安全で災害に強いという意味では、地域や行政とつながっていることが前提だろうと思う。URの中から自治会が生まれて、若い世代が町会を担っていけるようにサポートしていききたい。
DX	スマートフォン講座を今後どのように運営していくのか。スマートフォンのメリットを積極的に教えていってはどうか。	スマートフォンは使い続けないと上達しない。太子堂地区のスマートフォン講座では参加者のLINEのグループを作成して、継続してスマホに触れていけるように工夫していた。受講者の声に合わせてメニューを作っていきたい。
DX	デジタル機器やインターネットを使えない人々のため、窓口対応や紙媒体による広報などは残してほしい。	世田谷区DX推進方針Ver. 2(素案)においては、デジタルファーストでサービスをデザインしなおすとする一方で、「多様な手段で誰一人取り残さないサービスを実現します」と掲げており、デジタル機器を利用できない方々にとっても不自由のないサービスの実現を目指していく。

防災	防災担当職員が異動すると、新しい担当者が業務を把握しておらず、こちらが逆に教える立場になることがある。区の担当が落ち着いて勉強し、区民を指導できる体制を整えてほしい。	地域防災の強化のため、経験のあるプロに危機監理監として入ってもらい、体制を再構築しようとしている。また、区内の発災状況を一度に確認できる情報システムの新庁舎への構築や、上用賀公園を非常時の物資輸送拠点にするなどにも取り組んでおり、様々な経験ができるように区の指導体制を強めていきたい。
防災	避難行動要支援者の個別避難計画の作成を、どのように進めていくのか。	避難行動要支援者の対応について、各地区でアンケートをとっている。今年度早い段階で作成していきたい。町会・自治会にもご協力いただき、防災関係では地域振興課とも連携して進めていきたい。
環境・清掃・リサイクル	ごみ収集のカレンダーを教材として使い、小学校高学年か中学生に向けて、ごみの収集日等について授業を行えないか。	クラス内の家庭で収集日が異なることが課題となるが、プラスチックのリサイクルが法律で義務化され、リサイクルやリユースの教育は必要だと思うので、教育長に伝える。地域に密着していくことが区の学校の方針なので、社会科見学なども含めて、清掃やリサイクルに子どもの関心を向けていきたい。
福祉	障害者施設の職員不足が問題となっている。区全体で福祉の仕事を募集してほしい。	福祉人材のやりがいアピールするパンフレットなどを作成しているが、次の取組みが必要だと感じているので検討していきたい。
福祉	ごみ屋敷状態の家庭に対して、区から補助ができないか。またそのような家庭の子に、学校などで片づけを教える授業を行うのはどうか。	ごみ屋敷の問題は四者連携の場でも話題に出ることが多く、啓発や研修等につなぐ対応をとるなどしており、必要なサービスにつなげていきたい。
福祉	デジタル遺品の取り扱いについて、区としての方向性を検討してほしい。	リアルな遺品の問題があるので、そちらに先に取組みたい。デジタル遺品は、必ず来る問題と認識しており、次の課題として考えていく。

福祉	区内に小児科を含む区立の小規模な医療センターを数か所設置したらどうか。	区で実施している診療事業として初期救急診療所を区内3カ所に設置しているが、これを増やすことへの対応は医師確保等の課題などがあり、ご意見については今後の参考としたい。
みどり・公園	江戸川区には大きなトリケラトプスの像がある公園があり、子どもたちが乗って遊んでいた。このような面白い公園を区内につくったらどうか。	公園づくりにおいて区ではみどり確保と住民参加に力を入れている。区民の方々に愛着をもってもらえる公園を作っていきたい。
道路・街づくり	マンションの駐車場の台数が過大になってきている。附置台数の要件の見直しを検討してほしい。	世田谷区建築物の建築に係る住環境の整備に関する条例に基づく駐車施設の台数については、複数の算定方式がある。内容によっては駐車施設の台数を減らす手立てもあるかもしれないので、街づくり課に相談してほしい。
その他	区の行政が区民のために、何をしているのかという全体像が分かりにくい。予算の分配など、何に重点的に取り組んでいるのか教えてほしい。	区のサービスは健康で自立して、自分で生活できる人には少し遠いかもしれない。4月15日号の「区のおしらせ」で予算についてご案内しているが、予算の半分以上を占めているのは、子育て支援から介護までの福祉分野の費用である。
その他	ワンストップで対応していたすぐやる課は無くなったが、まちづくりセンターが代替機能を有していると考えて良いか。	まちづくりセンターでも幅広く相談は受けるが、権限を超える部分は担当につなぐなどの対応をしている。また各総合支所の地域振興課の計画・相談で問い合わせを受け、現場の確認、手続きができる窓口案内などを行っている。
その他	様々な業務を一気にマイナンバーカードへ一本化する動きが見られるが、期限を区切らずにもう少し時間をかけて行うべきではないか。	同様に考えている。特別区長会を通して国に伝えていきたい。
その他	ふるさと納税について、上限額や回数を決めるなど区の収入になるような対策をしてほしい。	減収により道路の整備や学校の改築の計画に影響が出ないように、上限を決めるよう意見していきたい。

その他	ふるさと納税で区内事業所のサービスを返礼品にしてはどうか。	区民に対する返礼品としては難しいが、区外在住の子が区内在住の親のために区にふるさと納税し、返礼品として受け取ることは考えられる。
その他	マイナンバーカードによる個人情報の流出などに対し、国、自治体はどのような対応、アフターフォローをするのか。任意のカードでも同じような機能を付けることはできるのではないか。	マイナンバーカードに書かれている個人情報は「氏名・住所・性別・生年月日」のみであり、ICチップにもこれら以外の情報は入っておらず、所得や健康の情報など、重要な個人情報がまとめて流出することはない。マイナンバーは、利用範囲や収集・保管などが法令で厳しく制限され、他人のマイナンバーを使った手続きができない仕組みとなっているなど、安全対策が行われており、不正なアクセスが行われないよう、国の第三者機関である「個人情報保護委員会」が監視・監督するとともに、悪用に関しては、法律により罰則が設けられている。マイナンバーに限らず、個人情報の漏えいや不正・不適切な取扱い等の防止に努めていく。任意のカードへの同様の機能の搭載については、国の施策に関することであり区としてはお答えできない。
その他	区議会議員選挙の際、現職の議員は選挙ポスターにこれまでの議員としての実績や現在取り組んでいる事の記載を義務付けてはどうか。	公職選挙法により、選挙運動で使用できるポスターは、選挙を管理する上で必要となる責任者や印刷者の氏名・住所を記載しなければならない。その他の事項については、法令に違反しない限り制限はなく、自身の選挙運動として必要な内容を記載することができるため、記載事項を義務付けることはできない。

○上馬地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	聴覚障害を持っており、皆さんからの助けが必要だが、周りに知り合いが少なくなってきたり、寂しく、地震のときなど不安な状態である。周りのみなさんに助けてもらいたい。	地域とのつながりが薄れ、地域をどのように活発にしていくか、災害のときの声かけをどうするかなど大きなテーマである。是非まちづくりセンターに相談してほしい。また、区では手話言語を条例化する準備が進んでいる。今まで以上に手話で様々な意思疎通ができるように取り組んでいく。
防災	災害時は消防団や町会、近隣住民で助け合う必要があるが、無線設備等の連絡体制ができていない。連絡体制のあり方を検討してほしい。	まちづくりセンターは地区の防災拠点として、防災に力を入れており、消防団とも連携を取らせていただいている。無線は、まちづくりセンターで3系統ほどあるので、消防団との連携をどのようにするか、検討させていただきたい。
環境・清掃・リサイクル	資源回収に関して、回収だけでなくトレイの配置でも車両が来る。もう少し車両が来る回数を減らせないか。	今後、プラスチックごみの回収が始まるが、種類が多く大変難しい。その際に回収ルールを変えることになると思うので、意見を清掃・リサイクル部に伝え、そこで検討させていただきたい。
環境・清掃・リサイクル	ごみ出し日以外のごみ捨てやポイ捨てが多く、住民一人一人の意識を高めることが必要。ごみの出し方やタバコを含めてポイ捨ては禁止であることを区民にしっかり伝えてもらいたい。	区では「世田谷区環境美化等に関する条例」を定め、区内全域でみだりに公共の場所等に空き缶及び吸い殻等を捨てることを禁止している。啓発活動として、「ポイ捨て禁止」の電柱巻看板や路面標示シートの設置、自宅の塀や壁等に貼る啓発プレートの無料配布、区民・事業者等と連携し、「せたがやクリーンアップ作戦」として区内における一斉清掃活動などに取り組んでいる。ごみの出し方については、区全域に「資源とごみの収集カレンダー」の配布と、転入者に「資源とごみの分け方・出し方」リーフレットを配布し、周知している。今後はアプリ等も活用しながら、更なる周知徹底に努めていく。

福祉	高齢者のために、バス停や公園に屋根付きベンチを整備してほしい。	建築基準法や道路法等、様々な制限があり、単にベンチを置くだけでも難しく、屋根がかかると建築物になってしまうため難しい問題があるが、住環境整備条例に基づき、大規模な建築物に面してバス停が既にある場合は、上屋の設置をお願いしている。ただ、ベンチがあることによりごみが置かれることから、ベンチの撤去を要望されることもあり、総合的に今後のベンチの在り方等を検討させていただく。
子ども	上馬地区に児童館を作ってほしい。	学校改築の際に児童館を合築するのが区の方向性だが、学校改築のスケジュールが来っていない。児童館だけ先にとするのも難しいが、地区会館の改築の際に複合化できないかなど児童館としての適当な場所は並行して当たっていきたい。
みどり・公園	電線地下化工事のため街路樹を切るのはやむをえないが、工事完了後には再度植栽してほしい。	電線共同溝設置工事に伴う樹木伐採については、都担当部署より伐採届が提出されているが、現在、都及び電線所有事業者の工期途中であり、施工完了後に行う復旧工事において新たな植栽を予定していると聞いている。緑陰を形成し景観に寄与する街路樹について、道路事業に支障のない、可能な限りの保全及び創出に努めていただくよう、今後ともはたらかけていく。
道路・街づくり	近隣の私道沿いのブロック塀が壊れかけていて、古い桜の木がはみ出し、電線にもかかっているが、所有者は管理できなくなっている。区で何とかしてもらえないか。	電線は、東京電力で防護カバーをつけてもらえる場合がある。倒壊の恐れがあるブロック塀は、建築安全課でブロック塀やり替えの助成等の案内が可能である。私道の桜の木の剪定は、民法改正により所有者との話し合いで、越境している枝について剪定が可能な場合がある。 ※(後日確認)ブロック塀は私道への倒れこみはなく、樹木は所有者が業者に伐採の依頼をした。

道路・街づくり	環七通り、環八通り、国道246号等の幹線道路に自転車専用走行レーンを整備して欲しい。	自転車専用走行レーンの確保については、道路幅員や交通量、警察による交通規制などの条件があるが、より安全で安心できる自転車通行空間の確保には有効な整備形態であると認識しており、国や都との自転車通行空間に関する会議等の機会を捉えて、意見を幹線道路の各道路管理者に伝える。
交通	区の施設が駅やバス停から遠く、交通の便が悪い。区役所は、三軒茶屋方面から一本で行けるバスがなく、世田谷線も駅から歩くので、もう少し便利にならないか。	現在は運転手が集まらないようである。これまで、バス会社に実験運行してもらい、利用者が多いようなら営業してもらうような形でやってきたが、危機感を持っている。砧・大蔵地区でオンデマンド交通の実証実験を行っており、うまくいけば交通不便地域10か所程度に広げていこうと考えている。
教育	学童クラブの指導員が不足しているため、民間委託で派遣職員の募集を始めたと聞いた。役所でも指導員を募集しているが、なぜ委託して、高い時給で人材を雇ったのか。高い時給だと人材が集まると思うが、区の募集だと賃金が安く集まらないのではないか。様々な人材が1つの学童クラブにいと、個人情報への漏洩が心配である。また、区で採用し研修を受けた方が担ってくれた方が親も子も安心である。	新BOP学童クラブは人材不足が続いており、区の採用だけではなかなか補えない。派遣会社から紹介を受けた指導員を管轄の児童館館長が面談し、マッチングをし、事務局長や現場職員と話をし新 BOP に入ってもらっている。経験者や、経験はなくてもやる気がある方、事業の勉強をしている方などで即戦力になっており、とても助かっている。また、児童課との契約の中に個人情報の守秘義務があり、その中で勤務している。
教育	夏休みの自由研究を手伝ったことがある親が多いと思うが、自由研究をなしにして、地域の人たちとの関わり合いを大切にしたらどうか。	ご意見にもあったが、地域を知るところをテーマにして自分の身近なところの地区を発掘する、自分で調べ、地域との関わり合いを広げていくような、そういう方法もあるのではないかと。教育委員会で、新しい教育振興基

教育	自由研究を通して、そのテーマに興味を持ったり、周りの方に褒められたりして、うれしい経験になったことがある。自由研究は、半分遊びでも良いので、取り組んだほうが良いのではないかな。	本計画を準備しており、その中に「まち全体を学びの場と捉える」という項目があるので、教育委員会にも伝える。
教育	小学校のときに朝のラジオ体操にも参加しようというのがあったが、地域との関わりを持つ宿題を出すことで、地域との関わりを増やせるのではないかな。	
教育	電話が苦手な大学生が増えている。今後、DXに関して年代層のギャップを埋めるところが何かできたら、大学も地域のお役に立てると思う。また、大学でも、夏休みの宿題を手伝うような講座、親子体験教室等を行っている。	電話が苦手なのは若手の職員も同じ。知らない人からの電話の出方も研修しなければいけない。一方で、50代以上はデジタル化に置いていかれるというか、疎外されているようなところがある。両方補い合うようなことができるといい。
公共施設	庁舎建替えの工期が大幅に遅れることについて、そもそも開始が相当遅れたという印象を持っている。そのことにより業者に無理がかかったのではないかな。もっと早い時期の工事開始がなされるべきだったのではないかな。	前区長時代に庁舎建替えの構想までできていたが、リーマンショックによる区の税収減で中止した経緯がある。2012年頃から再び担当部をつくり、区民参加の検討委員会を経て、最終的にデザインの公開審査により決定した。施行業者は当初の工程の見積もりが甘く、遅れの原因は自社にあると言っている。今後は、補償交渉と同時に、無理をして事故が起こらないよう警戒しながらより管理監督を強めていく。
公共施設	中里地区会館は投票所になっているが、入口が階段なのでバリアフリー化してほしい。	今すぐに改修の予定はないが、大規模改修工事の際に、バリアフリー化を図っていきたい。

その他	区内での民泊の営業について届出や許可などの決まり事はあるのか。	民泊は旅館業法又は住宅宿泊事業法に基づき運営している。旅館業の営業には許可が必要で、住宅宿泊事業は届出が必要。旅館業は年間の宿泊数に制限がないが、住居専用地域で営業することができない。また、住宅宿泊事業は年間の宿泊数に180日の制限があり、区条例により、住居専用地域では原則として平日の宿泊を制限している。
その他	ふるさと納税について、小学校の建て替えができないほど税収が減少していると聞いているが、そのことについてお聞きしたい。	今現在、学校改築できないわけではないが、減収が200億まで近づいてくると、学校改築や道路工事を少し抑え、先延ばしをしてしのぐことになるので危機感を持っている。ふるさと納税は良い点もあるが、寄付額が何千万単位になると、大きな影響が出るので、上限を決めたほうがいいと言っている。ふるさと納税をされる場合には、区を支えるという意味で、区の良いと思う政策に寄附をしていただきたいと思う。

○梅丘地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	まちづくりセンターは新しくなったが、ふらりと寄れる雰囲気はない。梅丘地区でも高齢化が進み、地域コミュニティが薄れつつある。例えば、絵画などの趣味を通じた地域交流として作品展などを開催し、「出会いとふれ合いの場」を創れないだろうか。梅丘の地区ビジョンに「出会いとふれ合いの場づくり」を加えて欲しい。	梅丘まちづくりセンターは集会施設との複合施設であり、セキュリティの観点から作品を安全に管理することが難しく、また、様々な掲示物で壁面を使用しており、作品展示も難しい状況である。まちづくりセンターには、常時椅子を設置し、お休みいただく際や、暑さから身を守る際に利用いただける場所を提供している。地区ビジョンの追加については、改定の際の参考にさせていただきたい。
防災	最近、炊き出し訓練が非常におそろかになっている。訓練をより充実させるためにも、LPガスを町会・自治会に置いて利用できるようにしていただきたい。	同様の意見をいただいているが、使い慣れていない方もおり、保管方法も課題なので、引き続き検討していく。
防災	防災士認証登録支援助成の対象者が20名となっているが、もっと増やしていただけないか。	人数を拡大できないか担当所管に伝える。
安心・安全	子どもたちの安全のためにさくら花見堂南門の前に街路灯などをつけてほしい。	現地を確認し、街路灯担当に伝える。
安心・安全	区役所西通りの国土舘大学北の交差点付近に交番を設置してほしい。	北沢警察署へご要望があったことを伝える。
安心・安全	豪徳寺周辺に外国人観光客が増え、民家を覗いたりする。観光は良いが、まちの安全も考慮していただきたい。	ここは居住エリアであるといった注意はあまりできていない状態。豪徳寺とも情報交換し、近隣対策と継続可能な観光のあり方を考えていきたい。
福祉	うめとぴあにて正式な訓練士がいない中で自立訓練（歩行訓練）が進められたが、本当にいいのか不安であった。	うめとぴあは新しい拠点施設で、体制も充実させるところであったが、コロナの影響により組み立てがまだまだ不十分であった。

福祉	<p>高齢者のスマホ講座に視覚障害者が申し込みをしたが、3名が受け入れられなかった。視覚障害者の団体では、5年前から視覚障害者が視覚障害者に無料で講座を行っている。受け入れができないのであれば、視覚障害者の団体を紹介するなど連携してほしい。</p>	<p>スマホ講座については、視覚障害者の方が講師となって教えるという形でないと難しいと思うので、今度、参加させていただきたい。デジタルを使う上で誰一人取り残さないということが重要であるため、区でも目配りができるように何かできないか考えていく。</p>
子ども	<p>夏休み中、学童に来る児童への弁当や給食について、他の区では進んでいるようだが。区の状況を教えて欲しい。</p>	<p>食品を扱うため、安全に提供できる体制や食品の保管場所、スタッフの確保ができていないという課題があった。順次検討しており、準備ができたところから提供があると思う。</p>
道路・街づくり	<p>警察の社宅が建設されるが、羽根木公園から富士山が見られる場所を阻害しないように建物の高さを低くしてほしい。</p>	<p>取り壊しの段階で設計していると思われるので、警視庁が眺望を踏まえた配慮をしてくれているかどうかだが、お声があったことは北沢警察署へ伝える。</p>
道路・街づくり	<p>地区内に、住居としての実態がほぼないにもかかわらず、2階を住居として店舗を出している商業施設がある。地区としてもあまりよくないと思う。</p>	<p>当該施設のある場所は、第一種低層住居専用地域であり、用途規制が一番厳しいエリアになる。建てられる規模は店舗併用の住宅である。行政指導の担当部署へ情報提供し、実態を確認する。</p>
道路・街づくり	<p>梅丘まちづくりセンター前の道路の幅が広がり、大型車が通るようになったためすごく揺れる。0時～4時頃まで大型車だけは通行止めにしてもらいたい。</p>	<p>大型車の規制については警視庁の管轄となるため難しい。区では通学路や子どもが通る細い道の通行止めを進めようとしている。30キロ以上は出してはいけないというルールを住民の方と一緒に作り、指定していくことはできる(ゾーン30)。また、振動を計測し、構造的に音を軽減する対策ができるのであれば、検討できると思う。ご意見は北沢警察へ伝える。</p>

<p>道路・街づくり</p>	<p>環状七号線により地区の主要エリアと代田1・2丁目が分断されるという話があったが、分断をなくすことが現実的でないのであれば、地区の考え方を考えてもいいのかなと思う。日常生活で環七をまたいでいる人はあまりいないと思う。また、街づくり計画とまちづくりセンターの地区割りが異なるため、整合性も検討してほしい。街づくり計画の参考に地区アセスメントが活用できたら良いと思う。</p>	<p>物理的な空間の違い、心理的なつながり、地域のコミュニティの考え方など、いろいろなところでエリアの捉え方があると思うので、引き続き検討させていただきたい。</p>
<p>道路・街づくり</p>	<p>都市計画道路補助52号線建設の再考をお願いしたい。延焼を防止すると言っているが、不燃化率の低い地域ではない。また、用地買収した土地に造られたフェンスが道路にはみ出しており、通学路が危険な状態になっている。庁舎や学校の改築などで車の出入りが多く事故が絶えない状況なので、都、区、警察で連携を取ってほしい。</p>	<p>都で進める道路が出来上がった時に、どのようなまちを目指していくか議論している。様々な立場からの意見を受け止め、検討しているところである。反対意見は都に伝えていく。また、庁舎改築などでしばらく工事車両の行き来が続くので、身近な交通の安全の確保はしっかり取り組んでいく。</p>
<p>道路・街づくり</p>	<p>補助52号線沿線豪徳寺駅周辺地区街づくり計画では建築物の高さが25mまでとなっているが、地区には相応しくない高さと感じる。高さについて調整する方法はあるのか。沿道の不燃化の対策は大切と考えるが、延焼を防ぐための高さとして7mくらいが最高の高さにならないか。</p>	<p>延焼遮断帯としての沿道の建築物等の高さは、一般的に最低でも7m以上が必要といわれており、沿道建築物等の後背地に燃え広がらないようにするためには、最低基準以上の高さとするのが求められている。なお、補助52号線沿道地区の後背地となる第1種低層住居専用地域における最高高さは10mまでとされている。燃え広がりを防ぐ意味から沿道の建築物等には後背地以上の高さが求められており、本地区計画策定の検討時には、区民の皆様からご意見をいただき、補助52号沿道地区における最高高さを25mとしている。</p>

交通	<p>自転車に乗る際はヘルメット着用となったが、車やキックボードなどいろいろなものが混在するようになり、一番守られていないのは歩行者ではないかと思う。歩車道の区別の強化、商店街での車の通行止めを拡大してもらいたい。</p>	<p>キックボードについては、状況を確認し、危険が大きいようであれば、区のルールを作っていくたい。ヘルメットについては、7月下旬頃から登録された店舗で一人当たり2000円の助成を出すこととなり、せたがやP a yの最大20%還元と併用できる。区の交通事故の半数以上が自転車絡みであるため、これを機に呼びかけていきたい。</p>
交通	<p>豪徳寺駅になるべく早くホームドアを設置するよう区から鉄道事業者へ要請してほしい。</p>	<p>区所管課から鉄道事業者へ要望を伝える。</p>
交通	<p>梅丘駅と等々力間でバスが運行するようになったが、梅丘まちづくりセンターの最寄りのバス停が、等々力行き側にしかない。梅丘駅行き側は理由があって作れないようだが、工夫してなんとかならないか。</p>	<p>設置できなかった経緯を踏まえ、バス事業者や関係所管と改善策があれば考えていきたい。</p>
その他	<p>区の観光案内やパンフレットを見たことがない。大きな掲示板もない。道が複雑な区であるので、観光PRに向けて考えていただきたい。</p>	<p>外郭団体である世田谷区産業振興公社にて、せたがやガイドブックを発行している。豪徳寺への道のりに関する問い合わせ等も多いため、サインや表示も含め取り組んでいく予定である。</p>
その他	<p>せたがやP a yは高齢者には使いにくい。年齢制限を設け、高齢者向けに紙の商品券を発行してほしい。</p>	<p>せたがやP a yはスマホにインストールするのが難しく、その後の支払いは簡単だと思うが、サポートが必要であったと思う。商店街連合会では紙の商品券も発行している。</p>

○代沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	まちづくりセンターが、多くの区民に認知され利用者が増加するよう、充実を図っていただきたい。	参加と協働の進展のため、まちづくりセンターと区民の皆さんで、新しい場所を使っていく仕組みづくりなどの議論を始めていただきたい。
まちづくり	商店街などでの路上喫煙、路上飲み、客引きなどを許容している社会の雰囲気があるのに、路上ミュージシャンは厳しく取り締まられており矛盾を感じる。	下北沢では商店街や町会・自治会などによる地域主体のエリアマネジメント組織を立ち上げようとしている。地域の皆さんとも連携しながら、街の治安維持に取り組んでいく。
町会・自治会・コミュニティ	町会役員の高齢化について、何か改善案はないか。	例えば、町会のエリア内に住む人にコミュニティ醸成について話し合う会の案内状を送ると、若い世代の方が来ると思う。そういうところから新しい世代にも入ってきてもらうことができるのではないかと。
町会・自治会・コミュニティ	空き家を町会事務所として借りることができるのであれば補助をしていただけるか。	空き家を活用する窓口等はあるので、町会の事務所だけではなく、昼間は子育て広場をやっているなど複合的な使い方ができていくと、新しい時代の町会になると思う。
DX	メルマガの内容は区報とほぼ同じで、この中から必要な情報を取捨選択するのは手間がかかる。区民一人ひとりに必要な情報が届く仕組みがあるとよいと思う。	LINEやフェイスブックなど様々なツールがあるが、92万人それぞれ興味関心は異なるため、1つのものでは成立し得ないと思っている。LINEについては、今、高齢者と子育て世代にターゲットを絞り、使いこなしていただけるように進めている。
DX	町内でのデジタル化について具体的な内容を知りたい。	各町会・自治会で独自の取組みが行われているが、区として使用を推進しているツールはない。それぞれの状況に応じて使いやすいものは変わるが、区がどのようにサポートするかは、皆さんの意見を伺いながら考えていきたい。

防災	災害時における速やかな救出救助や在宅避難者への円滑な支援物資の提供の観点から、災害要支援者を含め、住民に関する情報の提供をお願いしたい。	初期の避難、救助は若い人たちが中心になってほしいので、そういう防災体制の構築をこれから各地区でやっていただきたい。在宅避難の場合、避難所に来る水や食料、情報が届きにくいということがあると思う。例えばマンションごとに物資を分けていくなど、これまでの考え方を変えていくことになるので、防災塾等で話し合いながら準備を進めていただきたい。
子ども	虐待が起きた場合の対応だけでなく、虐待を事前に防止する活動にも力を注いでほしい。	子ども家庭支援センターでは、世田谷区児童相談所と、双方がもつ機能を組み合わせた「のりしろ型支援」を着実に推進することで、予防型の児童相談行政を進めていきたい。また、「要保護児童支援北沢協議会」を活用して、さらなる連携の強化を図り児童虐待の予防に努めていきたい。
みどり・公園	旧郵政省職員住宅跡地の公園整備について、2年前に地域の意見を聞くという話をいただいたが、いつ実施するのか。	現在、計画的に土地の取得を進めている。開設の時期を見据えた段階で、地域の皆さんから御意見をいただきながら開設を進めていく。
みどり・公園	旧郵政省職員住宅跡地の公園整備について、進行状況を知りたいという地域の方がたくさんいる。	
みどり・公園	地域の中でこいのぼりをあげてほしいという希望があった。町会で、せせらぎ公園内での実施のアイデアを出し合ったが難しく、向かいに新しい公園ができるのならば、使用したい。	
道路・街づくり	位置指定道路で塀があって通りにくい箇所がある。民事の問題だが、問題解消のため補助を検討してもよいのではないか。	家の建替えや増改築を伴わない拡幅整備工事について、塀の撤去等に助成金を交付している。
交通	自転車のヘルメット着用を働きかけてほしい。	区内50か所の登録自転車店でヘルメットを購入するときに、2000円の助成を出すなど、ヘルメットの購入がしやすいようにしている。

交通	原付バイクの駐輪場所を増設してほしい。	区内の公共施設で、自転車置場の中にバイクも含めた置場の点検を進めていきたい。
教育	代沢小学校と花見堂小学校の統合に伴い、スクールゾーンの拡大をお願いしたいが、区の考え方をお伺いしたい。	子どもの通学の安全確保は重要であり、スクールゾーンの指定をすべきか否か、ほかの方法があるのかも含め、地元の状況を確認しながら進めていきたい。
教育	池之上小学校の建替工事に伴い、約2km徒歩通学している児童がいる。通学路の警備員は高齢の方が多いが、適正な待遇となっているのか。ワゴン車で送迎ができるとうい方がいいか。	当初マイクロバスを運行したが、予算執行について様々ご意見があり短期で終わった経緯がある。警備員の健康管理や待遇などについては、契約をしている教育委員会に点検を依頼する。
教育	小中学校において性の多様性や性暴力を含めた性教育を全国に先がけて進めて欲しい。	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関して普及・啓発を図ることは重要と考えている。「生命の安全教育」を全校で実施し、子どもたちが性暴力の当事者にならないよう指導していく。
公共施設	旧郵政省職員住宅跡地に高齢者が集える優先的な場所をつくってほしい。	高齢者クラブの皆さんがより元気に活動できるような場や機会をつくっていきたい。
公共施設	地区内に児童館がない。代田南児童館は距離がある。	各まちづくりセンター単位に必ず1つ児童館をつくるという方針を決定しており、なるべく早い時期に整備していきたい。
公共施設	地域の子育て支援団体の交流会を開催しているが、活動場所の確保が課題。代沢東地区会館の優先使用を認めてほしい。	地区で活動する皆さんと分け合っ公共スペースを確保する仕組みについて、地区内で話し合ったい。
公共施設	赤ちゃんひろばの活動で池之上青少年交流センターを使用したいと考えたが、いわゆる箱貸しはしていないということで断られる。活発にやっという支援団体が活動しやすい状況をつくっきたいと思う。	
公共施設	庁舎建設工事遅延について、建築家もメンバーとする第三者委員会による検証を行い、結果を公表してほしい。	事業に直接関与していない第三者、学識経験者を中心に、4名の方に入っいただいた検証委員会のようなものを検討している。

公共施設	代沢地区会館の和室の利用は、特定の団体の利用が年間で決められている。抽選などにより広く平等に使えるようにしてほしい。また、床でも乳幼児が遊ぶことができるジョイントマットを配備してほしい。	利用者による調整を経て、現在の利用形態となっていると聞いている。抽選で予約を受け付けてほしいとの要望が多い場合は有料での利用へ変更を検討していくことになる。ジョイントマットの設置は今後検討する。
その他	コロナ対策として、PCR検査の拡充や経費の補助、公共施設への空気清浄機の設置をお願いしたい。	保険診療でウイルスの増殖を防ぐいい薬が出ている。早く医者診療を受け、早く薬を処方してもらおう。これによって重症化を回避することができるのではないかと考える。
その他	LINEによる通報に対して区がどのように対応をしたのか、情報公開されているのかどうか知りたい。	区民の皆さんの情報であり共有すべきだと思っているが、仕組みも含めて今後検討させていただく。

○新代田地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	ダイダラボッチの記念碑を、まもりやまテラスあるいはその周辺に作ってほしい。	プレートを設置するなどの設えを検討したい。
安心・安全	犯罪ゼロの日の認知度が低い。コンビニや駅にポスターを貼る等広報を工夫したらどうか。	頂いたご意見を参考に、より効果的な周知・啓発に取り組む。
環境・清掃・リサイクル	「脱クルマ社会」に向けて、環境に配慮した移動に関する取組みや補助54号線の現在に至る経緯と今後の取組みについて伺いたい。	地球環境にやさしい、持続可能な地域公共交通は、重要な課題と認識しており、デジタル技術を活用したデマンド型交通の導入をはじめ、小型モビリティに関する社会動向にも注視しながら環境負荷を低減した交通手段等の更なる促進に取り組んでいく。補助第54号線は昭和21年に決定された都市計画道路で、標準的には片側1車線ずつの道路を想定している。自動車から排出される二酸化炭素削減が課題となっているが、自動車からの二酸化炭素の排出量は、走行速度が低いほど多い傾向があり、交通渋滞の原因となっている交差点の改良、集中する交通を分散させるための道路ネットワークの形成など、自動車交通を円滑化する取組みの一つとして、引き続き道路整備事業に取り組んでいく。
福祉	地域包括ケアシステムは大事なことである。これを生かすため、住民の自治意識、行政との協働、地縁組織とアソシエーションとの融合をもっと推し進めてほしい。	地域包括ケアシステムはまさに住民自治が必要な仕組みであり、まちづくりセンターを活用し、町会・自治会、またNPO、その地域で動いている人たちがつながるようにしていただきたい。
福祉	ボランティアビューローの統合があったが、ボランティア活動をする場所が少なくなっているのか。	北沢地域にはボランティアビューローが2つあり、烏山地域に新しくつくるということで、代田ボランティアビューローを閉鎖した。跡地は行きどころがなかった知的障害のお子さんたちの放課後の場として活用されているので、福祉全体として後退しているということはない。

道路・街づくり	下北沢の線路街は飲食店が多すぎる。介護関連や高齢者向けスーパーなど地元住民に沿った商業施設の建設を鉄道会社に促してほしい。	線路街は人気が出ているので、観光公害や夜間の騒音など様々な問題が出てくるが、エリアマネジメントについて、地元の商店街等と話している。静かな住宅街と共存する、下北沢のまちのルールを、住民の皆さんが参加してつくり上げるような仕組みづくりをしていきたい。
道路・街づくり	下北沢の線路街に、教育や健康に関する商業施設も必要ではないか。小田急線沿線に限らず、事業者への働きかけをお願いしたい。	線路上部については、事業者は全て決まっているので、今後北沢の街づくりの中で、そのようなニーズを満たす施設をつくれるチャンスを見ながら考えていきたい。
道路・街づくり	大原では年々店舗が減り、高齢者にとって不便となっている。また、下北沢では古着屋など今風の店舗が増えて、元々の住民は買い物に行きづらい。	下北沢は古着屋のまちになっているが、少しずつブームが切り替わり始めている。今後はその地域をどうやって再生していくかという話になっていくのだろうと思う。
交通	南北の交通手段として有効なバスの日中の便数が減ってきている。日中に1時間に3本くらいあると助かる。	路線廃止などの情報があれば、まちづくりセンターを通じて総合支所へ寄せてほしい。区としても、バス路線を支えていくための支援策を検討している。
交通	下北沢駅前にハチ公バスのようなコミュニティバスが必要。特に区役所に行くのがとても不便。	砧・大蔵地区でオンデマンド交通の実証実験をしている。うまくいけば10か所ぐらいに広げていこうと考えている。再度力を入れて取り組むことにしたい。
教育	不登校の子どもが日中サポートを受けられる居場所があるとよい。スクールソーシャルワーカーを学び舎に1人で良いので配置してほしい。	まず、学校内での居場所の確保を考えている。また、少しでも魅力的で、一旦休んだり離れたりしても戻りやすい学校にすることに力を入れたい。スクールソーシャルワーカーについては、予算の問題があるが配置を強化していきたい。
教育	小学校で学級崩壊のような状態となり、保護者も団結して学校をサポートしているが、子どもたちへの適切な声掛けの仕方など、専門家によるアドバイスや一層のサポートが必要。	しばらくその学校に着任し学級を再建するようなスペシャリスト、ベテランの先生などを区で採用し、学校のレスキューチームのようなものをつくっていきたい。教育委員会、教育長にも伝える。

公共施設	羽根木区民集会所が廃止されると困るので、ぜひ存続してほしい。	利用率が比較的低いことから集会所廃止を説明させていただいている。福祉や子育てなど様々な用途で使えるような場で工夫はできないのか、地域振興課が皆さんの声を聞きながら解決策を探っている。
その他	区長は、小規模多機能自治を目指しているのか。	そこがぜひやり遂げたいことである。それぞれのまちづくりセンター管内で、相談しながら新しい仕組みをつくっていただきたいと思っている。
その他	空き家活用の展望を伺いたい。	不登校の子どもの居場所や子育て世代の交流の場、高齢者の趣味活動の場など考えられるが、区がすべてを運営するわけにはいかないため、住民自治として皆さんで運営する体制をつくっていただきながら、活用する仕組みを考えていきたい。
その他	小学校低学年は活動範囲が地域に限定される子が多いので、空き家を活用して、学校校区内に様々な居場所ができるようになるといい。	
その他	広島と長崎の原爆や、関東大震災時の流言飛語により在日朝鮮人の方が亡くなったことなど、様々な問題についてサポートしてほしい。	そのようなことについて、哀悼の意を表するなどしっかり発信していきたい。
その他	住民税非課税世帯への支援金の支給について該当は何世帯で、支給にあたり区の財政状況はどうなっているのか。財政的に可能なら非課税世帯に近い財政状況の方々への支援も必要と考える。	非課税世帯の方への給付金3万円は9万9000世帯を想定している。予算額は32億円強だが、全額国から交付金として交付される。物価高騰対策応援として、せたがやPayによる還元を行っている。
その他	住居表示について、退色しているものや広告の下に住所が書いてあるものなどあるが、調べて行っているのか。	民間広告板の街区表示の表記は調整していない。区が設置した街区表示板は毎年調査し、補修等を行っている。取り付け場所は、条例・要綱で規定があり、原則、各街区の角付近の歩行者等から見えやすい建物や標柱等に、街区表示板を設置するようにしている。
その他	民生委員としてふれあい訪問している。住居表示が頼りとなるが、ついていない場合もあるので徹底してほしい。	住居表示については、よくないところを、総合支所へ伝えていただきたい。

その他	被災動物ボランティア講習会における基調講演をやめてほしい。また、講師は同じ方ではなく、いろいろな講師を探してきてもらいたい。	昨年度の研修会の基調講演では、2年度、3年度の開催中止を受け、新規登録者向けの基礎的な内容とした。頂いたご意見を参考に、今後の研修の内容を検討する。
その他	ふるさと納税について厳しいスタンスで取り組んできた一方で、区への納税を少しでも増やすためにPRを行っている。PRを行うようになった背景、趣旨と、改めてこの制度そのものに対する課題意識を説明いただきたい。	区のふるさと納税の返礼品の充実とPRについては、「やれることをやらないで、批判だけをしている」といった声があるので、少しでも税源を取り戻すため、また問題提起のため行った。一日も早い現状の制度の凍結、見直しを求めている。
その他	飼い主のいない猫についての講座の講師が何年にもわたり同一。同講座やその他の地域の動物関連問題には、都の推進員を活用してはいかがか。	東京都動物愛護推進員やNPO法人、地域住民代表、行政担当者など「地域ねこ活動」を担う方からその時の状況等に合った講師を選定している。

○北沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	電線地中化に対し、どういう考えがあるのかお聞きしたい。電線は避難の妨げとなるため、できれば地中化を進めてほしい。	電線、電柱は災害時に支援活動を困難にさせるため課題であると認識している。区では無電柱化推進計画を立てており、できるところから進めているが、ある程度の道路幅員が必要であり、世田谷区内は8メートル未満の道路が多いというのが現状である。また、400mの無電柱化を実現するのに7年間かかり、地域の方々の合意形成も必要である。費用も高額であるため、低減するような方法も模索しながら進めていきたい。
まちづくり	下北沢には古着屋とカレー屋しかなく、地元の住民が生活に必要なとするお店が少ない。観光客にとっては良いが、住民にとっては住みづらくなっている。	以前は生活用品を売るお店があったと思う。産業振興の中でそういった声が上がっていることは言っていきたい。また、そのような業態でやってみようという人たちを支援したいと思う。
まちづくり	下北沢では生活に必要なものが買えない。	
まちづくり	世田谷トラストまちづくりによる空家活用のマッチングを利用した新しい居場所がスタートしたが、フォローがきちんとされていない。	フォローをきちんとするよう世田谷トラストまちづくりに伝える。
まちづくり	まちづくりセンターが四者連携して活動していくとのことだが、介護の問題以外のことに対しても、活動を充実させることができるのか。	まちづくりセンター所長の顔をぜひ覚えていただき、自分のまちの広場だと思って使っていただければと思う。
防災	北沢地区の広域避難場所は駒場であるが、車椅子や杖、シルバーカー等の補助器具を使っている人にとって、歩いて行くのに時間がかかる。そのような人たちのために、例えば旧北沢小学校の跡地などに避難所ではない一時的な避難場所や施設を考えてほしい。	歩くことが難しい方が駒場まで避難するのは難しいというのはもっともなお話である。区では在宅避難を呼びかけているが、情報から取り残される、食料や水はどうなるのかといった課題もあるため、解決する仕組みを急いで作っていこうと思う。また、要支援者以外の方が、災害時、道路の障害物により補助器具を使えない可能性もあるということは大きな課題として取り組んでいく。また、要支援者の名簿登録、活用を促

		しているが、個人情報の関係からご本人の承諾が必要である等の課題もある。避難所運営の見直しを行っているので、引き続き検討していきたいと思う。
防災	ポータブル電源の配布には大変感謝しているが、使用するにはやはり限度がある。電源は、まちづくりセンターや総合支所等にも確保していただきたい。	学校あるいは避難所にも置いていこうという議論をしているので、今回の御意見は参考にしていきたい。
防災	区は在宅避難を勧めているが、必ずしもそうはいかない場合もあるため、指定避難場所、福祉避難所の整備もきちんとしていただきたい。また、在宅避難時の情報の取り方や避難物資の配布の仕方等、システム作りも並行して計画を立てていただきたい。	高齢で身動きが取れない方、障害をお持ちの方の福祉避難所充実は、どのようにエスコートするかという問題も含めて取り組んでいく。
防災	元北沢小学校の跡地をさくら花見堂のようなつくりにして欲しい。	以前から同様のご意見はいただいております。区税で建てられた建物であるため、活用していけたらと思う。
防災	在宅避難、縁故避難については自治会内でも周知を回しているが、徹底するには難しいこともあるため、区での広報をお願いしたい。広域避難場所へ歩いて移動することが困難な方の避難場所について、東北沢駅は地下化に伴い、緊急の避難場所としては適地かと考える。小田急の管理問題もあるが検討いただきたい。区域避難場所への避難困難時、地元近場の公共施設、学校、マンション等で避難が可能な施設が有ればと考える。	小田急線東北沢駅を緊急の避難場所とすることについては、小田急電鉄は、帰宅困難者を想定して全駅に備蓄品（飲料水、レスキューシート、簡易トイレ）を配備していると聞いている。発災時間にもよるが、帰宅困難者が滞留している状況で、近隣の方が広域避難場所ではなく駅に避難してしまうと、混乱が生じる可能性があるため、発災時における小田急電鉄との連携については、災害時の対応等を確認し、関係所管課も含め協議していく。
安心・安全	小田急線上部利用の遊歩道が暗い。区民も利用するので、足元を明るくするように区から小田急に言ってほしい。また、階段部分のマンションのベランダ側には目隠しを付けることが計画されていたが、目隠しのボードが途中から無くなってしまい、計画と違うのではないかと。	現場を確認させていただき、周辺との関係性も踏まえて小田急と相談したい。

安心・安全	茶沢通りから三軒茶屋間に作られた自転車道が危険である。三軒茶屋までは自転車道がない方がいいのではと強く思う。	ご指摘があったことを伝える。
環境・清掃・リサイクル	オーバーツーリズムによるごみの散乱が酷い。ごみ箱を設置してほしい。	ごみ箱の設置は難しく、置くとすぐにあふれかえってしまうため踏み切れずにいる。夜間パトロールによるごみのマナーや路上飲みの注意は、区や警察が直接行うのではなく、まちの人たちが自分たちでルールを守って行こうと立ち上がろうとしているので、これを応援していきたいと思う。
環境・清掃・リサイクル	下北沢駅前あたりでは、一年を通して下水道の臭いが上がってきている。せめて駅前だけでも土管を新しくしてほしい。	合流式下水道であるため、雨が降らないと下水の臭いが立ってきてしまう。防臭リングをはめ、柵の清掃等で追いつく場合と、そうでない場合があるため、場所を教えていただき、改めて対応させていただきたい。
福祉	北沢地域では障害者グループが活動しており、障害者に対して理解のある街であると感じている。北沢地域も障害のある人に対して意識を持っていることを今回のような資料にも載せていただきたい。	今は無くなってしまったが、総合福祉センターという、まさに障害者の福祉の拠点を持って取り組んできたという実績がある。今回の車座集会資料は全地区同じフォーマットであるが、障害者の方の表現については、ほかの地区とも相談しながら進めていきたい。
子ども	子どもたちが駆け回って遊べるような居場所があればいいと思う。	線路跡地の原っぱや、小さな子どもが安心して過ごせるような場所が少しだけできたが、公園自体は少ない。デザイン会議等でも子どもの居場所や遊び場が必要だという声が挙がっている。住宅密集地の中での交流の場づくりを進めていこうと思う。
道路・街づくり	不燃化特区制度が令和 7 年に終了する。北沢タウンホール周辺、北沢 3・4・5 丁目地区、大原 1 丁目地区は 10 年間で約 1 割進んでいるが、残り 4 割が木造のままである。不燃化特区制度は延長されるのか、区の考えを伺いたい。	不燃化特区は区全体では進んでおり、区役所周辺は 7 割を超える等、取組みは実を結んできているが、大原 1・5 丁目、北沢 3・4 丁目は進む速度で苦勞している。課題がクリアされずに、制度を終了することがないようにしてほしいという意見は都へ出していきたい。

道路・街づくり	ごみ箱が少ない。駅にも公園にもごみ箱が無く、特に下北沢駅の前はごみの山である。	ごみ箱を置くとまた別の課題もあるが、まちの美化というところで課題としては当然持っている。生活ごみの持ち込みをどのように防ぎ、管理するのか、あるいはごみ箱以外の方法で何かできないか引き続き検討していきたい。
道路・街づくり	私道における下水道メンテナンスは、今後も所有者がしなければならぬのか。	私道の下水道の改修は、私道の所有者で行っていただく必要がある。
道路・街づくり	アスファルトが傷みガタガタしている道路は、写真を撮り担当へ繋ぎ、補修の要望ができるのか。	公道であれば、LINE による通報が可能となった。
道路・街づくり	区はみどり 33 を続けているが、メンテナンスが高齢者にはハードである。各家庭にメンテナンスを続けさせていることを考えていただきたい。	現在、みどり 24.5 程度であり、あと 9 年どのように進めるのか難題ではあるが、みどりをなるべく増やしていこうと進めている。
教育	北沢エリアに公立のオルタナティブスクールを作って欲しい。	不登校の子が非常に増え、ほっとスクール希望丘、城山を作った。また、不登校特例校を元教育センター跡地につくっている。不登校の理由は様々で、学校という仕組みや学び方自体が今の時代と合わなくなっているかもしれない。通いたい学校に変わっていく必要があることから、教育ビジョンの作り替えを行っている。教育大綱、教育振興計画を基に、区も歩みを進めている。

教育	北沢小学校を北沢地区に返して欲しい。下北沢小学校は2023年に3校合わせて564人の児童になるという話だったが、現在741人となっている。このことを区は知っているのか。地域のつながりを持つための運動会も父兄が入替え制である。横のつながりが無いため、商店街は無くなり民生委員は欠員となっている。まちづくりセンター管内で小学校がないのはここだけ。どうしても作らないのであれば、少なくとも児童館を入れてほしい。	下北沢小学校が741人ということは存じ上げているが、運動会が入替え制というのは初めて聞いた。子どもたちの声ができるように何かできないかということは、十分に話し合っていきたいと思う。
教育	北沢5丁目には小学校がなく、若い世代が少なくなってしまう。北沢5丁目に若い世代を呼び、高齢者のフォローをするためにも、北沢小学校の跡地に子どもたちの声が聞こえる施設が必要ではないか。	
教育	みなが使える、集える図書館・自習室がある施設が欲しい。体育館、温水プールが欲しい。	10代に向けて作った青少年交流センターが希望丘にあり、自習室で勉強している子が多い。中学生、高校生が勉強する場所に困っているという声はよく聞くため、いろいろな施設で勉強できるような取組みも始まっている。
教育	自習室が足りず、勉強できなくて困っていると非常に多く聞く。図書館や防災機能等を兼ね備えた勉強ができるスペースを作っていただきたい。	
教育	ほっとスクールに入れたくても入れず、見学すらしてもらえない。対応を考えていただきたい。	過密になるのを警戒していたが、需要に対して供給が足りていないと思う。図書室なども活用し、学校内居場所のようなものも本格的に進めていこうかと教育委員会と話している。
教育	猛暑でエアコンが効かず困っているとよく聞く。エアコンの整備を早急にすべての学校でやっていただきたい。	旧式のエアコンが壊れ始め、効きが悪いものにまで修理が及んでいない。一遍にできないこともあるため、断熱効果を高めエアコンの効きを良くする等、暑さ対策を考えていきたい。

公共施設	大規模災害の際の避難場所として、特に北沢 4、5 丁目は北沢小学校跡地が無いと成り立たない。売却は絶対にしないでください。大きな道路に面していることは、下北沢小学校や池ノ上小学校より優れている。命にかかわる問題なので、区の財政が厳しいとか、目先の問題として対処しないでいただきたい。	避難スペースということを前提に進めてきたので、売却するということはまず考えていない。
公共施設	図書館が北沢タウンホールの 10 階にあったが、三軒茶屋の昭和女子大に移ってしまい不便である。タウンホールにまた図書館を設置してほしい。	北沢タウンホールには、男女共同参画センターらぶらすの女性図書コーナーがあった。本を借りるだけであるが、図書館カウンターを下北沢駅前につくった。現在区では、宅配ボックスのようなものを駅前に置き、予約すると翌日の午後には本が入っているということを実験的にできないか検討している。反響がよければ広げていきたい。
その他	区の広報板が老朽化に伴い撤去された。掲示板は必ず残してほしい。	基本的には、老朽化した広報板は新しく交換しているが、再設置できない理由があった可能性がある。
その他	区 SNS での情報発信について、若い世代に伝えるためには広告として打ち出すしかない。情報を取りに来てもらうのではなく、発信することも必要である。ツイッター（現 X）をたくさん開設しているが、すべてフォローしたら居住地域が特定されてしまう。	広告はともてよいアイデアで、興味、関心があるものを目につくところにどう載せるかというのはともて大事な観点だと思う。ツイッター（現 X）は使わないという子どもたちにどう伝えるか、区の情報をどう載せるかについて考えていきたい。

○松原地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	町会・自治会の役員が高齢化していて担い手がない。町会・自治会のあり方について、区長の考えを聞きたい。	町会の中では、地域限定SNSをつくるというプロジェクトを始めている所もある。災害時の運営では若い人が先頭に立ってもらう必要があり、地域行政推進条例を活かしながら区も支援していく。
町会・自治会・コミュニティ	何日何時と決めずいつも誰かいるという場所を設けてほしい。老人は人生を語り合う人を求めている。	例えば、中央図書館では多くのイベントや事業を開催している。また、松原地区では、料理教室やスポーツ吹き矢など日々の生活や健康維持に役立つ講座に参加しながら知り合いを増やすことなどを目的とする、おとこ塾を開催している。加えて、多世代の交流を目的とする「茶話やか松原」をうめとびあで開催している。多くの方と知り合い語り合う機会を設けているので、ご参加いただきたい。
町会・自治会・コミュニティ	若い人を中心に婚活、教養を深める、世の中を知る、人を知ることがを目的に自由な地域交流の場を作してほしい。	青少年交流センターでは、多様な分野で活躍する人をゲストに迎え、その専門性や世界を体験するプログラムを設けており、若者が様々なことを知る、経験する機会と場を提供するなど、若者の活動を支援している。ご意見については、今後のまちづくりセンターにおける取組みの参考とさせていただきます。
DX	母子手帳を入手した時にダウンロードした子育てアプリがLINEに移行されたが、松原地区の情報がない。チラシはPDF化してハッシュタグを付けるなど、検索しやすくしてほしい。	ご意見は庁内でも共有させていただく。松原地区の情報がないということについては確認する。
防災	災害時の避難場所として、明大前駅駅前広場には、給水、防災トイレ、かまどベンチ、生活用水、太陽光発電による電池、給水用の貯水槽などを配置しておく必要があると考えるがいかがか。	駅前広場の空間は、震災時の帰宅困難者等の一時滞留空間としての機能も求められることから、提案内容については、防災機能の向上の一案として、今後の参考とさせていただきます。

防災	明大前駅駅前広場周辺の水害対策として、東京都は「東京都豪雨対策基本方針」を改訂し、区部では目標整備水準を時間最大75mmに引き上げたがこの地域は目標整備水準に達しているのか。	区では、「東京都豪雨対策基本方針」の中で、概ね30年後までに時間最大75mmの雨水対策を目指している。これを踏まえ、明大前駅駅前広場や補助第154号線の整備に関する設計を進める中で、雨水の浸透貯留施設の設置や透水性舗装の整備等を検討していく。
環境・清掃・リサイクル	利用しているおでかけひろばで、近隣の高齢者が子どもの声に苦情を何度も言い、外で遊べなくなった。子どもの声は騒音ではないことを区からも訴えてほしい。	子どもの声は騒音なのかという問題提起により、都の環境確保条例が改正され、就学前の子ども声は騒音として扱えなくなった。子どもには育つ権利があるのだと、区の方でも理解してもらえるように言い続けていきたい。
環境・清掃・リサイクル	明大前の高架下(松原一丁目38番地)は他地区からも不法投棄している人が多いと聞く。防犯カメラで犯人を特定して高額の反則金をとる、または、行政として粗大ゴミ回収車を週一回走らせるなどして欲しい。	当該集積所への不法投棄を防ぐため、清掃事務所での継続的な排出指導や注意喚起の看板設置等を行っている。区では不法投棄を直接取り締まれないため、不法投棄を見かけた場合は警察署へ相談することも検討いただきたい。粗大ごみの収集車を周辺に走らせ、その場で収集することについては、収集効率性等の観点から実現は難しいと思うが、今後の収集形態の検討の参考にさせていただく。
福祉	認知症の方が利用するヘルプカードを知ってもらい、もっと普及させてほしい。	区では、履物や杖、カートに貼ったコードを読み取り住所が分かる仕組みを広げているところである。ヘルプカードも非常に有効である。今後は、通過すると反応するペンダントのような物で電子的に所在を確認できるような仕組みも導入したい。
福祉	認知症は意識改革が一番大事だと思う。区で認知症検診をしてもらえないか。	まちづくりセンターを会場として、もの忘れ相談会を開催しており、これをきっかけに精密検査に繋がるケースもある。看護師が相談にのる初期集中支援事業も区で行っている。うめとぴあの中に認知症在宅生活サポートセンターがあるので、活用してほしい。

福祉	東京リハビリテーションセンター世田谷について、区と南東北病院はどのように提携しているのか。	東京リハビリテーションセンター世田谷は、南東北グループという医療法人が運営している。区は職員のスキル向上支援等を行っている。
子ども	区の少子化対策の取組みについてお聞きしたい。	現在、おでかけひろばが67箇所あるが、80箇所まで広げていきたい。特に、子どもが生まれた直後から保育園に入園するまでが孤立しやすいので、しっかりとサポートしていく。また、子育て世帯に対する住宅支援も本腰を入れていく。
子ども	里親認定基準の居室数の要件を緩和してほしい。	区が必要としている居室数の目安は、国から示されている「住生活基本計画(全国計画)による世帯構成員別の最低居住面積水準」に基づいている。また、子どもと里親家庭のマッチングの実施においては、区内にかかわらず都や他の特別区児童相談所設置区といった都内全域で行っている。そのため、里親認定基準は同一の内容としており、区が単独で里親認定基準を見直すことは難しい。
道路・街づくり	明大前駅駅前広場の用地にベンチを置けないか。	京王線明大前の連立事業用地は、京王線の工事で使われてしまうが、道路事業の区の用地は、地域の方々の協力のもと管理ができるのであれば、利用できる可能性がある。担当課と相談させていただきたい。
道路・街づくり	明大前駅駅前広場について、なかなか進展がないが、区長はどのような方針で広場を考えているのか教えて欲しい。	再開発自体は地区の地権者の合意形成が大事で、また、民間事業者の事業協力が必要になる。専門家派遣という形で支援してきたが、引き続き担当を含めて検討させて欲しい。
道路・街づくり	明大前駅駅前広場は、連立事業の計画決定から事業化まで非常にスムーズに進み、その間、地権者や街づくり課の職員と話をしてきたが、コロナの影響もあり3年間進捗がない。もう少し積極的に今年度から支援していただきたい。	

道路・街づくり	明大前駅駅前広場は空き地が増え、生活環境も悪化している。商店がなくなり、生活が非常に不便な状況なので、できるだけ早くまちづくりを進めて欲しい。	改めて区の体制を点検し、まちづくり支援を力強く行うよう、指示したい。
道路・街づくり	明大前駅周辺の交通について、京王電鉄、東京都、北沢警察署や松原1・2丁目、商店街の関係者で検討するような会議を考えてほしい。また、京王線の連続立体化事業完成までのスケジュールについても京王電鉄に確認して欲しい。	どのようなまちにしたいのかなどをトータルに話し合う場を作りたいと思っている。区と京王電鉄と都が入るかもしれないが、課題にしていく。
道路・街づくり	明大前駅の駅ビル内に、文化的施設や医療的施設などが作られることを希望する。	ご意見は京王電鉄にお伝えする。
道路・街づくり	京王線を地下化して緊急一時避難施設としてのシェルター機能を持たせられないか。	
道路・街づくり	明大前駅周辺は公園の少ない地域であるため、駅ビルに屋上庭園ができることを期待する。	
道路・街づくり	明大前駅周辺の街づくりについて、区の関係各部署、京王電鉄、松原1、2丁目町会、商店街、明大前駅周辺地区街づくり協議会、場合によっては、北沢警察署、都でプロジェクトチームを組織して欲しい。	高架下利用の計画については現時点では具体的な内容は決まっていないため、今後、皆様のご意見やご要望を確認しながら工事の進捗状況を踏まえ事業者間で計画の検討を進めていく。
道路・街づくり	都市計画課から明大前駅周辺地区街づくり協議会に対して、中長期的な活動スケジュールと毎年単年度完結の活動計画の提示を求められている。しかし京王線連続立体高架事業の大枠が示されていないため、協議会の活動をどのように対応させれば良いか検討のしようがない。	明大前駅周辺地区街づくり協議会の活動支援については、専門家派遣が地区街づくり計画策定後5年目となり派遣期限の限度を迎えている。そのため、昨年度末の審査会にて、「令和5年度は、街づくり専門家派遣の派遣期限を迎えるため、年度末に明確な活動成果を示すこと」と指摘されている。今後の活動については、他地区の街づくりの活動の事例を紹介することもできるので、今後の活動内容等をご検討いただきたい。

道路・街づくり	京王線連立については京王電鉄、また、都道23号線は都のスケジュールを提示して欲しい。	京王線の連続立体交差事業は2030年度(令和12年度)末まで、また、東京都市計画道路幹線街路放射第23号線(世田谷区大原二丁目～杉並区和泉二丁目)は、2030年度(令和12年度)末までの事業認可期間として、都により事業が進められている。
交通	菅原天神通りに横断歩道や信号を設置して欲しい。	横断歩道や信号の設置は警察の役割となっているが、横断歩道を造るよう警察と交渉はできる。また、30キロ以上出せばいけないエリア(ゾーン30)の指定ができないかなどもあるので、後日、北沢総合支所からお答えする。
交通	松原一丁目38番の東側道路の道幅が狭いにもかかわらず、南北から車両が通行して危険なので、一方通行化すべき。	ご意見は、所管の北沢警察署へ情報提供させていただく。
交通	子どもはヘルメットを付けて自転車に乗っているが、母親や事業者は付けていないことが多い。着用を義務化する条例をつくって欲しい。	ヘルメット購入の補助は開始する予定だが、条例化については今後検討していきたい。
公共施設	地区内に児童館を作ってほしい。また、松原では出張児童館は行われていない。	児童館は、四者連携を担う大切なもので各地区に必ず設けるという方針を立てた。ただ、ある程度の規模が必要なため、区の公共施設の改築などの機会を捉えて整備していく。出張児童館が行われていないということについては、児童課に伝える。
その他	ジェンダーレススポーツに関する取組みがあれば教えて欲しい。	ジェンダーレスの問題に関しては、区でも色々な制度を進めているが、スポーツの中でどこまで進めているかについては、関係所管にも伝えておく。
その他	ふるさと納税できる区政の納税項目の細分化・多様化をすれば、流出額が減るのではないか。	医療的ケアが必要な子を応援することや認知症を見守る体制の強化など、半額は地元でふるさと納税してもらえるように、今後、号外も出して願います。

その他	おでかけひろばに区の職員が視察に来ていたが、スーツ姿の女性一人、男性三人だった。ケアの現場であることを認識していただき、子育てや介護は女性が関わるので、意思決定の場に女性がどう参画するかを意識してもらいたい。	職員のジェンダーバランスや服装については、TPOをわきまえるように伝えていきたい。
その他	子育て世代だけでなく、高齢者の住宅支援も考えていただきたい。	区では、居住支援協議会という組織があり、高齢者が亡くなった時にお部屋の片付けの費用を補償するなどの仕組みがある。家賃の高さについては、子育て世帯の住宅支援も含めて、アイデアを出していきたい。
その他	区は家賃が高く、地域に愛着があるのに出てしまう人が多い。定住する子育て世代を確保するため、税制の優遇や建築上の優遇等の施策が重要だと思う。	

○松沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	災害時にもつながりやすいLINEのようなデジタルの力で、町内会の連絡網などが作れるとよいと思う。	デジタルツールは、便利に使えるようになるまで時間がかかり、それをフォローする人も必要なことから、今、区として町会全体での統一ツールの使用は考えていない。使いたいものを自分たちで使っていくことを考えていただこうと思っている。町会の問題は、IT化すれば全て解決する話ではないので、区としてきちんと向き合っていきたい。おそらく今年中に町会での対応例が出てくると思うので、総合支所から共有をしていく。
町会・自治会・コミュニティ	町会運営を継続していくためには、会員数を増やすことが必須条件である。町会を継続運営するためには、どのような対策があるのか。	区は、転入手続きの際に、町会・自治会のご案内のちらしや活動紹介の冊子を配布しているほか、町会・自治会に対しては、ホームページの開設支援や、「町会・自治会活性化マニュアル」を配布するなどの取組みを進めてきた。 また、町会・自治会における地域情報の共有と地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、令和5年度からは区と町会総連合会で、町会・自治会向けSNSの導入及び活用の支援事業を行っている。 町会・自治会は、地域活動において中心的役割を担っており、区としても町会・自治会活動の活性化に向けて、引き続き支援に努めていく。
防災	大災害時には想定以上の避難者が避難所へ駆け込むこととなり、まちづくりセンターと住民が予備避難所を開設することが合理的と考える。ついては、備蓄倉庫の鍵をまちづくりセンターに置いてほしい。	避難所の収容能力が足りないことは間違いがなく、予備の避難所を各方面にお願いして広げていく必要がある。備蓄倉庫の鍵は、対応の方向で検討させていただく。

防災	在宅避難者への支援物資の搬送体制について、区で方向付けをしてもらいたい。	在宅で避難した場合の、食料、水等の問題については、それぞれで備蓄いただくことが必要だと思うが、一番の問題は情報伝達と考えている。コミュニティFM(エフエム世田谷)などを通して行っていきたい。
防災	災害時の情報難民を防ぐために、エフエム世田谷の活用を考えるべき。	
防災	町会として、災害時の高齢者の避難生活の場について近所の民間の施設と相談しているが、当該施設の耐震性をどのように確保していただけるか。また、お休み処について、上記の民間施設のように協力いただける施設に広げてもらいたい。赤堤1丁目には備蓄倉庫が少ないため、倉庫を大きく広げてほしい。	近くの丈夫なお宅に集合するような仕組みの検討も含め、区の災害対策課や総合支所も歩調を合わせて、在宅避難の実現に向け一層取り組んでいきたい。
防災	指定避難所が遠いため、実際に行けるか不安との声がある。2丁目町会エリア内に民間と連携するなどして避難所を設ける必要がある。	防災塾を今後も継続し、ご指摘の課題についても具体的に決めていくような体制を取っていきたい。
安心・安全	防犯カメラの設置を区・都の補助金を活用して計画している中で、町会として公園へ防犯カメラ設置が出来ないことは大きな問題である。区として公園への防犯カメラ設置をどのように考えているのか。	防犯カメラ設置に関して、区の補助制度では、公園や私有地のような、設置管理者または所有者の責任において管理する場所等を撮影するものは補助対象外としている。公園への設置については、管轄の警察署にご要望いただければ、警察署と区内関係所管で協議させていただく。
福祉	食を通じたコミュニティづくりを行い、子どもの貧困問題にアプローチしたい。そこで、大学と地域、小中学校との連携とせたがや Pay の活用を提案する。	区としても、見えない貧困、子どもたちの食の問題は大事だと考えている。大学の機能を使いながら地域の商店街や地域の人たちと交流すること、あるいは地域活動に参加する方に対するボランティアポイント付与などについては、検討させていただく。

福祉	<p>一人暮らしの老人の悩みとして、葬儀、家の片付などの民間サービスを利用したいが信用できるか不安、ということがある。区としてそのような業者を紹介する、ないしは区としてそのようなサービスを委託できないか。</p>	<p>事業者紹介については、公平性の観点から区では行っていないが、世田谷区社会福祉協議会の成年後見センターに委託し、葬儀や死後の自宅の片づけなど高齢者の不安に関する相談対応を行っている。今後は、いただいたご意見や国の動向を踏まえ、身寄りがない方の課題について引き続き検討していく。</p> <p>また、家事援助については、介護保険サービスとしての「訪問介護(ホームヘルプ)」、介護保険外のサービスとして世田谷区社会福祉協議会の「ふれあいサービス」などがある。将来的な金銭管理の支援については、「あんしん事業」や、「成年後見制度」などがあり、どちらも世田谷区社会福祉協議会成年後見センターで相談ができる。</p> <p>区では、高齢者を見守る地域づくりを推進しており、各種の見守り施策と民間事業者と協力した見守りにより、区やあんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)につなげ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように支援している。</p>
みどり・公園	<p>山下公園西側でのマンション建設計画について、区は公園を所有する当事者として調査し、事業者へ見直しを求めてほしい。</p>	<p>行政側でできることとして、まずは事業者の方と周辺の方々が話す場づくりが重要と考えている。事業者に対しては、近隣の方々の意見を聞くよう促しながら、新しく住まわれる方が新たにコミュニティに入ってもらい良好な関係の調整を行っている。まだ意見交換会も行われていないため、引き続き協議・調整していただきたいと思う。今後とも総合支所と連携しながら対応していきたい。また、区立公園の良好な環境の維持</p>
みどり・公園	<p>山下公園西側でのマンション建設計画について、公園の質を維持したい。区長と直接話し合いができる機会を望む。</p>	<p>行政側でできることとして、まずは事業者の方と周辺の方々が話す場づくりが重要と考えている。事業者に対しては、近隣の方々の意見を聞くよう促しながら、新しく住まわれる方が新たにコミュニティに入ってもらい良好な関係の調整を行っている。まだ意見交換会も行われていないため、引き続き協議・調整していただきたいと思う。今後とも総合支所と連携しながら対応していきたい。また、区立公園の良好な環境の維持</p>

みどり・公園	山下公園西側でのマンション建設計画について、事業者に対して住環境条例による共有スペースを求めている。公共性の高い近隣住民が利用できる集会施設などの設置について、区からも事業者に対して促してほしい。	というお話は、関係所管課に申し伝える。
みどり・公園	地域の方々と山下公園と近隣の環境を守る活動をしている。その活動を理解いただき、支援していただきたい。	
みどり・公園	気候危機対策という観点で、また、子育て環境をよくするという意味からも、緑の世田谷を本気で作ってほしい。	一人当たりの公園率は非常に少なく、より活発に公園整備を進める必要があると考えている。また、農地減少対策として、農業公園としての買取や福祉的な農福連携などに取り組んでいきたい。気候危機への対応としては、エネルギーを極力使わない住宅構造にしていくことに力を入れていきたい。
道路・街づくり	桜上水駅周辺地区街づくり協議会に対する区からの専門家派遣並びに助成金の補助の継続をお願いしたい。	桜上水駅周辺地区街づくり協議会の活動支援については、地区街づくり条例等に定める協議会助成や専門家派遣の期限が限度を超えており、昨年度末の審査会にて「年度末に明確な活動成果を示すこと」と指摘されている。令和6年度以降については、活動内容や成果の議論をさせていただき、年度末の審査会への審議に諮る調整を進めていく。
道路・街づくり	西福寺通りの5丁目部分の歩道の整備計画はどのようになっているか。	西福寺通りは、令和4年度までに赤堤5丁目交差点から南側の赤堤3丁目部分について歩車道の舗装などの改修を行った。 また、同交差点から北側の赤堤5丁目部分については、世田谷区舗装更新計画に位置づけられており、改修について、施工時期を含めて検討していく。

交通	小・中学校の通学時間帯の通学路での車の通行に大きな危険を感じる。通行制限、車速制限あるいは、警察官による監視などで安全を担保する対策が急務である。	学校では年 1 回通学路安全点検を実施し、教育委員会では学校や PTA、警察、道路管理者を交えての通学路合同点検を 4 年に 1 度実施しており、学校や保護者からの声を踏まえた児童の安心安全な通学環境の確保に努めている。ご提案の通行制限、車速制限あるいは、警察官による監視といった各種対策については、今後の安全対策の参考とさせていただく。
交通	朝のラッシュ時の京王線踏切について、30 分以上開かない状況で、自転車通行や歩行者への安全に大きな不安がある。京王線高架化計画の前倒し対策を明確にしてほしい。	京王線連続立体交差事業は、用地取得が完了した後、まずは下り線の高架化を行う予定としており、これにより踏切遮断時間は現在よりも短縮される。下り線の高架化後、上り線の高架化を行い、事業区間内の全ての踏切を除去していく予定で、引き続き事業期間内の完成を目指して取り組んでいく。
教育	発達障害の子どもたちへの対応を含め小中学校の先生方の負担が大き過ぎる。小中学校において事務員の増員や専門性の高いボランティアの活用を図ってほしい。ペアレントメンター研修を履修した保護者や大学教育学部の学生の活用を検討してはいかがか。	発達障害への対応について、現状を非常に危機的だと思っており、学校への支援員配置については取り組んでいく。発達についてしっかりとした視点があり、なおかつ特性を理解している方に支援に入ってもらう体制を強めていきたい。放課後あるいは学校に行けない場合の居場所として、児童館などでも受入れの対応をしているので相談、活用していただきたい。また、学生の活用などのご提案をいただいたので、関係する所管にお伝える。
教育	国を挙げて少子化対策に取り組まなければならない中で、ハード面ではなくソフト面で、例えば児童心理学の専門家が子どもを持つ楽しさなどを、中学生・高校生に対して訴えていくことが必要なのではないか。	区として人口問題、少子化問題でできることは限られ、非常に難しいことではあるが、住居の支援は大事だと考えている。特に、若者世代に住まいと暮らしの基盤を提供するようなことも本気で取り組みたいと思う。

その他	民生委員、青少年委員について、責任ある仕事をしていただくためには、一定の報酬が必要ではないかと思う。	報酬支払は制度的に難しく、活動費として支払っているが、議会からもさまざま御指摘があり、区で検討し、昨年、活動費の額を少し引き上げた。民生委員は大切な制度であるため、引き続き検討する。
その他	教員多忙の現状も含めて、ふるさと納税について制度を見直してほしいと思っている方がたくさんいると思う。制度見直しを切実に願う。	学校の先生が健康な生活リズムを取り戻せるような教育環境をつくっていきたいと思う。区としては、区で教員を採用することなども議論をしている。ふるさと納税による減収は大変危機的な事態だと認識しているため、国に対して寄付金額の上限を決めるよう求めている。
その他	区へのふるさと納税について、何を返礼品にするかということが大事。区に特産物はないが、区が誇れる美術館などの文化を返礼品にすべきである。	区では昨年からは宿泊券やお食事券なども始めて取り組んでいるが、寄附額が1億4000万円増えて歳入が10億円減ったというのが現状で、大変危機的な事態だと思う。国に対してはふるさと納税の上限を決めるよう求めている。シティープロモーションとして、世田谷らしいふるさと納税の集め方で、しかも、実際の金額に実るということも取組みたいと思う。今後も危機感を持って臨みたい。
その他	区としてもふるさと納税の返礼品を増やすなど色々と努力されていることは適切であると思う。提案として、各区立小・中学校の卒業生、在校生父母にクラウドファンディングを呼びかけてはいかがか。	ご提案の母校など学校を指定して寄附する方法は、すでに取り組んでいる自治体もあることから、有効な方法と認識している。一方で、学校によって寄せられる寄附金額に差が生じる可能性があり、学校現場や児童生徒へ与える影響など、慎重に検討する必要があると考えている。区教育委員会では、特定の学校ではなく、広く区立小・中学校の教育環境の整備を目的とした「義務教育施設整備基金」を設けているので、応援いただきたい。

○奥沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	男性の孤立を防ぐため、ダンディクラブで様々な内容の取組みを行っている。ニーズはあるはずなので全区に広げていきたいと思っている。	そういった活動を、生涯現役のネットワーク等を活用して広げていく工夫をしていただきたい。活動内容も多彩なので注目していきたい。
防災	町会に配備されている蓄電池の電圧が低いため、電圧が高いものを配備してほしい。	災害時に一番困るのはスマートフォンの充電なので、体育館には大きなバッテリーを配備し、一度に多くのスマートフォンを充電できるようにしている。町会配備の蓄電池については、今後検討していきたい。
環境・清掃・リサイクル	今後エネルギーの問題は多くなってくると思うので、水素電力の活用を推進してほしい。	水素を使った自立型電源を持っておくと災害に強い。川崎市とは包括協定を結んでいる。地区のごみ減量・リサイクル推進委員会の広報紙にある官民の先進的な水素エネルギー関連の取組みをぜひ紹介していきたい。
子ども	現在、土曜日のおでかけひろばは月1回あるが、回数を増やしてほしい。	現在おでかけひろばは67か所あり、80か所まで作る方針である。乳幼児の保護者が孤立しないように、また子育ての知恵を分かち合えるよう整備していきたい。近隣の状況を調べてみてほしい。
子ども	自宅で子ども食堂をしているが、子育て世帯からの需要が拡大しているように感じる。子ども食堂の数が増えるとよいと思う。子ども食堂の立ち上げ支援について区のサポートは何かあるか。	行政施設等を使った「場」の支援を考えていきたい。まちづくりセンターを通して総合支所に相談していただければ検討する。新たな団体が出てこられるような環境整備を後押ししていきたい。
交通	路線バスの本数が少なく、高齢者が病院や公共施設、駅に行く際に不便。路線バスの拡充をしてほしい。	令和5年8月24日に東急バスに伝えているが、コロナで経営が苦しくなっていると聞いている。深刻な問題であると捉えており、バス会社と連絡協議会を作り、路線を廃止する前に区に情報提供するようにしようと考えている。現在別の地区でオンデマンド方式の実験をしており、反応がよければ広げていきたいと考えている。要望書もいただいているので、所管部署に伝える。

交通	東玉川地区のリニア地下トンネル工事について、交通政策課に対してボーリング調査の実施と 24 時間掘進の中止要望を出したが、その後一切動きが無い。工事により調布の陥没事故のようなことが起こるかもしれない。安全であるということを知ってほしい。	事業者に対して区の土地を貸す際に、環境に配慮すること等の 7 項目の要望を入れている。改めてボーリング調査を行うように求めていく。
交通	リニア工事について、自宅の下でトンネル工事が行われることに不安がある。専門家も地表への影響を指摘している。JR 東海にきちんと説明をしてもらいたい。また、区から JR 東海に対して住民説明をするよう求めてほしい。	外環道の工事においては、担当事業者とやり取りをし、現況の報告を受けるとともに、説明会を時間で区切ることがないよう伝えている。JR 東海とはまだそこまでの繋がりが無いため、担当所管と連携して取り組んでいきたい。
交通	多くの学者等がリニア工事のデメリットを挙げている。区でもそれを理解しておいてもらいたい。	
交通	家の南側 10m 程離れた地下をリニア新幹線が通るが、どのような影響が出るのか実験結果を知らせて欲しい。地質調査の結果を調布市と比較して説明してほしい。	区から JR 東海に相談内容等を伝えたところ、JR 東海が直接対応するとの回答があった。
教育	約 2 年前に奥沢小学校の給食室改築では、保護者がお弁当を作った。松丘小学校は校長の判断で弁当業者を入れていた。奥沢中学校の改築では、保護者や先生の負担がないようにしてほしい。	4 月 1 日から小中学生の給食費無償化が始まったため、現在は負担とならないような仕組みになっている。
教育	児童の部活動について、公立小規模校では部活動の内容が限られてしまう。部活動のみ越境できるような制度を作ってほしい。また、兼部して色々なスポーツに挑戦できるようにする等、柔軟な制度作りをしてほしい。	現在玉川では東深沢と用賀で総合型スポーツ文化クラブがある。立ち上げがかなり難しく、簡単にできないが、そういった視点も入れながら部活動の地域移行に取り組んでいきたい。

教育	<p>区には毎年のように全国大会に出場する運動部のある公立中学校があるが、現行制度では公立中学校に進学する場合、学区域指定校に通う必要があり、域外の全国大会常連の中学校への進学は認められていない。5地域それぞれの運動部ごとに重点校を設定し、そこにクラブを設置、自校の運動部と重点校のクラブ活動の両方に参加できるようにし、日本中学校体育連盟の登録も兼部を可能にすることを提案する。公立中学校に通う生徒たちが充実した3年間を過ごせるよう、検討をお願いしたい。</p>	<p>公立中学校の部活動については、現在、少子化の影響による部活動の持続可能性や、部活動指導における教員の業務負担などの課題を踏まえ、スポーツ庁・文化庁による検討会議等の「部活動の地域移行に関する検討会議提言」を受け、当区でも、昨年10月から「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会」での検討を進めている。</p> <p>教員、保護者、地域のクラブ・団体、有識者、教育委員会の代表者で構成する同委員会では、部活動の当事者である「生徒を中心とすること(スチューデント・センタード)」を方針の一つとして掲げ、様々なご意見を集約・調整しながら、よりよい地域移行のあり方をめざし検討している。今年度はトライアル事業として、4つの部活動で地域移行の事業検証を実施している。</p> <p>地域移行を検討、実施していくにあたっては、これまでの部活動のあり方にとらわれず、様々な検討を行っていく必要がある、今回ご提案いただいた内容も踏まえ、世田谷らしい地域移行の実現に向け、引き続き検討を進めていく。</p>
公共施設	<p>区民向けサービス、特に施設や催しが区北東部に集中しており、利用する機会がほとんどない。具体的には芸術文化関連なら三軒茶屋、保健センターは梅ヶ丘、市民大学は池尻大橋など。南部の住民も利用できる機会を作ってほしい。</p>	<p>交通の事情から、全区的な展開の拠点が三軒茶屋になりやすいといったことはある。様々な文化行政について、全区的に展開してほしいというお声として受け止めさせていただく。</p>

公共施設	奥沢区民センターの移転について、2年の予定が3年に延びたと聞いている。再移転する場合には、地域住民と話し合っ決めてほしい。	マンションの理事会での手続きが長くかかってしまっているのは申し訳ない。原則としてセンタービルの耐震化を最優先に考えている。これまでも町会、自治会、運営委員の皆様には事前にお話をさせていただいているが、引き続き取り組んでいく。今後の状況については、まちづくりセンターを通して連絡を密にしたい。まちづくりに関わる活動が分散して縮小することは避けたいと考えている。
公共施設	世田谷区の図書館の中で、奥沢図書館は6番目に利用者が多く、年代別に見ても60代以上の割合が多い。できるだけ早く奥沢図書館を開館してほしい。	
公共施設	本庁舎整備について、業者とトラブルが起きていると聞いているが、詳細が伝わってこない。区報等で状況を伝えてほしい。	本庁舎整備について区報号外を作成中である。5月半ばに工事の8か月遅延が判明した。原因は施工計画の細かい部分が決まっていなかったことによるもので、業者が責任を認めている。また、7月にはあわせて2年弱遅れることが判明し、現在、補償について業者と交渉している。
公共施設	奥沢図書館の移転前の場所に返却ポストを設置してほしい。また、休館になる際に住民に対する説明が不十分で、経過も伝わってこないため、住民説明をきちんとしてほしい。	中央図書館長にもご意見が届いている。今回いただいた要望を改めて中央図書館長に伝える。
公共施設	奥沢区民センター移転に関してはある程度説明があったが、図書館移転についての説明が不十分だった。区民にとっては同じ公共施設なので、教育委員会と連携を取りながら複合的に考えてほしい。	説明が不十分であったことは教育委員会に伝えておく。今後は教育委員会と総合支所が連携し、縦割りになることがないようにしていく。
公共施設	地区会館にAEDを設置して、講習会を開いてほしい。	AEDの設置が無い理由として、日常的に常駐している職員がいないことが挙げられる。地区会館へのAEDの設置は全区的な課題として捉えていきたい。また、設置する場合は講習会も必要になると考えている。

公共施設	奥沢東地区会館の利用者は高齢者が多いため、2階に上がる際に階段が登れない。上下移動の手段を考えてほしい。	奥沢東地区会館は鉄筋コンクリート造で、築30年ほど経過している。この先も数十年間使用していくことを考えると、高齢者や障害のある方、子ども連れの方など、多様性を尊重し誰もが安心して施設を利用できるよう、上下移動のバリアフリー化は必要なものと認識している。今後どう対処していくのか、所管として検討していく。
その他	子どもの予防接種券やワクチン接種券が日本語で書かれており、外国人の妻にとって理解が難しいため、対応してもらいたい。	外国人の方は年々増えている。例えばQRコードを通知に入れて動画で見られるようにする等、多言語対応を進めていかなければならないと思う。わかりにくいと思ったら遠慮せず所管、あるいは区長へのメールで伝えてほしい。
その他	区民向けサービスにおける南北地域格差について、区や関連財団法人の企画担当の方は発想の転換をして、知恵を出してほしい。	奥沢地区については、現在、奥沢区民センターを中心に、年間を通してイベントや各種講座を開催している。引き続き、奥沢地区発展の為、継続して開催し、地域の活性化に取り組んでいく。 また、全区的なイベントやセミナーについては、遠くに行くのを断念することや、地域差が生まれることのないよう、南北地域での二元開催や巡回開催等のご要望があったことを、事業を所管する担当各課へ伝えていく。

○九品仏地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	定年退職した方々を家に引き込もらせず、その力を区に還元してもらいたい。定年退職者も多いため、全員にお知らせをするのは難しいとしても、楽天総務部に手紙を送るなどしてほしい。	副区長を中心に、様々な情報を発信するためのシステム構築などを進めている。
町会・自治会・コミュニティ	障害のある人が地域でスポーツができる場所をもっと増やしていくために、区と一緒に推進していきたい。	一例として 2021 年のオリンピック・パラリンピックを機会として障害者スポーツを根付かせようと、陸上競技場をユニバーサル仕様に改修した。障害のある人が地域でスポーツができる場所の提供をしていきたいと考えているので、積極的にスポーツ推進部やスポーツ振興財団へ連絡をしてほしい。また、まちづくりセンターや総合支所を通して、情報発信をお手伝いしたい。
町会・自治会・コミュニティ	地域の新しいコミュニティが区の中で育っている。身近なまちづくり推進協議会が形式化していると感じているため、近年活発化している民間の市民活動団体と連携して地区を活性化していきたい。	様々な会議体をどのように有機的につなげていくかは私どもの課題だと認識している。今後、総合支所とも相談しながら、どういう形で地域の活動が横につながり展開できるかを皆さんと一緒に検討させていただきたい。
町会・自治会・コミュニティ	65歳以上の方が区の人口のおよそ2割を占めると思うが、そうした方が、身近な場所で持っているスキルを生かせるような手だてを検討してほしい。	社会福祉協議会でボランティア活動の支援を行っているので、利用してほしい。
子ども	耐震工事のための奥沢区民センターの分散移転に伴い、奥沢4丁目に移転している子育て児童ひろばをそのまま残してほしい。奥沢中学校と旧奥沢西保育園に児童館ができ、子育てひろばが移転したとしても遠くて通うことができない。	耐震工事の再開が難題となっているが、工事を行い、再使用できるようにしようと考えている。今後の展開については未定だが、子ども・若者部で調整を行っている。

<p>子ども</p>	<p>奥沢西保育園または奥沢中学校に児童館が建てられる計画とのことであるが、それぞれ九品仏地区の西端と東端に位置しており、九品仏や奥沢に住む児童は利用が難しい。児童館の設置場所について、再検討してほしい。</p>	<p>計画では、基本的な考え方として、学校施設をはじめとする公共施設の改築の機会を捉え、既存施設（区有施設）との複合化を基本とし、積極的な公共施設の有効活用を図りながら、極力早期の整備を目指している。九品仏地区は、区立等々力中央保育園に移転統合した旧区立奥沢西保育園の跡地を、また、奥沢地区は、区立奥沢中学校の改築を契機に中学校敷地を、それぞれの計画地として整備することとしている。また、まちづくりセンター管内に各1箇所の児童館整備を、できる限り子どもたちが通いやすく居心地の良い適度な大きさの施設となるよう目指したが、既存公共施設の立地や建物更新時期などの事情により、上記の計画地を適地と判断させていただいた。</p>
<p>みどり・公園</p>	<p>地区内の公園は地区の外周部に多く、利用しにくい。</p>	<p>公園緑地の配置は、「世田谷区みどりの基本計画」における「公園緑地配置方針図」に基づき検討を行っており、「特に公園緑地が少なく公園緑地を配置する地域」等においては、機会を捉えて土地を取得し、公園緑地として整備を進めている。ご指摘のとおり、奥沢地区は地区の外周部に位置する公園が多く、また、全体的には公園が少ない状況であることから、地区の一部を除き、「世田谷区みどりの基本計画」において「特に公園緑地が少なく公園緑地を配置する地域」に位置付けている。しかし、現在この地域内において、新たに公園として整備できるまとまった土地を取得する機会は見込めない状況となっている。区の公園緑地は全体的に不足していることから、引き続き、公園として整備できる土地の取得の機会を捉えつつ、区全体として一層の公園緑地の整備を推進していく。</p>

交通	東急の再開発について、東横線ではなく大井町線を先に進めてほしい。	目黒区と連携し、プロジェクトチームを立ち上げて進めている。これからもともに都にアピールしていく。
教育	大事な生涯教育の場である図書館は指定管理ではなく、区の直営で管理してほしい。今後策定する第3次図書館ビジョンでも、区の直営で運営することを宣言してほしい。	時間の延長が可能となる等指定管理で運営する方がよいという意見もある。直営と指定管理のよい部分を組み合わせたいと考えている。
教育	私立中学校は公立中学校に比べ、教育レベルが高く、特に英語教育で教育格差のようなものを感じた。公立中学校の教育のレベルを向上させてほしい。	まちの暮らしや仕事について、子どもたちが外に出て学び、地域地区の大学や高校の先生や学生たちと一緒に学んで学びをつくるような、また、公立のフリースクールのような「ほっとスクール」など新たな学びのスタイルを先進的に作る準備をしているので、応援してほしい。
公共施設	奥沢区民センターにあった図書館が移転しているが戻ってくるのか。	戻って来られるように、所管している教育委員会と調整をしている。
公共施設	今年の3月で廃止された玉川浄水場が、配水池になる計画があると聞いた。都と連携した今後の計画はあるか。	玉川浄水場の跡地活用については地元区長として、強い関心をもって都の動きを注視している。
公共施設	奥沢駅前の周辺に駐車場や長期間活用されていない空地等を、周辺の町会・商店街と協力して、広い会議場・図書館等として利用できるよう検討いただきたい。(奥沢センタービルの改築の目途が難しい中でのセカンドオピニオンとして)	当該現場を確認したが、奥沢区民センターと奥沢図書館が入居する奥沢センタービル・三敬ビルは耐震基準を満たしておらず、ご心配をおかけして申し訳ない。区分所有者として関係者とともに耐震を図った後に区民センターや図書館などを元のビルに戻し、区民の皆様が施設を安全に利用できることを第一に努めていく。なお、区民センターは暫定的に2か所に仮移転しているが、以前と同程度の面積を確保できるよう、奥沢駅北側に新築予定の民間建物の一部を賃借し再度の仮移転をすることで現在建物の貸主と調整中である。奥沢図書館は、ビルの耐震化改修工事準備のため令和5年4月から仮事務所に移転し一部業務を行っている。耐震工事の進捗状況など今後の条件が整い次第、図書館の再開を検

		討していくので、ご理解いただきたい。
その他	歩くことは高齢者にとっての事前予防だけでなく、地域のネットワークづくりや、若者の地域への参加、高齢者へのデジタル支援に繋がると思うので、区でも歩きたくなるような施策を推進してほしい。	今年3地区のまちづくりセンターで高齢者の方を対象として、歩くことを推奨しポイントをため、せたがや Pay に交換できる社会実験を予定している。実験がうまくいけば、福祉の方面にも活用して広げていきたい。
その他	区のおしらせで、例えば、ローリングストックや、トワイライト受付、ネウボラ・チームなど、日本語でも表現できる言葉を違う言語で表現しており、分かりにくいので改善してほしい。モニター制度をつくり、発行する前に区役所外の人に見てもらうのはどうか。	様々な経緯で日本語でない表記にしている場合もあるが、多すぎるという指摘を受け、これから注意するよう広報広聴課に意見が出たことを伝えていきたい。
その他	最近のシステムはスマートフォンが基準になっているが、パソコンでも対応できるようにしてほしい。	区のホームページはパソコン版とスマートフォン版の両方に対応しているが、これからもスマートフォンだけで一律にしないようにしていきたい。
その他	せたがや Pay がスマートフォンでしかポイントがつかない。平等にしてほしい。	スマートフォンを使わない方がいることを意識していきたい。
その他	区民が休憩できる多目的部屋を作してほしい。	お休み処、涼風マップをつくって、夏季に立ち寄れるところを、区の施設などでも用意しているので活用してほしい。
その他	「特別定額給付金」の誤給付について、1名から回収できていないとのことだが、回収されたのか。	現在も回収できておらず、催告を続けている。本件は、いわゆる税金の徴収のような強制力ある対応ができない部分があり、引き続き粘り強く、返還を求めていく。
その他	世田谷区は人口も多く、住民税もそれなりにあると思うが、日本の財政はこれからどんどん厳しくなっていくので、将来の財源を考えることが必要だと思う。	区にふるさと納税をしてもらえるような取組みを進めていきたい。
その他	九品仏小学校のマンホールトイレが体育館からかなり離れた場所にあり使いづらい。もう1か所別の場所につくってほしい。	総合支所で確認して、増やせるかどうか検討する。

<p>その他</p>	<p>スポーツを通して、障害のあるなしに関わらず、誰もが交流できる場所を、元々ある会議室や体育館などを通して提供するために活動を行っている。</p> <p>地域でスポーツを通じて関係を構築することで、災害時にも助け合うことができると思う。</p> <p>このような活動を区と連携、または補助金の助成をいただくことは可能か。現在そのような制度がない場合、今後の可能性について、教えてほしい。</p>	<p>区では、令和6年度からのスポーツ推進計画の策定に向け、検討を進めている。スポーツを様々な課題に対する解決の手段として捉えており、目標の一つとして、「スポーツを通じてコミュニティを形成し、共生社会の実現を目指す」こととしている。</p> <p>貴団体の取組みはスポーツを通じたコミュニティ形成に寄与していると思うが、スポーツ施策における区の補助制度は現時点ではない。世田谷トラストまちづくりが募集する「まちづくりファンド」は、市民活動団体等が地域の課題解決等のため事業を実施する際に補助金を交付する制度で、例年、2月頃に翌年度の申請に関する事前相談が行われるため、参考としていただければと思う。</p>
<p>その他</p>	<p>既に空地・空家になり長らく放置された物件が散見されている。老人や若い母子の交流スペース等近隣にあまり負担の掛からないスペースとして利用できないか、区の考え方、補助プラン、事例を助言いただきたい。</p>	<p>区では、区内にある空き家等（空き家、空室、空き部屋）を地域資源と捉え、地域貢献活用に関するご相談を受け付ける窓口として、「空き家等地域貢献活用相談窓口」を設けている。</p> <p>相談窓口では、空き家を地域に役立てたいと考えるオーナーと、空き家等で活動したい団体（NPO法人等）との出会いをサポートしている。運営は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりへ委託し、これまでに、高齢者・子育て・障害児の支援拠点、地域の寄合所などのマッチングが実現している。相談窓口での主な支援として、活用団体とのマッチング、空き家等の改修費用の一部助成（最大300万円／1件）、専門家の無料派遣（最大6回／1件）、事業計画立案のための勉強会や事例報告会（空き家等活用ゼミナール）等の事例がある。一定の条件があるため、詳しくはお問い合わせいただきたい。</p>

○等々力地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	昨年の区のスマートフォン教室にボランティアで参加した。世代を超えた交流を行えたことは貴重な経験になった。今後このような機会をもっと増やしてほしいし、自分も参加したいと考えている。	ご協力に感謝する。世田谷区は大学生が多く、遠方から下宿している学生も含めた多世代間の交流の機会を増やしていきたい。
DX	区長へのメールでデジタル化に関して意見を出し、「あらゆる世代が安心して住み続けられる世田谷をともにつくるために、デジタル技術を活用して、区政を再構築し続けていきます」との回答だったが全く分からない。デジタル化をしっかりとやってほしい。	参加と協働ということで、共に知恵を出し合い新しいものを作っていこうという趣旨である。どういう形で意見を生かしていくかを考えていきたい。
DX	区のデジタル化を進めて欲しい。	DX推進方針のもと、行政と市民、公共機関、さらに民間事業者との参加と協働による、デジタル技術を活用したネットワークづくりに取り組んでいく。
防災	2019年の台風19号で、尾山台と玉堤地域は大きな被害を受けたが、最近になってようやく補修工事が完了した。工事完了まで4年かかるのは、行政の動きが鈍いのではないか。	国に台風で大量に流れてきた土砂の除去を要請し、1年ほどで完了している。また、堤防の整備について、川崎市、大田区と連携し、国土交通省京浜河川事務所が前倒しで進めている。
防災	尾山台3丁目で2018年の集中豪雨災害の工事が進み、今年の3月までに工事するという告知がでたが、商店街の一部が残ったままである。どうなっているのか。	工事の事業者が決定次第、日時等が周知されるので、お待ちいただきたい。
防災	谷沢川に排水ポンプを設置してほしい。	谷沢川は都が管理する河川であるため氾濫の対策は都が行い、また、玉川排水樋管は国の設備になるので、排水ポンプの整備の際には、国と都が協力して行うものと考えている。現在、国・都から排水機場の整備の打診はないが、排水ポンプは水門付近の浸水被害軽減の対策として有効であるため、今後も引き続き国や都に整備を要望していく。

防災	都が、震災発生時の火災危険度を町丁目ごとに示しているが、さらに詳細を示して欲しい。	都は「地震に関する地域危険度測定調査」を実施し、火災危険度について、町丁目ごとに地震による面積当たりの建物全焼棟数「火災危険量(棟/ha)」を算出し、その数値を5段階のランク別の相対評価により示している。区では、都のホームページを案内し、地域危険度の周知に努めているが、詳細な情報については都に問い合わせたい。
安心・安全	公園に監視カメラを設置し、親が子どもの状況や公園の状況をスマートフォンで見られるなど、セキュリティを充実してほしい。	電柱や公園に防犯カメラはあるが、カメラの設置には様々な意見があるので、ご意見は子ども・若者部と共有していきたい。また、区では自動販売機のメーカーと連携して監視カメラを設置している例もある。
環境・清掃・リサイクル	太陽光パネルを学校に設置してほしい。	学校の改築や改修の機会に設置を進めていく。
子ども	玉堤 2-3 の児童公園が閉鎖になり、子どもだけで遊ぶ場所が近隣にない。子どもだけで遊べる児童公園を考えてほしい。	区では、そとあそびプロジェクトということで子どもたちの遊び環境、体を動かして友達と遊ぶということはとても大切で、推奨している。遊び場づくりについてご提案があればまちづくりセンターも含めてご相談してほしい。
子ども	玉川総合支所はおむつを替えられるスペースはあるが、子どもを遊ばせるスペースがないので、一室設けてほしい。	玉川総合支所1階に、小さいが来庁者用の子どもが遊べる場がある。建物の外にはポケットパークというスペースがあるので遊んでいただけたらと思う。それ以外大きくするのは難しいが検討していきたい。
子ども	赤ちゃんの一時保育の預け先が少ない。2時間、3時間でも良いので一時でも預け先があるとありがたい。	一時預り事業については保護者の通院や出産等のほか、子育て不安や育児疲れ等により必要とされる場合において、定員は設けているが既存の区立保育園、私立保育園で実施している。
子ども	児童館の現状に非常に満足しているのでこのまま残し続けてほしい。	区内に児童館は25館ある。まちづくりセンターは28地区あるが、1地区に2館ある地区もあれば、地区内に児童館がない地区もある。区で

		は大きな方針として1地区1児童館を作っていくことを決めている。
子ども	多胎児の母親が児童館に行くことのハードルが高い。子どもと自分の支度をするのが大変で、家の中に閉じこもってしまう方が多い。ツインズプラスサポートやタクシーの助成もあるが、家庭によっては兄弟を連れてくることもハードルが高く大変。今後施策を検討する際は、多胎児の支援に加え、その兄弟がいることも考慮してほしい。	区としても多胎児の親への支援を強めていきたい。どのような支援が必要か、ご提案をいただきながら検討していきたい。
子ども	等々力1～2丁目、尾山台2～3丁目エリアにオムツ替えのできる赤ちゃん連れの遊び場を設けてほしい。	指定のエリアから少し離れるが、等々力児童館があり、乳児連れで利用いただける。また、オムツ替え台や授乳スペースを備えた「おでかけひろば」を令和8年度までに12か所増やしていく計画だが、既存のおでかけひろばの設置状況や実施主体の希望、物件等を勘案し、開設場所を検討していく。
子ども	産後の5万円分の家電プレゼントの商品群の見直しをしてほしい。区のLINEや庁舎でアンケートBOXを設けてみてはどうか。	令和4年度実施の「家事支援用品購入支援事業」についてはコロナ禍において、時限的に実施した事業のため、令和5年度以降の実施の予定はない。ご意見については今後の施策の参考とさせていただく。
子ども	満3歳児保育を幼稚園でとり入れてほしい。	区立幼稚園では4・5歳児を対象とした2年保育を実施しており、満3歳児保育(4年保育)の実施予定はないが、区立幼稚園の集約化に合わせて3年保育導入の検討を進めている。私立幼稚園では満3歳児学級の設置は各園で判断している。いただいたご意見については各園にも伝える。
子ども	車座集会で実施しているひととき保育を区として拡充し、児童館や玉川総合支所でサービスを提供してほしい。	ひととき保育は、子育て中の方が、区等が主催する学習会や地域活動等に参加しやすいように、その学習や活動中に一時的にお子様を預かる事業である。常時、一時預りを実施している「ほっとステイ」は、今後拡充の計

		画はないが、現在区内に24か所あるので利用してほしい。
みどり・公園	猫じゃらし公園は、区内では珍しくはらっぱのある公園である。遊具で遊ぶよりも、自然と触れ合う方が小さい子どもには重要だと思っており、玉川野毛町公園についてもこのような方向で進めて欲しい。	玉川野毛町公園の拡張では、用地をあまりいじらずに地形や木や草を利用しながら造ろうとしている。猫じゃらし公園は、住民の方の声をきいて実現した公園で、参加と協働の良い例だと思うが、そういった形の公園づくりに力を入れていきたい。
みどり・公園	玉堤2-3の児童公園が廃止され、子どもの遊び場が近くにない。	玉堤2-3遊び場は、区が土地を借り受けて開園したが、やむを得ない事情により土地を返還することとなり、閉園となった。地域に日常的に気軽に利用できる公園、広場等が少ないことは認識しており、地価の高騰が続く中、公園用地の確保は容易ではないが、土地の買取りや未利用地の使用貸借など、多様な方法により公園、広場等の確保に最善を尽くしたい。
道路・街づくり	この地域は、戸建てがゆったりと建てられた環境だが、最近は土地が分筆されることが多いと思う。今後、戸建てやアパートのバランスをどのように取るつもりか。	相続により1軒の家が3軒に分かれ、緑のない2・3階建ての家が並んでいく。区として規制も加えているが、集合住宅にして緑を残していけないかと思っている。また、オーナーにファミリー型の賃貸住宅を作ってもらえるよう誘導していきたい。
道路・街づくり	等々力大橋の建設状況を知りたい。等々力6丁目公園前の通りが一方通行のため、双方向通行にしてほしい。	等々力大橋は都と川崎市が事業主体で、2025年完成を目指している。工事の状況がわかり次第お知らせしていきたい。
道路・街づくり	多摩川沿いの地域において、個人住宅が隣地ぎりぎりに建てられることにより、まちの趣が変化している。景観だけでなく、防災やコミュニティの繋がりの面、緑化の面からもこの様な建物が増えていることに憂いを抱いている。個人住宅の屋上に植栽しても地域住民が目にすることはなく、意味のある緑化をしてほしい。	土地の細分化については、用途地域や建蔽率、容積率など都市計画に関わる決まりがあり、また、緑化のあり方については、環境に適したみどりの質や機能をより効果的に発揮し、多様なみどりを活かす街づくりを目指していく。ご意見については、玉川地域の今後のまちづくりの参考にさせていただく。

交通	大井町線の自由が丘と二子玉川間を高架化あるいは地下化してほしい。この間を遊歩道にして、目黒区と協力して良い街にしてほしい。	大井町線の連続立体交差化の必要はあると思う。自由が丘の再開発の件で目黒区からも話は来ているが、これを決定するためには現在道がないところに都市計画道路を2本通さないといけない。踏切事故をなくすため、交通渋滞の解消のためにも、鉄道会社とも今後協議していきたい。
交通	学生数が増えており、通学時に道路に広がって車が通りにくい。都が電柱の地中化を進めているが、いつ頃地中化されるのか。通学路になっている場所を優先して進めてほしい。	大学長懇話会を開いているため、交通に支障をきたすようであれば警備の方を出していただくなど支所を中心に検討を行いたい。また、大井町線沿線の地域の皆さんと、東急電鉄との連絡会の中で議論していきたい。
交通	尾山台駅の商店街は狭く、裏の道も学生で溢れている。駅の改札口を九品仏側にも作ってほしい。	
交通	学生の道路や商店街の通行について様々な意見があるが、学生も地域になじんでいっており、地域に住んで生活するという意味では、お互いに折り合いながらやっていくことも大切だと思う。	区内では、明治大学の学生数が多いが、甲州街道を渡る歩道橋が狭く、学生でいっぱいになるという問題があった。そこで国土交通省と協議し、幅を広げる工事をしてもらった。このように地域や大学の声を受けて国に掛け合うということもある。
交通	尾山台商店街は学生や商店への納品等の車両で一日中混雑している。神楽坂の商店（道路等）は逆転式一方通行を採用している所が多いため、玉川警察署との協議を含めて検討してほしい。	商店街で、路上駐車取締りや交通整理を玉川警察署に依頼していると伺っている。逆転式一方通行は、全国的にも稀有な事例であるため、商店街の意向が重要な要素になる。商店街に一方通行にする意向はないようだが、今回のご意見は商店街にも共有する。
教育	区立三島幼稚園をなくさないでほしい。地域に1つ区立幼稚園を残す計画とのことだが、玉川は広いためカバーできない。要配慮児の受け入れ先としても重要。入園を希望する子が遠方だからとあきらめるような状況は作らないようお願いしたい。	幼児教育無償化後、区立幼稚園の定員が半分になっているという状況の中で、集約化の計画を立てている。配慮が必要な子をどのようにカバーできるかを検討している。三島幼稚園の良い部分を残してほしいという気持ちを受け止め、一緒に考えて解決していきたい。

教育	三島幼稚園の廃止は困るという意見があるのなら、残せばよいのではないか。	原則として各地域で1園に集約するという方針は決めたが、それぞれの園が抱えている課題や保護者からの声についてはきちんと話し合い、よりよい形にしていきたい。
教育	玉川小学校の生徒がプールの授業の際に中町小学校まで歩いている。騒音が理由でやらなくなったと聞いたが、室内プールにすればよい。	改築の際に屋上にプールを造っているが、暑すぎて使えない日が続出しており、改築にあたって1校に1つずつプールを設置するのか、学び舎単位で1つ温水プールを作るのかなど教育委員会とも検討する。
教育	不登校の問題について、保護者への支援、学校現場の改善をお願いしたい。	先日の教育総合会議では、どうしたら行きたくなるような学校に変えていけるかを議論した。また、区として慢性的に先生が足りず、経験の浅い先生も多く悩まれており、学校を支える教育総合センターの取組みも必要と議論している。相談窓口についても改善していきたいが、不登校で悩んでいる親同士の交流の場もあるので利用してほしい。
教育	速やかに校門をオートロック化してほしい。	校門のオートロック化は、校門改修や電気配線等の工事が伴うことから、個々の状況を確認しながら、学校の改築や大規模改修などの機会をとらえ順次進めていく。
教育	尾山台小学校の校庭の砂が、風が吹くと舞い上がり外へ飛ぶ。校庭に面した住居では、2階の窓をしめ切ってもザラザラする。道路上にも砂が落ち、雨が降った後など道路脇に砂がたまるため、対策してほしい。	尾山台小学校の校庭は、区内で一般的に使用しているグリーンダスト舗装だが、近隣住宅との距離が近いので、風により舞い上がった舗装材が周辺の住宅に影響を及ぼしやすい。ご意見を踏まえ、当校敷地南側に面する道路に沿って、防塵対策を施していく。
教育	尾山台中学校の生徒から「冷たい給食をなんとかしてほしい」という声強い。配膳室を拡張して「自校方式」に切り替えてほしい。	給食室の整備については、学校の改築や大規模改修の機会を捉えて行っており、尾山台中学校についても、機会を捉えて自校調理化の計画を検討していく。

教育	<p>難病の子に対する学業面でのフォローをしてほしい。また、教員の人員確保や配置等教育環境づくりをしてほしい。</p>	<p>区では、全ての小中学校に対し、学習に困難さを抱えるお子さんを対象に、非常勤の教員を配置し、特別支援教育の一環として、個別の学習支援を行っている。また、医療的ケアが必要なお子さんに対しても必要に応じて看護師の配置を行い、安全に学校生活を送れるよう支援している。さらに、見守りや声かけの支援が必要なお子さんに対しては、学校生活サポーターを活用しながら、学校生活を支えていく体制を整えている。都では、病弱により医療又は生活規制を必要とするお子さんを対象に学校を設置している。病弱により、学習面の遅れが生じ、心理的に不安定な状態である等のお子さんに、少人数で一人ひとりの状況に応じた教育を行うことを目的としている。ご検討の際は、就学相談の中でご相談に応じている。</p>
教育	<p>難病にかかる装具や医療物品の助成費用を増やしてほしい。</p>	<p>重度障害者（児）に対して、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付し、日常生活が容易なものとなるよう「世田谷区重度障害者（児）日常生活用具給付事業」を実施している。ストマ装具の助成基準額については、令和5年10月より拡充予定である。さらなる拡充は、財源等の課題もあり慎重な検討が必要だが、機会を捉えて国や都に意見をあげ、さまざまな支援策を勘案しながら、区民の福祉の向上に取り組んでいく。</p>
教育	<p>玉堤小学校のトイレが古い。冷房やユニバーサルベッドを設置する等、利用しやすくしてほしい。</p>	<p>トイレの設置については、学校の改築や改修の時期に合わせてユニバーサルデザインやプライバシー等を考慮し、可能な限り使用しやすいものに整備する。</p>
公共施設	<p>色々な施設にエレベーターが無い。車いすの方が利用できないため、簡易エレベーターのようなものを各施設に設置してほしい。</p>	<p>ユニバーサルデザイン推進条例があるので、いつでも誰もが地域に参加できるように、順次バリアフリー化を進めていきたい。</p>

<p>その他</p>	<p>ふるさと納税について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門チームを立ち上げているのか 2. 期限を決めてその成果を発表しているのか 3. できること、できないことを話し合っ共有しているか 4. 事の重要性を認識しているか 	<p>区では、経営改革・官民連携担当課にふるさと納税対策担当を設置し、寄附文化の醸成とふるさと納税対策を推進している。また、区のおしらせ特集号や区ホームページに、寄附の実績を掲載するなどし、区民に報告している。区では、これまで、区の実績に共感・応援いただくことを基本にふるさと納税を募るとともに、区の施策への理解促進や世田谷の魅力発信につながるよう、障害者施設の自主生産品や世田谷みやげ等をお礼の品としてきた。しかし、区の税源流出額は拡大しており、他自治体に在住の方からの寄附につなげるため、区の魅力を伝え、来街を促すようなお礼の品の充実にも取り組んでいる。また、制度の抜本的な見直しについても、引き続き、23区一丸となって国に求めていく。</p>
------------	---	--

○上野毛地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	車座集会に参加して、住人として共感できる意見が多く、地域の問題について考える機会があまりなかったため勉強になった。地域の方との触れ合いが大切だと気づいたので、積極的に野毛青少年交流センターを利用して交流していきたい。	野毛青少年交流センターを利用する子たちでスマホサロンをするといった、地域と交流する企画などもぜひ考えてみてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	地域参加に対しては無関心な学生が大半だと感じる。外から通う自分たちには地域に入り込む余地がないのではという不安もあるが、地区内唯一の美術大学として、ものづくりを通して地域に参加し関係を作っていく機会を作してほしい。	地域とつながるきっかけという点では、まちづくりセンターに相談してほしい。難しい部分は総合支所も手伝う。災害の時などは町会を支える高齢の方は助けてもらう側となるため、若い力が必要。訓練に意識的に参加してほしい。
町会・自治会・コミュニティ	多摩美術大学の卒業制作においては4年生1人当たり5万円ほど費用がかかるなど負担が大きい。地元町会や企業にスポンサーになってほしい。	若者がきちんと役割を担う地域社会は伸びていく。お互いの関係が構築されれば、寄付をお願いする関係にもなっていくのではないかと。
町会・自治会・コミュニティ	若手の芸術家への支援制度があれば教えてほしい。	コロナ禍においてYouTubeを活用したアーティスト支援事業を2年ほど続けた。世田谷区民会館ホールが来年開館するので、若い世代のパフォーマンスや表現を重視していきたい。
DX	区が発行するマップは素晴らしいものが多く、情報をマップデータ化（緯度・経度に変換）し、Googleマップなどで見られるようにすると区民は便利に使える。公開されているマップのPDFにURLを埋め込むことであれば、コストも最小限でさらに有効活用できる。まずは名木百選でサンプルを作らせてもらえないか。	みどり政策課で発行している各種マップをデジタル化することは、マップ利用者の利便性を高め、みどり・生物多様性保全の普及啓発に効果が期待できると考えている。名木百選のように民有地にある樹木の位置情報を公開することは個人情報保護の観点から慎重に検討すべき課題と認識している。そのため現段階で、名木百選のマップデータ化を委託する予定はない。今後、当課で発行しているマップのどの情報をデータ化できるかなど、課題を整理し、庁内で事業の方向性を検討していく。

防災	令和元年台風第 19 号の時に野毛区民集会所に避難をしたが、浸水区域であるという理由で開けてくれず、徒歩 30 分以上かかる尾山台小学校を案内された。また、投票所は野毛青少年交流センターから土砂災害警戒区域であるという理由で野毛区民集会所の下のデイ・ホームたまがわに変更されたが、水害の際に投票ができるのか不安。拡張予定の玉川野毛町公園に野毛区民集会所を移設してほしい。	台風 19 号は区の水害対応に大きな課題を突きつけたと認識している。公園全体のバランスを考え、現在の計画では集会所を移設することは考えていない。投票所については、いただいた意見を選挙管理委員会と共有していきたい。
防災	旧玉川高校周辺から丸子川と国分寺崖線の急坂を越えて避難することはできない。特に上野毛通りの、神社と上野毛自然公園の間は崩落の危険もあり歩道も狭いため、避難経路として使用できない。避難場所と避難経路を見直してほしい。	巡回バス、移送サービス等と契約をして、高齢者や障害者の方に早めに車両で移動していただくための準備をしている。また、高島屋やニトリ等と協定を結び、立体駐車場や店舗に車ごと避難できるよう準備している。避難所の場所に関しては、防災塾を通し地域の皆様に議論していただきたい。
防災	地下を雨水の貯水設備に、建物を防災センターとして活用するため、旧玉川高校を都から取得し活用してほしい。	防災センターとして旧玉川高校の場所を利用できるかについては、新しい施設を造る際に検討したい。貯水池については、多摩川水系にはあまりないため、京浜河川事務所と意見交換をしている。
防災	80 名の町会役員のほとんどが 70 歳以上で、動ける役員は半分と高齢化が進んでおり、避難所開設の際に動きがとれないことが危惧される。	他地区の車座集会では、若い人たちが地区のことを手伝いたい从何から始めたらいいかという質問があり、その後、町会長さんとコミュニケーションをとっていた事例があった。そうした所からも町会と若者が繋がっていけないのではないか。
防災	避難所運営に関して危機管理部がどんどん仕事をおろしてくるが、こうした町会の現状を把握しているのか。区職員がまず地元町会に加入し、町会の現状をよく把握したうえで一緒に相談しながら進めていきたい。	地域の皆さんが実際どういう活動をされているかを整理できないままに地域の方をお願いしているという実態があると認識している。来年度からスタートする地域行政計画では、危機管理部と調整しながら、総合支所とも連携し、よりよいものができるようにしていきたい。

環境・清掃・リサイクル	区内の道端にごみが捨てられていることが多い気がする。道端にごみ箱を増やしてほしい。	ごみ箱を置くとたちまち一杯になってしまう。区ではごみの持ち帰りの啓発活動や、地域内ではポイ捨ての注意喚起や回収活動を行っている。
環境・清掃・リサイクル	生ごみ処理機の補助金が終了しているが、他の自治体ではいまだ出している所も多い。その時に必要な補助金を各自が使えるようにしてほしい。	ご意見があったことを清掃・リサイクル部に伝えたい。
子ども	空き家の庭を整備して、保育園児が遊べるような場所を増やしてほしい。	所有権の問題があり、区が勝手に開放することはできないが、区内では、一軒分をポケットパークにする取組みを行っているところもあるので、工夫を続けていきたい。
みどり・公園	等々力溪谷のボランティアが活躍できるような環境を作ってほしい。日頃から、保存管理計画に基づいた区民による保護活動が盛んに行われ、来た人が自然環境を楽しく学ぶことのできる場づくりをしてほしい。また、ゴルフ橋から上流側の歩道を延長することはできないか。日本庭園書院の展示にも、QRコードを設置し、YouTubeで説明動画を流したいので、事業としてやらせてほしい。	等々力溪谷公園の植生保全に加えて斜面保護の視点からも計画的な保全管理に努める必要があると考えている。現在、定期的に現地ガイドを行っている文化財ボランティア、生物調査や外来植物の除去作業等の活動を実施している方々、地元町会や地域団体、専門家をはじめ、溪谷公園に関わる皆さまと協力しながら、溪谷の計画的な保全に向けた取組みを検討していく。また、ゴルフ橋から上流側については、下流側とは異なり溪谷公園としての位置づけがなく、都が管理する河川となっており、現在、歩道等を整備する予定はない旨伺っている。そして、溪谷公園についてのYouTube配信については、区の公式YouTubeで等々力溪谷公園の紹介動画を公開しているが、いただいたお話しを参考に更なる効果的な情報発信に努めていく。

道路・街づくり	自転車通勤で道路通行を心掛けて いるが、自転車専用道路があまり繋 がっていない。安全面から早急に整 備してほしい。	区の権限で行えない場所も多い。道 路の絶対的な狭さがあるので、拡大 が必須である。長期的な課題として 受け止めたい。
道路・街づくり	環八では道路でなく狭い歩道を結 構な速度で通行する自転車が多く、 高齢の母が散歩に出られない。広い 歩道を整備してほしい。	
教育	学校の全改修の改築を引き続き検 討してほしい。老朽化や継ぎはぎ修 繕の弊害で、玉川小学校では学年内 でクラスが別のフロアにあり、学 年主任の目が行き届かないこと によるいじめといった課題もある。	2校ずつの改築を3校にしようと改 築ペースを速めていこうとしてい る。なるべく仮設の校舎を作らない で使えるところは利用していくこと も考えていきたい。お声は教育委員 会へも話していきたい。
教育	子ども110番の制度の趣旨には賛 同するが、協力依頼に各戸を回る登 録の作業が玉川小学校の保護者に とって負担。当該オペレーション作 業やスクリーニングの作業を区で も行ってほしい。	保護者の負担になっているとのこと なので、やり方をすぐに変えていく ことは難しいが、教育委員会に繋が ていきたい。
教育	区内の国立大学付属中学校の2年 生の教室のエアコンが壊れており、 修繕がされていない。区のお金はこ こまで回っているのか。	国立学校のため、壊れたエアコンを 区が修理するのは難しい。
教育	学校で1人1台タブレットが配布 されているが、健康上のデメリット などを区で調査する予定はあるか。	区内小中学生3万人を対象にしたイ ンターネットの使用状況に関する調 査において、中学生の9割がスマー トフォンを持っており、中学生にな ると勉強時間が激減し、SNSやイ ンターネットを見る時間が多いこと がわかった。この影響について話し 合い、情報リテラシーを高める取組 みを教育委員会が始めている。調査 結果は教育委員会ホームページを参 照してほしい。
公共施設	旧玉川高校跡地を区で取得し、活用 してほしい。都との交渉、進捗状況 と見通しを具体的に教えてほしい。	旧都立玉川高等学校跡地について は、区内にある大規模未利用地の一 つとして、その規模、立地から有用な 公有地であると考えている。 現在、二子玉川分庁舎として借用し ているが、本庁舎建替え工事に遅れ が生じており、まずは、分庁舎として

		<p>の利用を延長することについて都と調整が必要である。</p> <p>今後は、当該地の立地条件や周辺環境、また、二子玉川駅周辺を広域生活・文化拠点に位置付けていることも踏まえ、活用の有無や具体的な活用案について、公共的な利用の観点から考えをまとめた上で、時機を逸することなく、都に働きかけていく。</p>
公共施設	<p>旧国交省跡地を区で取得した際の区負担金額と国補助金額・都区財政調整からの金額を具体的に教えてほしい。</p>	<p>旧国土交通省等々力宿舎跡地については玉川野毛町公園拡張用地として、平成28年度から平成30年度の3か年で国から世田谷区土地開発公社（※1）が土地を先行取得し、令和元年度から令和3年度の3か年に国からの補助金等を充当しながら、同公社から世田谷区が取得した。本用地取得に係る事業費等については、以下のとおりであるが、特別区財政調整交付金は、区全体の基準財政需要額と基準財政収入額の差額により交付されるため、本事業においては用地取得費から国補助金及び特別区都市計画交付金を除いた額が基準財政需要額の算定対象となる。</p> <p>【歳出】用地取得費＝約72億6千万円</p> <p>【歳入】国補助金＝約22億1千万円、特別区都市計画交付金＝約15億2千万円、特別区債＝約29億9千万円、一般財源＝約5億4千万円</p> <p>※1 「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づいて、世田谷区によって設立された特別法人。</p>
公共施設	<p>上用賀1丁目の防衛省施設移転後を見通し、今から区で取得するため、いつ国から問い合わせがくるかなどを具体的に教えてほしい。</p>	<p>先日、国立医薬品食品衛生研究所跡地に隣接する「海上自衛隊東京音楽隊」の令和6年度移転及び令和11年度以降の「陸上自衛隊関東補給処用賀支処」移転が公表されたが、今後の詳細なスケジュールは示されていない。現在、国立医薬品食品衛生研究</p>

		所を含めて、国の活用方針は示されていないが、将来的には一体的な大規模用地になることが見込まれる。今後も引き続き国の動向を情報収集するとともに、周辺環境等を踏まえつつ取得の要否も含め、その活用について検討していく。
その他	高齢者向けのスマートフォン講座を受けたいが、実施回数や定員が少なく予約がすぐいっぱいになってしまい受けられない。行政主導で高齢者向け講座の開催日数を増やしてほしい。	予算や委託業者のスケジュールの問題はあるが、講座を増やしていくことについて関係部署と掛け合っていきたい。あんしんすこやかセンター以外に、まちづくりセンターでも今年度実施するなど身近な所で実施していきたい。まちづくりセンターなどの場所で中高生などに教えてもらうのもいい。野毛青少年交流センターもあるので、今後同センター長から「こういう声が出た」ということを子どもたちに伝えてほしい。
その他	ふるさと納税の返戻品について、区に本社がある企業の商品を使えないか。また区の美術館などの施設を自由にできるようにする権利、リコーブラックラムズの試合観戦の優待等を検討してはどうか。	ご提案は参考にしていきたい。現在、美術館のチケットはすでに出しており、区在住の画家の作品等を使えないか検討している。リコーブラックラムズにもグッズを提供していただくなど少しずつ努力を積み上げている。しかし、ふるさと納税は制度の問題が大きく、引き続き国に訴えていく。
その他	区内にある区民が使えるホールをもっと活用してほしい。	改めて点検したい。上用賀アートホールもリニューアル予定なので活発に使っていきたいと思っている。玉川せせらぎホールももっと使ってもらえるように総合支所で積極的にアピールしてほしい。

○用賀地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	地域の若者で、まちに参加したいがどうすればよいか分からないという人が多い。地域への参加の仕方を増やせないか。区と住民が一緒になって企画をしたりして関わられるポイントがあるといいと思う。	地域の人たちと若い世代が融合して企画等、進めていただきたいと思っている。また、どのような取り組みをしたら各コミュニティの活動が活発になるかを考えていく中で、中間支援組織のようなものを区で作れないか考えている。できれば地域限定SNS等を使って細かな情報のやり取りをインタラクティブに顔を合わせながら取り組むことができるとよいと思う。
町会・自治会・コミュニティ	若者の意見と町会をどのように結びつけていくか。任意加入である町会と住民が繋がりを持つ場がない。	地域ゼミができて、町会を研究する学生もいるなど、大学も変わってきている。大学や高校への呼びかけ、きっかけづくりの場所として活動フロアを活用してほしい。
防災	中学校での避難所運営訓練の際、無線機が職員室内にあるため通信訓練を一度も行ったことがない。まちづくりセンターとの通信訓練ができるようにしてほしい。	放送機器の使用も想定されるので、危機管理部や教育委員会と協議しながら、どのようなことができるかを考えていきたい。
防災	避難所運営訓練を区がバックアップして、教育委員会や学校、中学校の生徒も一緒に参加する仕組みを検討してほしい。	災害時には、町会の方だけで全部を担うことは難しく、中学生や高校生、企業を含む皆さんで行う以外にないと思われる。たくさんの方が動く仕組みができるとよいと思う。
防災	玉川総合支所や二子玉川まちづくりセンターは多摩川の浸水地域に入っている。浸水した場合には役に立つのかどうか問題だが、そのことを考慮して造ったのか。	玉川総合支所は、ハザードマップ上は浸水想定地域から外れているが、二子玉川まちづくりセンターは低い場所にある。二子玉川分庁舎は一定の水準を超えると孤立するため、その場合は本部を玉川総合支所に置く計画としている。水害特別訓練を行い、様々な課題が出てきたので、今後も体制を強化していく。
防災	防災無線が最近使われていないのではないかと。緊急時の広報はどういう手段で行うのか。	防災無線は現在も使用しているが、聞こえないという苦情はある。聞こえなかった際は、内容を確認できる電話番号がある。また、災害時の広報に関しては、エフエム世田谷のほか、

		インターネットやツイッター（現X）等でも行っている。
子ども	こども基本法が今年の4月に制定されたことを踏まえ、政策実現に向けて積極的に若者の意見を取り入れてほしい。また、大学生や20代の若者が車座集会のような場に来てくれるような工夫をしてほしい。	区では、基本計画において、子どもの声を取り入れていこうと考えており、子ども・若者・大人で一緒に取り組んでいきたい。車座集会は4年に1回の開催のため、活動フロアを使い、まちづくりセンターがいろいろな声を受け止めて、若者が参加する場を作っていきたい。
みどり・公園	上用賀公園拡張工事に関して、4月に担当者が変わった際、引継ぎがされていなかった。しっかりと引継ぎをしてほしい。	災害時は防災拠点として、平時はスポーツ公園として使用する整備を進めている。しっかりと引き継いで整備を進めるよう伝えておく。
道路・街づくり	上用賀4・6丁目で、上用賀公園拡張工事をはじめ工事が多く行われているが、何が建設され、どの段階なのか住民から不安の声を受けることがある。町会だけでなく、近隣住民の方に丁寧な説明をしてほしい。	それぞれの工事で周辺の住民にご案内はしていると思うが、その範囲が限定的で、もう少し広く見ると影響を受ける方が多いと思われる。何ができるか考えていきたい。
交通	エイトライナーの現状と将来の展望を教えてほしい。	事業の継続性や採算性の課題、各区の共同運営による財政負担などから、モノレールやバスでの運用の検討や、環状七号線と環状八号線を結ぶ路上の交通網も協議された。コロナ禍で5年ぶりにエイトライナー促進協議会が開催されたが、各首長も替わり、一番実現可能な選択肢を絞り込んでいく段階である。路上を走るものなら5年後くらいにはできると思うが、地下鉄やモノレールの場合、順調にいったとしても20年ほどかかると思う。
交通	自転車のルール違反や電動キックボードの導入について、交通安全教室を設置してほしい。砵公園内に以前造られた自転車普及のための施設が放置されているので、これを活用してはどうか。	交通安全に関して警視庁や都とも話していく。砵公園の活用については、都と自転車の担当所管に伝えておく。

交通	<p>渋谷駅から成城学園前駅へのバスや都立大学駅から成城学園前駅へのバスが廃止され、交通が不便になった。用賀地区は縦2キロあり、高齢者が非常に多いので、バス会社と相談し、利便性を良くしてほしい。</p>	<p>渋谷駅から成城学園前駅までの路線は、東急バスと小田急バスによる共同運行が終了し、現在は東急バスのみの運行となったが、便数はほぼ同じとなっている。都立大学駅から成城学園前駅までの路線は、令和3年3月31日をもって廃止となった。事業者からは、コロナ前の水準までは利用者の回復が見込めず、運転手不足も一層深刻化し、非常に厳しい状況であると聞いている。より多くの方にバスを利用いただくことが、路線の維持や運行改善につながる事をご理解いただきたい。</p>
教育	<p>京西小学校改築の際に仮設校舎だけで4億円かかった。最終的に壊すものに費用をかけるなら、例えば、用賀小学校を改築する際には、上用賀公園に建てて、土地を入れ替えるようなことは考えられないのか。</p>	<p>仮設校舎は費用だけでなく、建設と解体の期間の削減も課題であり、中学校の空いた教室に小学生が通いながら建て替えを行う工夫や、仮設校舎を別の場所に建設することなども検討している。</p>
教育	<p>区の私立中高一貫校に入学した娘がいじめにあい、不登校となった。区立学校に対しては、「せたホッと」を利用して問題解決への支援を受けられるが、私立学校に対しては私立学校法の自主性という観点から介入できない。「せたホッと」の私立学校相談窓口の設置、また私立学校に対して実質的かつ強制的に問題の是正を命じることのできる組織を設立してほしい。</p>	<p>世田谷区子ども条例において、区の全ての機関は「せたホッと」の活動に協力しなければならないと定めている。一方、私立学校など区の機関以外の保護者や区民、事業者については、条例による強制力はないが、「せたホッと」による調査等、その活動に協力するよう求めている。これまでも私立学校に対して調査にに応じてもらうように努め、実際に訪問をした実績もある。私立学校については、基本的には都が所管しているが、「せたホッと」が私立学校のいじめ問題について相談を受けた際は、条例の趣旨を学校側に伝え、相談者である子どもの困りごとをともに解決に向けて進めていくよう努めている。また、各総合支所保健福祉センター子ども家庭支援課では、子育てや家庭の不安、悩みについて、関係機関と連携しながら支援を行っている。ご心配なことなどがあれば、ご相談いただきたい。</p>

公共施設	熱中症対策として野毛町公園の野球場にナイター設備を設置してほしい。	ナイターを実施している大蔵第二運動場のプールの場合、大変涼しく好評で利用率も高い反面、騒音の苦情もあるので、その部分の兼ね合いが課題である。公園の所管課と再度話をしていく。
公共施設	新庁舎内に、町会で使える会議室を作してほしい。また、上用賀公園の中にも会議ができる部屋を作してほしい。	新庁舎には、区民活動スペースや休庁日にもミーティングができる会議室を設ける予定である。上用賀公園内は、建築できる面積を最大限使って施設を入れる基本計画となっている。意見として担当所管に伝えておく。
その他	マイナンバーの不都合が見つかり、国が全国に点検を指示したことについて、区長は苦言を呈されていたが、現在の状況を教えてほしい。	総点検は2段階に分かれており、第1段階は、国の手順通りに手続きを行ってきたかどうかのアンケート調査のような形式であり、その通り行っていれば、その後の個々のデータ点検は不要の仕組みである。8月上旬頃までに国に報告することになっており、順次回答している。

○二子玉川地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	<p>地元のまちの活動を担う人たちの不足と高齢化に課題があると考えている。「地域デビュー」という言葉を広げていただきたい。定年後に居場所を探しているが最初の一步が踏み込めないという方が多くいると思うので、まちの活動に取り込んでいきたい。</p>	<p>車座集会でこの話題が出ない地域はほぼなかった。中には町会や地域団体の世代交代が一定程度進んだというところもあった。今回の車座では大学生も参加しており、集会の後に町会長が連絡先を交換したりして、車座がそういった機会になったと思う。コロナの影響で4年間様々な活動が膠着したが、まちづくりセンターではいろいろな事業を用意しているので、まちの掲示板でチラシ等を見かけたら積極的に参加、共有してほしい。そこからまちの活動につなげていきたい。</p>
まちづくり	<p>この地域は子どもの数が増えているが、子どもたちの居場所として安心して過ごせる児童館が地域にないということが以前から問題になっている。四者連携として児童館を取り込み、これから活動していただけるということで大変うれしい。</p> <p>ただ、現在、二子玉川小学校の子は鎌田児童館が管轄だが、砧地域の管轄ということで、非常に不都合がある。ぜひ喫緊の問題として、二子玉川地域に児童館と図書館を作してほしい。二子玉川には本の受渡だけの窓口はあるが、文化的な施設として図書館をつくっていただきたい。</p>	<p>時期の問題はあるが、児童館は必ず作っていく。二子玉川公園の子どもコーナーは非常に込み合っていて、子どもが広々と遊べるような環境が必要だと感じる。公園や公共施設の見直しをかけて需要をくみ取り、作り替えていくということ、スピード感を持って取り組んでいきたい。</p> <p>なお、都立玉川高校の跡地には、都市整備部門の職員が500人いる。本庁舎建て替えが約2年近く遅れるとのことで、施工者と連日協議している。二子玉川地区は、公共財が都市計画の中でビルトインされてこなかった。玉川高校についても地域のために活用したいという意向はあるが遅れている。図書館についても同じ問題があるかと思う。</p>
まちづくり	<p>玉川高校跡地を開放してほしい。</p>	
まちづくり	<p>ふれあい広場を、まちづくりの取組みを行う場所として有効活用できないか。より柔軟な運営ができる仕組みを考えていただきたい。</p>	<p>ふれあい広場は公園と同じ位置付けのため、一時的に使うことはできるが、定期的なイベントを行うのは難しい。一方で場所が高架下でなかなか目立たないというのも事実。今後公園として地域を盛り上げていくためにこういった活用ができるか議論できればと考えている。</p>

まちづくり	リボンストリートの整備費はマンションの住民の管理費の中から負担している部分があると聞いているが、区でも費用負担できないのか。	通常の法律の枠組みでは建てられない規模の大きさのマンションであり、それを建てるための地域貢献として事業者より提案いただいたものの一つがリボンストリートである。公開空地のため、管理費は当初より管理組合で負担していただくことになっている。
まちづくり	区民には人材も相当いるはずなので、民間出身者の知恵が生きる場がもっとあっても良いのではないか。外国人も増えており、地域になかなか入れないという声もきくが、サポートや人材活用できる仕組みがあれば良い。	二子玉川地区は外国人が多いのでサポートが課題と考えている。在住外国人の困りごとに対して対応する窓口は1か所あるが、コロナ後に住民が少しずつ増え始めているので、引き続き考えていきたい。
町会・自治会・コミュニティ	地域のイベントには参加するが、町会活動には協力いただけない人が増えている。そういう状況だと、あえて町会や団体へ入り協力するという気持ちにならないと思う。町会も高齢化が進み、この傾向が続くと成り手不足の問題が深刻となるため、世田谷区のサポートをお願いしたい。	いわゆるフリーライダーの問題と思う。逆に地域の活動団体にどうやって入ったらいいのかという発言も車座集会であった。地域活動デビューの場を作ることで、地域とのつながりを増やす工夫をしていくのがまちづくりセンターや社会福祉協議会の役割である。多様な住民がいる中で、そういった活動をまちづくりセンター、総合支所も協力していきたい。
DX	介護保険証の届出のため玉川総合支所に行った際、以前の記録の閲覧を希望すると、データがないため本庁に確認していることが多いことが気になる。また、けやきネットも使いにくい。車座集会のネット申し込みもとてもやりにくく、結局電話で申し込んだ。	令和4年に定めた地域行政推進条例において、デジタル技術の活用により、区民の利便性の向上を図ることを基本方針の1つと定めている。くみん窓口や出張所窓口における混雑解消をはじめ、デジタル技術の活用等DXの取組みを進め、より区民の皆さまが利用しやすくなるよう努めていく。

子ども	<p>玉川保育園の中にあるおでかけひろば「ひまわり」を利用しているが、この地域では児童館の役割の一部を果たしていると思う。昨年、閉鎖の騒動があった際、多くの意見により見直しとなり、しばらく運営されるようになった。父親の場合、互いに知り合う機会が少ないのでこういった安心して一緒に行ける場があることが大切。こういう場をより多くの場所に整備してほしい。</p>	<p>おでかけ広場「ひまわり」の閉鎖については、非常に困るという声をいただき、ひとまず閉鎖はとどまったと聞いている。おでかけひろばは現在67か所あるが、これを80か所まで拡大し、身近な子育て拠点を作ることに取り組んでいる。今後子育て支援をさらに広げていきたい。</p>
道路・街づくり	<p>多摩川兵庫島前で建設中の堤防が完成すると、堤防天端が近隣マンション居室と同程度の高さとなるため、プライバシーが心配。これまで京浜河川事務所や区に天端通行反対の要望を伝えているが、納得のいく説明がもらえていない。話し合いの場を設けてほしい。</p>	<p>第10回のワーキングにて、京浜河川事務所より、河川敷地と住宅敷地が隣接している場所については目隠しパネルや植栽等で対策する検討結果が示されたが、まだ決まっていない。その他の一般的な堤防構造部では、プライバシー対策等は現時点では国から示されていない。意見交換の場について、ワーキングの中で今後も話し合いを継続的に行っていくという話が出ていた。区からも京浜河川事務所に対して意見交換の場を設けるよう伝えていく。ウェブでの回答ではなく対面で話し合いを行うこと、またプライバシーおよび防犯の課題に対して、植栽の設置や街灯の設置に関する要望もあわせて伝えていく。</p>
道路・街づくり	<p>多摩川兵庫島前で建設中の堤防について、暫定堤防と完成堤防の差はいつ埋まるのか。また、天端通行に対して抵抗感がある人が多いので、陸間にするのはどうか。区長から国交省に伝えてほしい。</p>	<p>これまでに出了意見も含めて、京浜河川事務所に伝えていく。</p>
道路・街づくり	<p>多摩川二子玉川地区で建設中の堤防が完成した後の課題(プライバシーとセキュリティの保護、近隣マンションへの物損、犯罪その他迷惑行為への対策と対応、その補償)に向き合う必要のない設計プランへ変</p>	<p>河川は公共用物であり、自由使用の原則に鑑みて、河川の一部である堤防天端も一般の利用に供すべきと考えている。また、堤防天端を一般利用に供することによって、地域の回遊性の向上や、災害時の円滑な避難等</p>

	更してもらえよう積極的な関与をお願いしたい。区民が安心して暮らせる街づくりをしてほしい。	にも寄与するものと考えている。プライバシーの侵害や防犯など、近隣住民の方の懸念事項については、各種対策を講じることにより対応していきたい。行政と近隣住民の方が意見交換する場を設けていただきたい、というご要望については、京浜河川事務所に伝えており、京浜河川事務所からは、検討する旨回答を受けている。
道路・街づくり	<p>車座集会にて、堤防天端上の通行の是非について、引き続きの検討と双方向の話し合いの場の設定を要望し、国交省京浜河川事務所へ掛け合うと明言いただいた。それについて</p> <p>①実際に京浜河川事務所に要望したのか。②世田谷区からの要望に対し、京浜河川事務所はどのような回答をしたのか。③私たちが2022年1月に提出した区長あての要望書は読んでいただけたのか。④それに対し、何か対応したのか。⑤天端通行に関して、区長はどのような考えなのか。賛成、反対のどちらなのか。⑥世田谷区としての方針とスタンス。の6点について回答がほしい。また、区長に堤防建設現場の視察をしてもらいたい。</p>	<p>①・② いただいたご要望については、京浜河川事務所に伝えており、京浜河川事務所からは、検討する旨、回答を受けている。</p> <p>③・④ 2022年1月にご提出いただいた要望書について、区長は内容を確認している。近隣住民の方が、堤防天端の通行によりプライバシーの侵害や防犯面で懸念されていることは理解している。</p> <p>⑤・⑥ 河川は公共用物であり、自由使用の原則に鑑みて、河川の一部である堤防天端も一般の利用に供すべきと考えている。また、堤防天端を一般利用に供することによって、地域の回遊性の向上や、災害時の円滑な避難等にも寄与するものと考えている。近隣住民の方の懸念事項については、各種対策を講じることにより対応していきたい。</p>
教育	瀬田小学校が現在工事中で運動場が使えず、子どもたちの運動する機会が減少している。近隣の瀬田中学校もあまり協力的でないと感じている。	子どもが運動不足にならないように中学校で機会を提供するよう教育委員会へ伝える。

教育	児童館あるいはチルドレンズミュージアムという形で、SDGsの問題に取り組める、子どもから高齢者まで参加できる場所が二子玉川にほしいと思っている。	子どもたちのSDGs、環境危機などへの関心を大人と一緒に考えていくという方向は、区としても目指していきたい方向である。
公共施設	コロナ明け以降、集会室の予約が非常に取りにくい。別館に保育園があったが、現在3年近く空室になっているため、集会室として開放してほしい。	二子玉川地区会館別館に隣接の「旧玉川赤ちゃんの家保育園」は、令和6年度より、区の「子どもの居場所づくりに関する事業」での活用を予定している。
公共施設	旧玉川高校跡地は図書館として活用してほしいという意見が多い。グラウンド、体育館、プールはそのまま活用してほしい。仮庁舎の任期を待たずに半分スタートしてほしい。	現在、区の二子玉川分庁舎として借用しているが、本庁舎建替え工事に遅れが生じており、まずは、分庁舎としての利用を延長することについて都との調整が必要である。今後の活用については、当該地の立地条件や周辺環境、また、二子玉川駅周辺を広域生活・文化拠点に位置付けていることも踏まえ、活用の有無や具体的な活用案について、公共的な利用の観点から考えをまとめたうえで、時機を逸することなく、都に働きかけていく。
その他	ふるさと納税の区税の流出に問題意識を持っている。世田谷区もオプションを作って色々アピールをしていることはわかっているが、具体的に浅ましい行動、倫理にかかわると意見をみんなであげていってはどうか。	ふるさと納税の制度上に問題があると考えている。世田谷区のような不交付団体についても流出額の4分の3が戻るよう地方交付税を適用してほしいという点、1人あたりの金額に上限を設けてバランスをとってほしいという点を国に要望している。

○深沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	まちづくりセンター、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター及び児童館の四者連携について、どのように連携しているのか具体的に聞きたい。	児童館で子育てネット会議を四者で連携して行い、親子の出会いの場や情報を得る場となっている。また、玉川地域で特徴的なイベントである子育てママのリフレッシュDayが始まり、お母さん達が安心してサポーターと出会えるという活動が生まれた。
町会・自治会・コミュニティ	情報が分かりづらいという意見があるが、情報をどこに問い合わせればいいか分からない部分が大いのではないか。回覧についても、もっと簡単にできるようにしてほしい。	区の主要な情報発信は「区のおしらせ」で行っているが、読んでいない方も多いため、デジタルを活用した情報提供を強化したいと考えている。まちづくりセンターや総合支所地域振興課に問い合わせただけければ、的確に回答できる。
町会・自治会・コミュニティ	児童館で子育てサポーターをしているが、深沢に携わっているまちづくりセンターや保健所、幼稚園、地域活動団体などが交流できる機会が戻ってきてほしい。	四者連携について、想像を超えて地域に根差してきていると認識しており、さらに進めていきたい。
町会・自治会・コミュニティ	NPO法人で子育て支援の活動をしているが、世田谷区は子育て支援が手厚いので助かるという親の声を聞く。ただ、4年生くらいになると習い事や塾で、親は子どもの育ちを支えてくれた地域への寄り添いが無くなっていく。地域の活動への誘いを区から積極的に行ってほしい。	まちづくりセンターを含めた四者だけでなく、PTAやおやじの会など様々な団体が声を掛け合うことが大切。学校単位の「すぐーる」を使った呼びかけや、独自のアプリを使った周知を検討している町会もある。まちづくりセンター単位での情報の伝え方については、色々なアプリを検討している状態である。
町会・自治会・コミュニティ	町会で区のチラシを回覧する作業が負担になっている。区全体で各部署が自由にチラシをアップできるシステムを構築してほしい。	電子媒体と紙媒体とをその時の状況に合わせて使い分けていくのが良いと考える。配布の大変さは理解しており、どれだけ簡素化できるか検討したい。
町会・自治会・コミュニティ	転入者に対し、区から町会についてPRしてほしい。	町会は任意団体なので加入を強制できないが、情報提供をどこまでできるかなど議論を進めていきたい。バトンを次の世代に渡していけるようバックアップをしていく。

DX	安定したW i - F i 環境を整備してほしい。	機種の入替えの時期になってきているので、ニーズを見て整備をしていきたい。
防災	都や区から災害時の在宅避難について案内がきているが、避難所を増やすことはしているのか。	福祉避難所や妊産婦、女性のための避難所などもつくっている。都立高校を管轄する都や大学と協定を結び、避難所を増やす取り組みや、浸水の危険がある際に商業施設の駐車場を車の退避場所として使用するような取り組みも行っている。
道路・街づくり	桜新町駅までの道路、特に歩道が狭いので広げてほしい。	道路や歩道自体を広げることが難しいが、登下校の安全のために交通誘導員をお願いすることを学校関係者の意見を聞きながら進めていきたい。
道路・街づくり	町会で深沢4丁目と駒沢5丁目を担当しており、子どもの見守りの関係でスクールゾーンの開設をお願いしているので、早めに開設してほしい。	玉川警察署とは定期的にやり取りをしているので、その中で確認させていただく。二子玉川地区でも同様の取り組みがあったが、総合支所でしっかりとバックアップしていく。
交通	電動キックボードで移動する若者が増え、事故も発生してきているので、対策を考えてほしい。	電動キックボードは、6キロ以下だと歩道も走行可能となり危険である。総合支所でも注意してもらうが、危ない事例については区に届けてほしい。
交通	歩くのが大変な高齢者のために、サロンやまちづくりセンターを巡回するバスがあると助かる。	認知症カフェや子ども食堂、地域食堂など多世代が集まり一緒に食事できる場所が限られており、歩いて来られない方がいると認識しているが、社会福祉協議会とアイデアを練っていただきたい。また、区内の介護施設や老人ホームの一部を利用した企画を提案してくれる事業者もいるので、そうした場所を使いながら高齢者の居場所づくりを進めていきたい。

交通	日本体育大学では学生が定期的に交通マナー指導を行っているが、国道246号線の自転車レーンを逆走する自転車が多く危険である。また、駒沢通りの日本体育大学前の信号のない横断歩道について、なかなか車が停まってくれないので、信号機があると改善すると思う。	交通安全パトロールを町会や交通安全協会で行っている。活動に日本体育大学の学生にも声をかけて一緒に行えば、効果が期待できるのではないかと。車座集会をきっかけに地域の繋がりを作ってもらえたらすばらしい。
交通	日体幼稚園の前の歩道が狭く、園児と自転車との衝突が心配なので、対策が必要だと思う。	
交通	区で自転車利用憲章を策定しているが、それがあつてルールを守る人が増えるのか疑問。行政と区民それぞれができることを出し合つて取り組むのがよいのではないかと。	電動アシスト付き自転車や電動キックボードなど新しい移動手段が出てきており、時代の変化に対応した憲章や宣言について、地域と話し合いながら作ることも有効かと思う。
公共施設	駒沢オリンピック公園で野球場の増設工事が行われて以降、騒音の苦情が町会に入っている。区長からも都知事に解決するようお願いしてほしい。	駒沢オリンピック公園のほか、警察、消防などが集まる玉川地域の官公署連絡協議会が3か月に1度あり、そのような機会を通じて、地域の声として伝えていく。
公共施設	新町1丁目には学校以外に大きな公共施設がなく、集会所がない。深沢まちづくりセンターの活動フロアは老朽化が進んでいるので、新たな集会所を造ってほしい。	集会の場などの不足を、学校施設などを使って補うことを検討している。
その他	深沢7丁目に住んでいるが桜新町駅までにタバコの吸い殻が多い。道路や電柱に路上喫煙禁止の注意喚起はされているが形骸化している。スローガンの再周知や新しいスローガンの募集などをしてみてはどうか。	たばこルールを作り、路上喫煙禁止の掲示を強め、駅での声かけなどを行っていたが、効果が薄れてきている。ルールを風化させないようにどうするか検討したい。また、喫煙所がないと歩きたばこをしてしまうという面もある。外にあまり煙が出ない形のものもあるので、バランスを取りながら可能なところには配置していきたい。
その他	路上喫煙について。過料やパトロール以外にも効果的な方法がないか。例えば、大学などの大きな施設で注意喚起をするなどはどうか。喫煙所の設置は、近隣の人に迷惑がかかり、その周囲でも吸ってしまう人もいるので、あまり効果がないように思う。	

その他	9月7日のパブリックコメントについて、複数の計画について同時に行われ、それぞれ内容が多いため、意見募集期間が短いと思う。	4つの計画が同じ時期に出ており、相当な分量である。法律の関係で同じ時期になってしまうところがあるが、やり方については工夫させていただく。
その他	区のホームページについて、年度の記載が統一されていないので、同じ項目でもサブ見出しに年度を入れるなどして検索しやすくしてほしい。	同じようなタイトルのページが多く、分かりづらいと認識している。ルール化しようとしているので、もう少し時間をいただきたい。
その他	ふるさと納税による減収について、今後の具体的な対策を教えてください。	ふるさと納税額に上限を設ければ流出額は大きく減少すると考えており、減収で住民サービスに影響が出始めている他の自治体と協力して国に強く問題提起していきたい。
その他	区報好きな人で集まって、区報の魅力を発信できたらおもしろい。	区報を題材に話をする会を企画いただけたら担当課も喜ぶと思う。

○祖師谷地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	参加と協働で進めている事業をまちづくりセンターレベルでどんどん進めていただきたい。不登校問題、防災等いろいろなテーマについて、まちづくりセンターがファシリテーターとなってやっていただきたい。	あるまちづくりセンターでは、若者グループ、商店街のほか、企業が協賛して120人規模で防災講座を開き、非常に盛り上がった。災害でない時に知り合っておかないと力を合わせづらい。支所やまちづくりセンターでも、避難所運営訓練などをするとき、高校生、大学生等若い世代にも声をかけて広げていくと同時に、車座集会のようなまちづくりセンター単位でのコミュニティができるといいと思っている。
DX	若者に区の施策の情報が届いていない、又は関心を持っていないように思う。SNSやDXを活用して若者へどのような施策をしていくのか。	若者も困らないと関心を持たない。どう伝えるか、どういう形なら参加するか、試行錯誤していきたい。また、若者に限らず区民にどう情報を伝え、気安くレスポンスいただけるか、試行錯誤していきたい。
防災	避難所運営に関して、行政にもっと前に出てきてほしい。また、大地震の際は、避難所の開設に指導力を発揮していただく方を総合支所長が任命し、いち早く駆けつけてもらう体制を作ってほしい。	区は災害対応については連絡体制や指揮体制を作る時間も必要となる。72時間は皆さんで運営をお願いしている。災害対策課が避難所運営マニュアルを見直している中で、開設の仕方などファーストアクションカードを作成してわかりやすくすることを検討している。また、ボランティア協会が、大学のキャンパスにボランティアの臨時窓口を作って出動体制を整えているので、そういうことを訓練などの際に共有できるとよいと思う。
防災	祖師谷地区は、首都直下地震が起きると区内最大の延焼被害になると想定されている。地区内に270か所消火栓があるので、区道の消火栓の近くにスタンドパイプを設置してほしい。	スタンドパイプの設置場所については、郵便局やコンビニに設置してもらえないか検討する準備をしている。
防災	駅前広場に防災倉庫を設置してほしい。	駅前広場は道路という位置付けなので、道路に倉庫を建てるとなれば手続きが必要である。それほど広い場

		所ではないので、地区の中での調整が必要となってくる。
防災	家庭の消火器の助成について検討してほしい。	消火器の助成については、まちづくりセンターを通じ予算を取りまとめることになる。災害対策課と調整しながら取り組んでいきたい。
防災	発災から 72 時間の避難所の開設と運営を、住民や住民組織に委ねるのはいかなるものか。発災後の施設の安全点検は行政が行い、避難所開設の判断に行政が参加する体制とルールをつくり、訓練を行う考えはないのか。	大規模な震災発生時の対応は、行政だけでできるものではなく、自助、共助の考え方のもと、地域住民の協力による取り組みをお願いしている。職員参集にも時間を要するため、区の態勢が整っていないくても避難所の開設・運営が可能なように、各避難所運営委員会においてマニュアルの検討・整備や避難所運営訓練に取り組んでいただいている。避難所となる施設の安全点検は、最終的には区による応急危険度判定を実施する。それよりも前に避難所を開設する場合を想定し、暫定的な初期診断を避難所運営組織で行っていただく場合もあるが、調査者に責任を負っていただくことは想定していない。避難所開設の判断は、可能な場合においては区や学校と協議の上、行うこととしている。
防災	消防による組織的な消火活動が困難な災害時、住民による消火・延焼防止活動のため、スタンドパイプの配備をしてほしい。	消防資機材の動向を注視するとともに、方向性の検討段階である。地区ごとの特性に合わせた災害対策については、修正予定の地区防災計画に位置付けるなどして、対応の方向性とあわせて検討してく。
防災	祖師谷小学校の避難所開設にあたり、火災・延焼に住民が対応する必要がある地区特性を踏まえると、住民（住民組織）が区職員に先行して避難所の開設準備作業に入ることは困難。祖師谷地区、祖師谷小学校の実情に即した具体的な対策と準備を住民（住民組織）と一緒に検討することを強く希望する。	震災発生時には、被害状況等により区職員で十分な人員を確保することは困難であり、不確実性が高い前提で運営体制を検討することのリスクを踏まえ、自助・共助の考え方のもと地域住民が主体となる避難所運営委員会による初動対応をお願いしている。区も時系列の行動目標のチェックリストを定め、参集人数に応じた指揮系統を構築し、順次対応してい

		く。自身や家族の安全確保が第一であることは大前提であり、その上で可能な方については避難所開設・運営について協力をお願いします。
福祉	精神科の訪問看護を行っており、保険証で3割負担となるが、自立支援医療受給者証があればもっと負担を抑えられる。このことを知らない人や申請できない人が多く、申請を代理で行っているが一人で行うには限界がある。	厚生労働省の方針で社会的入院を避け、調査をして意思があれば自立生活への誘導を始めているところである。地域で暮らしていけるよう、引き続きお願いしたい。
福祉	あんしんすこやかセンターの体操の会について、無料が有難いが受益者負担とすべきではないか。他にもこういう不公平があるのではないか。	区民の方に身近な施設において無料で実施することにより、幅広く参加していただき、介護予防に取り組むきっかけづくりとなるように実施している。
子ども	「チャイルドライン」について、存在があまり知られていないので、周知をお願いしたい。	区の「せたホッと」という電話相談機関は、認知度は9割近くまでになり電話が取れない状態にまでなっている。「チャイルドライン」も、改めて役割や位置づけについて検討したい。
子ども	おでかけひろばが祖師谷には少ないと感じる。	今後、おでかけひろばの少ない地域に対して重点的に増やしていく。できれば自分たちで運営していくことに協力いただければ実現が早い。
子ども	保育園に勤めているが、保育士が不足している。保育園はたくさん造っているが保育士は少ない。何か策を講じているのか。	宿舍借り上げ事業により、保育士3000人に対し一人82,000円分の助成を行っている。ただし待機児が多いことの緊急措置なのでずっと継続するかはわからない。国や都に継続を要望していく。
道路・街づくり	補助216号線の祖師谷小学校や成城学園の前の道路は一方通行で、甲州街道や国道246号への抜け道となっている。朝からトラックが多く、子どもの通学上問題がある。狭隘道路の通学路で通行止めになっていないところはどのような対策をしているのか。	学校と地域の方で通学路の安全確認を行う。玉川地域では通学路については、ゾーン30を指定して、警察も一緒になってまちの安全性も高めている。ドライバー、自転車、バイクにも意識してもらうよう啓発を行う。ハードな取組みとしては看板設置などもあるので、警察と協力しながら対応していきたい。

道路・街づくり	隅切りに電柱があり消防車が角を曲がることができなかつたので対策をしてほしい。	道路上の電柱について、土木管理事務所に情報共有し、東京電力に確認してもらおう。
道路・街づくり	大蔵団地の新しい工事が始まって、道が封鎖された。祖師谷団地の建替えにあたり、使えなくなる道路があるのか。	祖師谷団地はこれから着工のため工事のルート等も今後決めていくことになる。まちづくりセンターにも情報コーナーを設けているが、着工前に東京都住宅供給公社職員が現地で相談会等を行うと聞いている。障害者施設や高齢者の居場所、防災上の機能等もご意見をいただき相談をしながら進めていきたい。
道路・街づくり	榎の交差点について、渋滞がひどいので新道ができ解消されたが、道が複雑になってしまって、歩行者がとても危険な状況である。小・中学校があり子どもも多く通るので一度確認をお願いしたい。	新道の状況と合わせて、歩行者の状況などについて支所で確認する。
交通	自転車ヘルメットの着用が義務化されたが、区の補助の進捗状況を教えてほしい。	7月から2000円助成を行う予定であり、せたがやPayで支払うと2割引になる。1万人を上限としている。
交通	山野公園の歩道を2m程度ずらし、バスの駐車場所として使えるようにしてほしい。	山野公園は都市公園であり、都市公園法第16条が適用されるため、公園の面積を削るようなことは難しい。
交通	祖師谷団地の建て替えに合わせて、大型バスの発着場を整備してほしい。環状八号線から入り、祖師谷団地内で乗り降りして、祖師谷通りを北上できるようにしてほしい。	祖師谷地区は広幅員の道路が少なく大型バスは通行が難しいが、身近な道路の拡幅や道路ネットワークの構築に取り組んでいく。祖師谷団地敷地内のバス発着場の整備の要望については東京都住宅供給公社に伝える。
交通	くるりんバスについて、7時台の増便はあまり利用がないようだが、ほかの時間帯の増便はできないのか。	運行事業者からは、7時台の増便は、朝の時間帯に利用者が増えているというデータに基づき実施したと聞いている。朝以外の増便に関しては、運行事業者へ働きかけを行っていく。
教育	区立図書館はこれ以上民営化せず、民営化した区立図書館を直営に戻してほしい。	区議会でも指定管理化の意見もあれば反対の意見もある。先日、図書館ビジョンを作る話し合いに参加し、民営化か、直営かだけでなく、これから

		時代に合わせてどう変わっていくことができるか、区として取り組んでいくと話した。図書館はコミュニティのスペースでもあり、お子さんへの読み聞かせなど様々な活動があるので慎重に考えていきたい。
教育	祖師谷小学校の特別支援学級の支援員をしているが、週 5 日だけでは授業時間がおさまらないため、土曜授業日が月 1 回ある。週 6 日通学するのは大変疲れるため、今一度再考してほしい。	不登校生徒の居場所づくりや教員の成り手不足の問題と併せて考えていきたい。
教育	図書館の指定管理の動きに心配している。図書館は職員の力が大きく、魅力的な企画があっても、職員の異動でなくなってしまう。職員は区の財産なので大切に育ててほしい。	全国には、住民がワーカーズコープという社長のいない共同労働組織をつくって運営している例もある。住民の皆さんが質をキープすることもでき、新しい職員がそれに気づいて育っていくのがよいと思う。
教育	教育センターで行うイベントは、定員 20 名程度が多くなかなか参加できない。若林は少し遠いので、もう少し近くに施設があるとよい。	20 名に制約していたのはコロナの関係もあったと思う。7 月 1 日にやるイベントは 120 名募集である。何らかの機会にぜひ行ってほしい。
教育	塚戸小学校の旧校舎のトイレは和式がほとんどで使えない児童も多いと聞く。トイレの洋式化について教えてほしい。	教育委員会では、公共施設等総合管理計画などにに基づき、計画的に学校施設の改修を行っており、小学校トイレの洋式化改修についても、順次改修工事を実施している。塚戸小学校については、改修工事に向けて設計業務委託の検討を進めている。
公共施設	祖師谷 6 丁目は、杖を使う方や車いすの方には不便な場所である。病院や店舗が近くにないため、歩いて行ける居場所がほしい。	学校、保育園、高齢者施設などの地域交流室などもあるため、気軽に行ける居場所を四者連携で開発してほしい。
公共施設	新庁舎の工期延長について、事業者がどのように責任を取るのか、区のおしらせで報告すること。	事業者と協議を行っており、詳細がわかり次第、議会で報告する。
その他	商店街の組合員が少ない。商店会の加入促進の条例が出来たが、効果がないようだ。せたがや Pay で加入促進など図れないか。	7 月 1 日からせたがや Pay の割引が始まるが、商店街振興組合加盟店は 20% 割引、非加盟店は 15% 割引となっており、これにより加入促進を図っている。

その他	短歌のサークルの代表をしている。教育委員会の講師派遣事業を今後も継続してほしい。短歌の学習、心と体の維持、認知症予防や嚥下障害予防などにもなる。	一人一人と話すのは大事である。コロナ禍で誰とも話さなくなった人が増え、電話も減った。このような状況なので、ぜひサークル活動を継続して行ってほしい。
その他	ふるさと納税に不公平感を感じる。制度に問題があると思う。	寄付額の上限を設けるだけで大きく流出額が減ると思われるので、今後も国に求めている。
その他	「ふるさと納税」は問題がある。廃止すべきだ。	現在のふるさと納税制度は、数多くの問題点を抱えているため、制度の抜本的な見直しを、特別区長会などを通じて国に求めている。
その他	区政課題の解決のため、生産性を高め、外部の知見を取り入れる取組みも必要ではないか。外部の知見が必要な案件をホームページなどに公表し、そこに参画出来る方を募集し、面談を経て参画してもらう仕組みを構築してはどうか。	区では、民間の会社などに籍を置きながら、副業という形で区政課題の解決に協力いただく手法の検討に取り組んでおり、今年度中に広報部門や産業振興部門などにおいて、この副業人材の活用を始める予定としている。

○成城地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
DX	単にデジタル化をするのではなく、デジタルトランスフォーメーションを本気で進めて欲しい。	デジタル化により、定型業務やパターンのな処理が減る。そこで職員が本来のヒューマンサービスに戻っていくとともに、空いた時間を有効に活かしていく。デジタルを使うのが目的ではなく、デジタルを使って幸せな社会をつくるために、大学や皆さんと連携したいので、ご協力いただきたい。
防災	まちづくりセンターの防災予算を10倍に、防災担当職員を倍にしてほしい。	他の地区でも防災予算が不足しているという意見が出ているので、今後の会議で検討していきたい。
防災	自治会の会員数が減少している。区でも対策をお願いしたい。	自治会活動の活性化として、「いちのいち（町会・自治会向けSNS）」で情報共有等を行っているところや、LINEでグループを作っているところもある。何でも良いので自分たちに合うツールで始めていただけたらと思う。
環境・清掃・リサイクル	ごみ集積所の見直しを近隣で話し合う機会がないので、区が主体となり意見交換や見直しの場を持っていただきたい。	基本は地域の皆さんで決めていただくところだが、話し合いができないということを清掃管理事務所に伝える。
福祉	多世代が参加し、高齢者の見守りなどにつなげる成城8989（わくわく）という活動をしているが、運営費が足りていないためサポートしていただきたい。	予算の仕組みが本庁にあげていかないと降りてこない形になっている。地域・地区の活動実態を知っているのは支所やまちづくりセンターなので、参加と協働のためにも支援の仕方を考えていきたい。
福祉	8050問題について、50～60代のひきこもりはなかなか表にはわからずに、親が認知症になってから気付くという傾向がある。声をあげない人をどうピックアップしていくか。	50代の引きこもりは、世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」を中心に重層的支援を行っている。専門職同士も顔の見える関係をつくりつつ、支援を断るような方にも伴走型支援を行っていく。
福祉	身体と精神に障害があるが、成城8丁目の8989（わくわく）ネットワークへの参加が生きがいになっている。助成金や人的な支援をお願いしたい。	コミュニティの中でつくられていくこのような活動をこれからも、支援していきたい。

道路・街づくり	区道に凹凸が多く転びそうになることが多いので縦点検してほしい。	道路で危険なところがあれば地域振興課に伝えてほしい。
道路・街づくり	成城学園前駅南口の盆踊りの開催場所が非常に狭い。駅周辺の整備に拍車をかけてほしい。周辺の区未利用地等も洗い出してマスタープランを官民協働で作っていききたい。	成城学園前駅南口の広場の用地取得は進捗しない状態で、支所の特命課題である。ガードパイプを外すなどしてプレイスメーキングをしているが、地区街づくり計画も検討していきたい。
交通	高齢者団体若葉会の活動を「成城ふれあいの家」で行っているが、成城学園前駅から徒歩 10 分以上かかるため大変。自動車での送迎等交通の不便さを解消してほしい。	現在、砧地域においては、砧・大蔵地区での予約制乗合ワゴンの実証運行や成城学園前駅広場の暫定利用に向けたベンチ設置など、誰もが快適に移動できる環境づくりに取り組んでいる。いただいたご意見は、交通所管などとも共有し、今後の交通不便地域対策や歩きやすい街づくりの参考とさせていただきます。
教育	小中学校の所得制限無しの給食費無料を来年度も続けて欲しい。	令和6年度以降の継続については、今後の社会経済状況や国・都の施策、物価・賃金の動向、財源の課題などを踏まえながら検討していく。
教育	区立図書館は直営にしてほしい。	区立図書館は基本直営でいきたいと思っているが、一部指定管理で時間を長くしたりもしている。また、図書館カウンターは民間を活用している。図書館のレファレンス、ニーズに即したおすすめ案内など、職員のレベルを上げていきたい。
公共施設	区内に火葬場の整備をしてほしい。	区では臨海斎場に出資しており、区民利用率は 10～12%となっている。多死時代が到来しており、焼却炉の増設工事を行う予定である。
公共施設	砧公園内に火葬場が設置されるのか。	火葬場については、住宅や学校、保育園や病院、事務所や店舗などから、概ね 250m 以上離れていることが「世田谷区墓地等の構造設備及び管理の基準等に関する条例」で定められている。これらの条件を満たす場所は、区内では砧公園内のごく限られた部分しか該当しないため、砧公園内に火葬場を設けることは難しいと考えている。

その他	子ども食堂を、特別養護老人ホームを借りて行っているが、施設に物を置けないので、毎回車で搬出入している。置き場について区の支援をお願いしたい。	置き場の確保については、まちづくりセンターにも相談してほしい。
その他	施設やイベント開催が区内の東部西部で偏りがあるため改善してほしい。	国際交流や生涯学習に関する施設が東側に寄っていることは顕著なので、成城大学にも協力いただき、西側でも参加できるような場をつくりたい。
その他	今年に入って、審議会など対面に戻りつつあるが、オンライン活用を継続してほしい。	オンラインがなければ、今日の集会も開催できなかった。今後も活用していく。
その他	ウクライナ侵攻に関して、様々な集会に参加しており、自宅を活用した避難者支援を考えている。社協やトラストまちづくりとの連携もあるが、区側からのサポートも無理のない範囲でお願いしたい。	避難民受け入れプロジェクトとして支える体制を構築し、10数組が区内で過ごしている。せたがや国際交流センター「クロッシング世田谷」でも支援を考えている方と繋がりを持つことができると思う。
その他	予算の執行率が毎年低いのは何故なのか。	予算の執行率は、概ね90%台となっている。
その他	ふるさと納税の赤字率が中々改善しないのが残念だ。国の施策が変わらない限り無理なのか、何か良い方法は無いものか。	これまで、区の取組みに共感・応援をいただくことを基本にふるさと納税を募るとともに、区の施策への理解促進や世田谷の魅力発信につながるよう、障害者施設の自主生産品や世田谷みやげ等をお礼の品としてきた。しかし、区の財源流出額は拡大しており、他自治体に在住の方からの寄附につなげるため、区の魅力を伝え、来街を促すようなお礼の品の充実にも取り組んでいる。また、制度の抜本的な見直しについても、引き続き、23区一丸となって国に求めていく。
その他	課の方針として職員の名前を教えてもらえない。後で電話すると言ってから半年間連絡がないため、広報広聴課から連絡を促してもらったが連絡がない。公務員が名前を言わないのは違憲なので、改善を早急でお願いしたい。	数回、時間帯も変更しご連絡したが、直接お話ができなかった。電話に出られないご事情があるかもしれないと、繰り返しの連絡は差し控えていた。お待ちいただいていたとのことで大変申し訳ない。職員の名前については、改めて指導する。

○船橋地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	木造建築の飲食店開業や接待を伴う店舗、パチンコ店の出店を制限してほしい。	船橋1丁目では、東京都安全条例に基づく新防火の規制区域に指定し、建築物を新築する際に耐火あるいは準耐火建築物とすることを義務付けた。なお、現状の建築に関する法令では、駅周辺部の近隣商業地域で許容されるパチンコ店等の用途を制限することは難しい状況である。ただし、建替えなどで店舗が出店する際には千歳船橋駅周辺地区地区街づくり計画の届出があることから、届出内容を確認し、目標・方針に定める「活力があり快適に生活できる魅力的な街」「不燃化等を促進して安全性・利便性の高い街」の実現に向けて、理解や協力を求めている。
町会・自治会・コミュニティ	世田谷区立希望丘青少年交流センター（アップス）の隣にある特別養護老人施設は、アップスと交流をしていくということで建設されたはずだが、実績を聞いていない。また、アップスは地域にも開放するという話だったが、誘いがこない。状況はどうなっているのか。	協定を結び、アップスとの共同事業を行ったという報告は受けている。しかし、コロナ禍で、高齢者施設ではなかなか実施しづらい状況である。地区にそのような情報が届いていないということは、高齢福祉所管にも伝える。
町会・自治会・コミュニティ	区でも町会・自治会への加入促進にもう少し力を入れていただきたい。区長と町会長の話し合いの場を設けてもらえると、町会の運営状況が分かると思う。	コロナ禍で地域のつながりが希薄になった部分を取り戻していくための取り組みをしていきたい。また、若い世代に町会の情報をデジタル発信したいという意見もあり、そういった工夫を応援していきたい。
町会・自治会・コミュニティ	日赤の社資について、集金方法が限界に近付きつつある。区立小中学校などでも呼びかけることはできないか。	若年層へのPRの必要性についてご意見があったことを日赤東京都支部に伝える。地域の学校に募金活動への協力を呼びかけることについては、所属の分団で協議いただきたい。

DX	小・中学校では生徒がタブレットを上手に使っているので、そういうスキルを学校外でも生かせないか。また、高齢者向けのスマホ教室について、スマホに触れるきっかけとしてだけでなく、よりデジタルな情報に触れられるような教室も開いてはどうか。	スキルの活用について、今、区が子どもの意見を直接聞くことを考えており、そこで活用できないかと思っている。スマホ教室について、地区によってはスマホ教室に参加した方に、LINEグループに入ってもらっている。そこで、あんしんすこやかセンターから高齢者向けの情報発信や注意喚起などを行うことで、日々使ってもらおうといった工夫を始めている。
防災	災害時安否確認カードを作成し、町会員に配布しているが、全体で7200世帯に対して、町会員は3000世帯程度である。このような防災の取組みを、町会だけでなく区全体で推進してほしい。	区では在宅避難を呼びかけているが、どう普及させていくかが課題である。危機管理部とも相談しながら、在宅避難や安否確認について取り組んでいく。
防災	街路消火器の格納箱に「避難所は〇〇学校です」との記載があるが、在宅避難を第一とするなら消すか変えるべき。広域避難所を表す柱に「東京防災」のQRコードのシールが貼られていたが、1月間程度ではがれ落ちた。別の方法で貼り直すなどの対策はあるのか。	区では在宅避難を推進しているが、避難が必要となった時に備え、まずは避難所の存在を知ってもらうために表示している。在宅避難については、ちらしや啓発冊子等、別の媒体にて周知を行っている。
環境・清掃・リサイクル	コロナ禍において、お休み処の飲料が紙コップ式からペットボトルに変わったが、5類に移行したので、脱プラスチックを意識した取組みを進めてほしい。	ペットボトルは分別して回収しているが、プラスチックは回収を始める方向で検討しているところである。
環境・清掃・リサイクル	地球温暖化対策や環境政策について、課題に対しての取組みや認識が感じられない。特に、ヒートアイランド対策をどのように行うのか。	環境政策として、せたがや子ども気候会議や世田谷気候危機区民会議を立ち上げている。グリーンインフラを推進しており、うめとびあでは、豪雨時に雨水が一気に下水に流れず、溜めておけるような仕組みとしている。また、エコ住宅補助の拡充も行っている。

環境・清掃・リサイクル	人工芝は大量のマイクロプラスチック発生源であるが、対策を考えているのか。	国や都の動向、人工芝の破片等の流出を防ぎマイクロプラスチックによる海洋汚染防止を講じる企業等の取組みを注視しつつ、環境省が作成した流出防止リーフレットによる適正な使用と管理について周知していく。
福祉	区の行事において、会場だけでなく、会場への往復で、熱中症で倒れたりすることがないように、配慮したイベント運営をしてほしい。	熱中症警戒アラートが発令された際は、暑さへの注意や熱中症予防のための行動をとる必要があり、今後もさらなる予防啓発の強化に取り組んでいく。砧地域でのイベント等は、「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」などを踏まえ、参加者、従事職員などの熱中症予防対策に取り組んでいる。
福祉	独居の高齢者について、あんしんすこやかセンターで適宜訪問するような取組みがあればよい。	民生委員、あんしんすこやかセンター、サービス利用者、事業者といった、普段からなじみのある方々と協力した複層的な見守りを行っていく、また緊急通報システムや、電話訪問を活用するなど進めていきたい。
福祉	令和5年4月より開始された、重度障害者等就労支援特別事業について、非常に感謝している。	障害者の方が安全に社会参加できるよう取り組んでいく。
みどり・公園	船橋の小径（地域風景資産）は昨年度で制定20周年だった。10周年の時は記念誌の作成やイベントを開催したが、今回は何も取組みがなかったのはなぜか。	検討はしていたが、新型コロナウイルスの対策に予算をシフトした等の理由もありできなかった。都市整備政策部にも意見を伝える。
道路・街づくり	恵泉裏通りの開通、狹隘道路の解消はいつになるのか。	地権者とは、長い期間話を続けている。防災上の観点等からも非常に重要な場所という認識を持ち、丁寧な対応を続けていく。また、道路・交通計画部にも意見を伝える。

道路・街づくり	空き家に設置されたトラバサミに猫がかかっていたことがあった。ハクビシンやタヌキが棲みついているところもあるので対策してほしい。	ガイドラインを設け、空き家の持ち主にしっかり管理してもらおうということはずっと取り組んできているが、引き続き周知していく。また、倒壊しそうな空き家については警告を出し、最終的に区で解体を行っている。その手前の危険ではないが荒れ果てている空き家についても、総合支所を中心に対応していく。
道路・街づくり	千歳船橋駅周辺地区地区街づくり計画では、通過交通は不要と明文化されている。地域の道路をもっと人が歩いて楽しめるような街づくりをしてほしい。	通過交通が地域に流入しないよう千歳通りや世田谷通りに交通を分担するなどして、地区街づくり計画を進めていく。
道路・街づくり	千歳船橋駅前の大きな空き地が駐車場になった。区に事前の届出が無かったが、条例違反ではないか。再開発の際は、届出が出てからではなく、事前相談の段階から住民に説明を行い、住民の意見を反映してほしい。	条例違反になる。届出内容については事業者には資料提出を求めていく。建物ではなく工作物の設置のため届出不要と認識していたとのことなので、注意喚起していく。地区まちづくり計画の方針、理念や地域の方々の思いを、事前相談の段階から事業者にはしっかり伝え、地域にも丁寧に説明することを事業者に求めていく。
道路・街づくり	環状八号線、千歳通り、城山通り、赤堤通り、水道道路など道路が整備されており、また、小田急線の高架化や烏山川緑道によって防火帯も形成されているので、街を壊す補助52号線は中止してもらいたい。	補助第52号線は都市計画道路で、交通機能、防災機能、空間機能、市街地形成などの機能がある。都市計画道路、主要生活道路、地先道路など、各々の道路の機能を十分に発揮するよう適切に組み合わせ配置することで、将来の道路ネットワークを構築し、誰もが安全で安心して暮らせるまちを形づくろうと取り組んでいる。ご意見は、補助第52号線の事業者である都に伝える。

教育	コロナ禍でつながりが途絶えてしまった影響もあると思うが、青少年地区委員会の会議に、学校長に出席していただけない。改善できるような手当をお願いしたい。	学校がもっと地域に出ていくことを進めようという方向で、新しい教育ビジョンを作ろうとしているところである。学校や校長の違いが出ているのかもしれないが、そういった声があることを伝えていく。
公共施設	子どもの食支援を行っているが、場所の確保が難しい。厨房がある希望丘区民集会所を使用したいが、NPOには貸してもらえないので、配慮してほしい。	子ども食堂などの活動の場を広げられないかという点については、内部で検討をしているところなので、少しお時間をいただきたい。
その他	空き家に設置されたトラバサミに猫がかかり苦しんでいたが、獣医師に協力してもらえないか。また、動物愛護の取組みを見直してもらえないか。	獣医師との連携や協力は、持ち帰って確認させていただく。動物愛護に関しては、保健所ではボランティアを活用していくという動きがあるので、より充実した対応を進めていきたい。
その他	若者世代に区の情報が行き届いていないことが問題だと思う。	若者は紙媒体をなかなか見ないので、より一層SNSを活用していく。区内大学との連携の中で、地域には協力的な先生が居るとか、スマホ教室において学生がお手伝いをしている地区もある。そういったところと更に連携して各地区で何かできるよう考えていく。
その他	区がどんな活動をしているか、日常生活の中で、ほとんど情報として入ってこないということが問題だと感じる。	
その他	猫の不妊去勢手術を行う際に、保健所の支援はあるが、料金が高い。また、獣医師会に登録していない医師でお願いできる所が少ない。	猫の不妊去勢手術に関しては動物病院ごとに料金を設定することから、区は助成上限額を定めている。動物病院との調整については、今後も東京都獣医師会世田谷支部等関係機関と連携を深め、対応していく。

その他	猫の不妊去勢手術に際し、耳カットをしない獣医師がおり、一度手術した猫が再度手術へ行かなければならないことがある。野良猫保護活動をしている中で、一目で分かる様にして欲しい。	手術済の識別方法としては、耳をカットする他にマイクロチップの装着等がある。同じ猫が何度も捕獲や手術を受ける可能性があるため、区では不妊・去勢手術費用助成を受ける際は識別処置を施すこととしている。どの識別方法を選択するかは、現在各々の獣医師等に委ねられている。
その他	飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成について、メス10000円、オス5000円だが、寄附金募金では手術代が高すぎであり、どうぶつ基金の無料券を使用できる所、獣医師がないので、使える病院が欲しい。	手術後に譲渡される猫への補助制度の拡充や、ふるさと納税を活用した「地域ねこ活動」の支援も予定している。また、公益財団法人どうぶつ基金にて実施している「さくらねこ無料不妊手術」協力病院への登録は、各動物病院とどうぶつ基金との契約となる。
その他	環状八号線東側の船橋について、砧地域で良いか、再検討をお願いしたい。つながりのない環八西側の砧地域ではなく生活圏が同じ世田谷地域への編入を強く希望する。	地域区分の変更には多くの区民の意向と理解をいただく必要がある。一方で、社会の変容により、地区や地域を取り巻く環境は変化していくため、その時点の状況に応じた体制や仕組みを構築していく必要があると考えており、ご意見については地域行政の推進に向けた取組みの参考とする。

○喜多見地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
防災	喜多見地区は水害の問題が大きい。地区内でも、崖上と崖下では意識が違ふ。崖上の避難所に避難した際の対応と、水没後の再建の2点を考えた計画を作らないといけない。地域としても協力するので検討してほしい。	大きな課題であると思っている。災害対策課にもいただいた意見を伝える。
安心・安全	詐欺や不審者が増えており、ペットの糞のマナーも悪い。対策のために防犯カメラを取り付けてほしい。	商店街や町会・自治会で設置しており、区内で1330台設置している。自動販売機への設置の話もあり、今後普及していきたい。
安心・安全	特殊詐欺を減らす取組みをしてほしい。	区では高齢者への自動通話録音機の貸出を進めている。その他、キャッシュコーナーなどに電波妨害機を設置し、電話しながら操作をできないようにする対策を進めている。
安心・安全	詐欺対策としてナンバーディスプレイがある。高齢者は無料になるサービスがあるが、電話番号の名義人と使用者が同じでないと対象とならない。成城管内は詐欺被害が多いので、区からNTTにサービスの改善を申し入れてほしい。	NTTに申し入れる。
安心・安全	防犯カメラの補助が出るまでの期間を短くしてほしい。また、町会の人口が増えているため、宇奈根地区内に派出所か交番を作るよう警察へ働きかけてほしい。	警察には粘り強く取組みを進めるようお願いをし、支所としても応援していく。危機管理部とも情報共有し、一緒に取り組んでいく。
福祉	行政では熱中症対策のためクーラーを適切に使うよう言っているが、伝わっていない。電気料金も上がる。荒川区は扇風機を補助するようだが、低所得者向けに何らかの補助をしてほしい。	区でどのように応援できるか検討したい。
福祉	高齢者の不安をフォローしたいがどこに伝えればいいのか分からない。防犯情報がマッピングされているなど、近隣で共有できるものがあったらいい。	事件性につながりそうなことは警察に通報してほしい。道路の造りや見通しを変えるなどの環境改善であれば支所へ相談してほしい。

子ども	双子の会が砧総合支所から児童館へ移され、参加者が少なくなった。支所は交通の便が良く多くの地区から人が集まり交流できる。支所の双子の会を復活させてほしい。	健康づくり課ではこれまでグループ活動に取り組んできたが、コロナによって、活動が縮小してしまったこともある。今後、四者連携などで情報交換しながら地区での活動の再構築について考えたい。
子ども	喜多見駅周辺におむつ替えスペースや授乳スペースを作ってほしい。	まちづくりセンターと支所でニーズを探りたい。全区的な課題でもあるので、担当課と情報共有していく。
子ども	高校生の子どもがいるが、子育て支援の恩恵を全く受けられていない。本当に必要な部分に使われていくような支援の形に切り替えていただきたい。	今年度より自己負担、所得上限のない医療費助成制度を、高校生相当世代まで拡大した。また、高校2年生世代の子どもと保護者を対象とした子どもの生活実態調査を実施し、その結果等をもとに、令和7年度からの子ども計画（第三期）の策定に向け、高校生世代の子どもたちへの支援の充実のための検討をしていく予定である。
道路・街づくり	外環トンネル工事のオープンハウスや意見交換会の案内が遅い。以前のような教室型の説明会にしてほしい。また、トンネルの掘削で家屋にひびが入って泣き寝入りしている人がいるので、区にも苦情の窓口を作ってほしい。	外環事務所に担当課を通して申し入れる。
道路・街づくり	野川でバックウォーター現象が起こったため、アクリル板を使用して壁を作るようである。景観を配慮してアクリル板を使用するとのことだが、板が汚れて汚くなるのではないか。	バックウォーターへの対策として、必要な施工だということをご理解いただきたい。都の説明会でも同じように意見を言っていただければと思う。豪雨対策・下水道整備課にも情報共有する。
交通	玉04系統の運行形態が変更になり、オンデマンド輸送が開始した。二子玉川まで乗り継ぎなしで行きたいが解決策はないか。	バスの経営が悪化しているということもあるのでバス業者との協議会をつくり、公共交通の体制を強めていく準備をしている。オンデマンド輸送も利用者がいないと継続できなくなるので、欠点等あれば教えてほしい。

交通	喜多見・宇奈根地区のオンデマンド輸送は車両もワゴン車のため、まちづくりセンター近くにバス停を追加してほしい。	運行事業者からは、オンデマンド輸送の利用者が増えていき、運行エリアを拡大する余地が広がり、運行状況に影響を及ぼさないか確認した上で改めて検討すると聞いている。
教育	自習室がない。中高生の居場所がない。自習や学習支援の点から居心地のいい場所を作ってほしい。	学校の土日や児童館の夜間が使えないかなど区で持っている施設の管理の問題を解決して、考えていきたい。
教育	小学校について、新任や育休復帰後の先生の負担が大きいため、副担任制をとってほしい。不登校が増加しており、既存の居場所では足りず、就労している親は困っている。	支援員は増やしているが、先生の希望者が減っている。発達に課題を抱えている子もクラスにいたので、ベテランの先生がサポートするような体制や、区独自の緊急派遣チームのようなものも必要。すぐに解決できないが、できる限り投資したい。
教育	小・中学校のトイレの洋式化をもっと早く進めてほしい。	トイレの洋式化は毎年予算を組んで実施しているが、順番が回ってきていないのではないかと思う。改めてチェックしたい。
教育	砧南中学校のロッカーが小さくて教科書が入らない。子どもの学校のカバンが重すぎるので、状況を変えてほしい。	子どもの健康のためにも、荷物が重いこと、学校の付帯設備を整えることなど、教育委員会に話をする。
教育	中学校の楽器の老朽化が進んでいるので、買い替えてほしい。	教育委員会の予算として、まず教員不足の問題を優先すると思うが、楽器等の備品の更新も重要であることは認識している。
教育	G I G A端末で先生と生徒で相互方向のデータのやり取りができるようにしてほしい。不登校の生徒が授業をオンラインで受け、課題をオンラインで提出できるよう実現をお願いしたい。	区では、学習用タブレット型端末における児童・生徒及び教員間でのファイルのやり取りを含む情報共有に向けた標準的なアプリとして、「Microsoft Teams」及び「ロイロノート・スクール」を導入している。これにより、授業をオンラインで受け、オンラインで課題を提出することは可能となっている。
教育	生徒が、デジリー教科書がある事やG I G A端末で利用できることを知らないため周知の徹底をお願いしたい。	デジリー教科書は、担任の気づきや保護者からの申し出により、校内で検討したうえで利用いただいている。今後、教員への一層の周知を図るとともに、児童・生徒に対しても周知していく。

教育	就学時健診の対象を、通級の利用を希望する生徒まで広げ、目の問題で学習がし辛い生徒の適切な眼鏡の使用に繋げて欲しい。	就学時健診は通級利用を希望する方も受診できる。健診で眼科医が異常を発見した場合、医療機関で検査を行うよう勧奨している。
教育	就学時健診での簡易読みのアセスメントをして欲しい。	就学時健診では面接による受け答え等を行うことで、発達障害や知的障害の疑いのある児童を適切に支援に繋げている。
教育	就学時健診で、STROW-RやURAWSSなどの読み書き検査を実施し、医療機関や療育に繋がれるような支援体制を作ってほしい。	就学前にはまだ読み書きの学習を行ったことが無い児童もあり、また、STROW-RやURAWSSは小学生以上を対象とした検査手法と認識しているため、就学時健診での導入は予定していないが、ご意見は今後の参考とさせていただく。
教育	区立幼稚園、小学校及び中学校への言語聴覚士や作業療法士の巡回指導をお願いしたい。	区立幼稚園では、個々の園児の状況に応じて、児童発達支援施設等の専門指導員と一緒に対象園児の様子を観察し、その後の職員へのアドバイスや意見交換等を行う巡回技術援助指導を実施している。また、学習障害等発達障害がある児童・生徒は、特別支援教室(すまいるルーム)の指導対象となっており、在籍学級と協力しながら支援している。
公共施設	喜多見地区会館の改修または建替えをしてほしい。	いただいた意見を参考に支所で取り組んでいく。
その他	ふるさと納税による流出をどう考えるか。もったいないと感じる。	区としてお菓子や宿泊券を返礼品とし、寄附は増えているが流出が非常に多い。一人当たりの寄附の上限を設けたら流出額が縮む。国に対して要望していき、区民に対しても実情を伝えていく。

○砧地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	砧図書館に、砧地区の事業のチラシを置いてほしい。	砧地区の事業ちらしの配架などを図書館側と調整していく。
町会・自治会・コミュニティ	町会加入率が低下しており、案内だけでなく、区の協力を具体化してほしい。	町会加入について、町会活動等に若い世代の得意分野を活かした参加も考えられる。児童館が四者連携に入ったことをうまく生かし、コミュニティを全世代型にしていけないかと考えている。
町会・自治会・コミュニティ	限界集落について都内では都営住宅で10か所ほど生じており、大蔵3丁目の大蔵住宅があたる。建て替えによる生活変化、不安、寂しさを感じている人が多い。今後のコミュニティや居場所づくりについてどう考えるか。	大蔵団地には、新たに子育て世代も入ってくるので、多くの人々が融合したイベントの開催、あるいは、子ども食堂だけでなく、じじばば食堂などでの雑談ができるような取組みにより、コミュニケーションを復活させて、孤立を防いでいきたい。
町会・自治会・コミュニティ	新たな戸建て住宅の町会加入等は、積極的に働きかけて多くの人に参加いただいている。	町会加入していただいている状況にうれしく思う。
防災	避難所の収容人数に限りがある。なぜ在宅避難なのか、PRだけでなく説明が必要。あわせて安否確認方法についても検討が必要である。	地震が起きたら避難所へという固定観念があるが、避難所だけでは対応できない。備蓄の必要性とともに、在宅避難について案内をしていく。その場合、安否確認や情報、物資供給などの課題もある。地区においても防災塾等で計画づくりにご協力いただきたい。
環境・清掃・リサイクル	プラスチックの食品容器は一部ボランティアを除き、リサイクルセンターでしか回収されていない。回収場所を増やしていただきたい。	食品用透明プラスチック容器（以下、「透明プラ」）はリサイクル千歳台とエコプラザ用賀の2施設のほか、第2・第4土曜日に他の公共施設でも手渡し方式で資源回収を実施している。一見、単一素材に見えるものでも透明プラは複数の素材が使用されているため、手渡しによる回収方法で実施している。区としてもプラスチックに関する課題は認識しており、6月にも、清掃・リサイクル審議会の答申において、プラスチックの分別収集が有効である旨を明示した。一方で、集積所での実施には、車両手配

		にも時間を要し、予算の課題等もあるため、すぐに開始とならないのが現状である。早急に拠点数の拡充等の対応が取れるわけではないが、担当部署として事業検討に関する貴重な意見として活用させていただく。
福祉	障害者が65歳になると高齢者の制度を利用することになり、制度の変更等で生活変化が生じてしまう。8050問題もあり、保護者が区外まで障害者を連れていくことも困難な状況がある。区内でサービスが完結することを要望する。	65歳で、従前のサービスを得られなくなるという声はきいている。区としては、その制度間の隙間をどう埋めていくのかを議論していく。今後も現場の意見をご提案いただきたい。
福祉	高齢者のシェアハウス運営を目指している。区内には地域資源である空き家がたくさんあり、その活用のためには、遺産、税制、施策等を総合して検討していく担当課の設置を検討してほしい。	トラストまちづくりで空き家の活用支援などを実施している。空き家の子育てひろばへの活用なども行っている。相続が生じると売却というふうに進むが、区としても、早めに動きをつかんで対応していきたい。空き家については、ふれあいの家などへの活用事例もある。
子ども	保育所待機児童についてコロナ禍では0だったが、最近はどういう状況か。	今年は待機児童が10名ほど生じた。これまでの待機児童対応で保育所は従前の倍ほどの定員となったが、3人兄弟が3保育所というようなアンマッチがある。こうならないような対応、マッチングの改善を図りたい。
道路・街づくり	祖師ヶ谷大蔵駅の駅前広場に公衆トイレを設置してほしい。駅のトイレは利用を断られることもある。	駅前広場について、意見交換も行いながら整備している。世田谷区公共施設等総合管理計画では、誰でも使えるトイレについて、公園や庁舎などのトイレも含め、概ね利用距離500m以内に配置することを基本的な考えとしている。 鉄道駅のトイレ利用は、交通政策課を通じて改めて鉄道事業者を確認し、対応を求めている。
道路・街づくり	東宝前の新しい橋の工事に関連し、工事車両以外の車両もスピードを出して通行する。立て看板で安全走行に向けて注意喚起をしてほしい。	工事車両には土木所管を通じて注意を働きかける。一般車両についても状況確認の上、注意看板の設置などを検討する。

道路・街づくり	NHK 技研から世田谷通りの旧道において、スピードを出す車が非常に多い。スピードを出さないための施策や安全のための施策を検討してほしい。	現場を調査して危険な箇所に看板等を設置するなど、判断していきたい。
道路・街づくり	大蔵1丁目から玉川方面にバスで行くときに、玉川病院を通過してしまうようになった。元に戻すことができるか。	病院長からも同様の話を聞いている。バス事業者に状況を確認する。
道路・街づくり	大蔵2～3丁目の世田谷通り交差点について、国税庁の寮の角が狭く、自転車、歩行者が危険なことがある。国税庁の寮内の空き地をセットバックして交差点を広げて欲しい。	平成28年12月に大蔵三丁目地区地区計画を策定し、その中で、地区施設の整備方針に基づき、地区内に区画道路を配置している。ご質問の東京国税局大蔵寮東側の道路については、計画幅員13mの区画道路1号に位置付けており、現在は道路用地取得に向け、事業協力に向けたご理解、ご協力を得るべく、交渉を進めている。
道路・街づくり	8月1日号の区のおしらせ掲載の『ベンチのあるやさしいまちに向けて』を読んだ。結果が分かった時には知らせてほしい。	だれもが安全に安心して外出できる地域社会の実現をめざしており、その一つの施策として商店や商店街などにベンチを設置する際の費用補助を行っている。補助に向けて手続きを開始している案件もある。
交通	予約制乗合ワゴンについて、希望の時間に予約が取りづらいが、乗ると1人だけということもあり、予約システムに問題があるのではないか。また、砧7・8丁目への運行も希望する。目標数値と実績に差があるようなので、実証運行がうまくいくように取り組んでほしい。	一日90人利用の目標のところ、現在は30人程度である。今は利用者を増やしていく取組みを進めたい。予約システムについては、状況を確認していく。また、運行範囲の拡大については、状況を踏まえて検討していく。
交通	予約制乗合ワゴンについて、とても便利なので実証運行を成功させてもらいたいが、利用者が少なく中止になってしまうのが心配である。	広報に力を入れ、多くの方に使っていただくようにしたい。
交通	電動キックボードについて、事故が起きる前に対策を求める。	時速6キロ以下であれば歩道も通行でき、ヘルメットも無くてもよいというのはどうかということもあり、区でもルール等で対応しなければと考えている。

交通	予約制乗合ワゴンについて、乗降地点の増設は可能か。大蔵団地の工事が終わったところに設定できないか。	新たなリクエストについて、交通政策課に報告共有していく。
交通	予約制乗合ワゴンについて、まちづくりセンター職員、ケアマネージャーなど、シニアの方と接する機会がある方に無料乗車券を1枚ずつ配布して一度だけでも乗車体験をしてほしいと思う。体験していないと心から説明することは難しいと思う。	職員も体験した上で、区民の方に案内している。多くの方にご利用いただくために、様々な機会を捉え周知活動を進めていく。
公共施設	区内に一か所しかない男女共同参画センターなどで開催する講座・講演を児童館や、まちづくりセンターなどでライブビューイングしてほしい。	8050問題などで世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」などでは出張相談等を行っている。全区ニーズのあるものについて、それが行き渡るようにしていきたい。
公共施設	多目的トイレを、健常に見える内部障がい者や健常者が利用する際に、小声で嫌なことを言っている方に出会ったことがあり、ケガをして利用したときに苦しい気持ちになった。病院や学校の公共施設に2～3個のだれでもトイレを増設してほしい。そしてそういった苦しい言葉をいう方が減ってほしいと思う。	世田谷区では「世田谷区ユニバーサルデザイン推進条例」（以下「UD条例」という。）を定めており、一定の用途及び規模以上の施設を計画する場合、事業者等にUD条例の届出を実施し、基準に沿った設計を行うよう誘導している。整備基準などをまとめたUD条例施設整備マニュアルでは、多様なトイレ利用者を想定し、車椅子利用者用便房、オストメイト対応汚物流し、ベビーチェア、ベビーベッドのある便房を複数設置することや、機能分散といった考えを示すなど、事業者へ理解と協力を求めている。また、ハード面の整備だけでなく、バリアフリーの必要性への理解促進とともに、多くの方がまちを快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインの工夫や配慮を紹介するため、区民参加のワークショップを毎年開催しており、参加者の様子や意見も添えた冊子「世田谷UDスタイル」を毎年発行、配布している。

公共施設	砧小学校の改築はどうなっているか。	砧小学校・砧幼稚園の改築事業は、令和元年12月に整備方針及び基本構想の方針を示し、その計画をもとに令和2年度及び令和4年度に事業者選定を実施したが、選定に至らなかった。今年度を目途に新たな整備方針をまとめ、報告する。
その他	図書館への民間活用を見直してほしい。図書館運営協議会について、回数増の検討や区長への報告状況、区長の参加の意向について聞きたい。また、区の職員として学校司書を採用してほしい。	直営が原則だが、開館時間の延長などのニーズも踏まえ、指定管理を導入している。今後も図書館ビジョンの検討会や図書館運営協議会に参加していきたい。司書の配置は委託で行っているが、実情は検証していく。

○上北沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	まちづくり協議会の参加が少ないため、宣伝のためにビラを配ったりしているが、ボランティアでやれる仕事は限られている。そのため、支所に補助を求めている。現状の制度では、金額が少なく手続きが煩雑である。	今年度予算では交付要綱の上限額で協議会活動助成金が配当されている。報告手続きが煩雑という点は、本助成金は、地域住民等の主体的な活動支援が目的となるため、広く区民へ使途などを説明する必要があることをご理解いただきたい。
まちづくり	明大グラウンドをリフォームしてから、一般の人は入れない。一時集合場所になっていて、昔は防災訓練などもしていたが、リフォーム後は訓練を1回もしていないため、ご指導をお願いしたい。	グラウンドを地域に開くよう大学に伝える。
町会・自治会・コミュニティ	自治会の加入率低下の原因や、努力しても改善されない理由など伺いたい。	都営八幡山住宅の建替えに伴って世帯数が増えると思われるが、八幡山自治会がどういう形になるかはまだ見えてきていない。自治会長とのお話の中で、加入者もそうだが役員を確保することも課題と認識している。
町会・自治会・コミュニティ	まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会及び児童館が連携する体制は非常に素晴らしいと思うが、効果や課題など、評価を伺いたい。	縦割りをなくすための取組みとしてサービスの体制は整理されたと思う。この先、住民の皆さんが積極的に情報をやり取りしながら、そこに区職員が課題解決にあたるのがどんな問題でもできるかどうか課題だと思う。
DX	デジタル化は、広く全体を見られる人がリーダーシップを取っていかないとうまくいかない。	副区長はITだけではなく、福祉の活動も熱心にやっているなので、間を繋いで、できるだけ使いやすい、回しやすい仕組みを作って行こうと思う。
防災	八幡山北側の商店街に住んでいるが、住所は杉並区のため、避難場所が遠い。松沢病院は広いので、世田谷区と杉並区で協力して、防災の拠点を作れないか。	杉並区とも区境問題について何回か話しし、具体的には合同パトロールの実施を考えた。行政サービスや、防災の関係、図書館の利用などもあるので、総合支所や杉並区、まちの皆さんと意見交換をしたい。杉並区長にも必ず伝える。

環境・清掃・リサイクル	ごみ出しのルールを守らない住民に対し、区は指導を強化すべきではないか。	ごみ出しのマナーが悪い集積所については、清掃事務所で現地を確認した上で、個別に指導を行っている。お困りの案件がある場合は、清掃事務所までご連絡いただきたい。今後、区のおしらせや資源・ごみの収集カレンダーなどの広報を通じて、ごみ出し方についての住民への普及啓発をより推進していく。
子ども	青少年地区委員の設置基準の目的が「青少年をめぐる社会環境の浄化」となっているが、「浄化」というのは終戦直後の表現である。	青少年地区委員会の定義は確かに古い。区で議論して、再定義するように考えていきたい。
子ども	生活困難な子どもに対してのサポートを、区は福祉として位置付けているのか、あるいは将来の投資として位置付けているのか。	児童養護施設は皆さんのご厚志で長期的な支援が可能になったが、ひとり親家庭や生活保護世帯にも拡げていかなければならない。若者支援は福祉として進めてきたが、次世代につなげていく社会政策としてしっかり行っていきたい。
道路・街づくり	上北沢駅周辺のまちづくりについて、高架下を歩道として使えるような形にできないか。	高架下の利用については、15%は公共利用できることになっている。関係者間で利用について協議していくことになるが、ご意見はしっかり伝えていく。
道路・街づくり	八幡山駅南側に原っぱ広場がある。ただの広場ではもったいないので、活用してほしい。	都営八幡山アパートは建て替えが進んでおり、都と協議しながら使える空間ができる予定。まず、高齢者・障害者・子どもの施設を中心に要望していく。それ以上に使えるところがあれば皆さんの声も聴きながら検討していきたい。
道路・街づくり	京王線連続立体交差事業に関する側道の整備について、交番から西へ松沢病院に抜ける道が幅4mで狭い。上北沢地区は大きく見ると袋小路になっており、消防の大型車は入ってきても抜けられない。まちづくり協議会でも要望しているが、少しでも拡幅できるように努力していただきたい。また、上北沢駅の各駅停車の本数が少なくなっているの	側道の整備は都市計画上で4mとなっているが、残地の活用なども含めて、さらに工夫できないか、皆様のお話を伺いながらより良い街づくりに取り組んでいきたい。また、ダイヤ改正については、意見として京王電鉄に伝える。

	で、ダイヤ改正について京王電鉄に要望していただきたい。	
道路・街づくり	甲州街道にも自転車レーンがあるが、駐車している車があると車道に避けなければならない、車のスピードが早いので危険。車と自転車が事故に合わないよう工夫が必要かと思う。	区で新しく作る道路については、自転車がしっかり走れる道を意識したいと思う。
道路・街づくり	自転車で走る時はなるべく端に寄っているが、排水溝と道路の境目に段差があり、自転車が倒れてしまうこともあるので、段差を解消できるように工夫をしてほしい。	事故を誘発するような危険な箇所については、具体的にお知らせいただければ、国や都、関係部署に要望していく。
道路・街づくり	上北沢は駐輪場がないので、高架下に駐輪場を作ってほしい。	高架下の活用については整理できていない状況。皆様のご意見を、協議会をはじめ総合支所やまちづくりセンターに寄せていただけるよう体制を取っていく。
道路・街づくり	近隣の家の角が三角にけずられたため、大型の車が左折するようになり大変危険。我が家の前の道路は道幅が狭くなっている。交差点と道路の安全対策をしてほしい。	該当の箇所は、建築で道路が広がった箇所である。道幅が広いと勘違いした車が、左折した先で立ち往生していることがあるので、注意喚起のために「左折先道幅狭い」と記載した電柱幕を設置する。
交通	上北沢3丁目にある桜並木通りは、日曜日の10時から18時に歩行者道路になるが、車は回り道をする必要があり、非常に不便である。警察にも相談したが、解除のためのアドバイスをお願いしたい。	詳細な場所や、それぞれのご意見を改めて伺いながら、まちづくりセンターとも協力して相談にのる。
交通	エイトライナーの進捗状況を聞きたい。	エイトライナー協議会は今もある。今年も世田谷区が音頭をとり開催するが、毎回検討するごとに工事費が上がっていく。縦の交通が弱いという事実があるので、何らかのプランを考えていく時期になっていると思っている。
教育	子どもの不登校について、乳幼児期は児童館や健康づくり課の連携のもと支援をしているが、小・中学校までつながらない。	ほっとスクール希望丘は見学の申し込みが10ヶ月待ちで、不登校特例校も1校できているが、すぐに定員に達してしまう。学校の中で個別対

	不登校児が1200人いる中で、ほんとスクールに全員がすぐに入れるわけでもない。都立高校では、教室以外でも居て良い場所を拡充して不登校を受け入れている。小・中学校で居場所として認めてもらえる場所を作ってほしい。	応できる場所の確保や、教員の確保のために教員を目指している学生をボランティアで募集するなど、危機感を持って対応しているところもある。教育委員会だけではなくて、子どもたちが行ける場所を、学校の中にも外にも作っていくことを目指していきたい。
公共施設	音響の良い会場、音楽ホールが出来ないか。松沢病院の敷地を上手に利用していただきたい。	区民の利便性が開けるような使い方が出来ないか都や院長と話していきたいと思う。
その他	若い世代がもっと世田谷区に来るように考えてほしい。	マンション開発がされているが、相場が上昇していて所得がある方しかなかなか移ってこられない。子育て中の世帯とその手前の若い世代の支援を考えていきたい。
その他	2年前に引っ越してきた際に、コロナワクチンの申請書の送付や窓口の対応など丁寧にしていただき、感謝している。	コロナの関係は、保健所とワクチン接種の人数を増やして対応していた。お話を聞いて安心した。
その他	世田谷は縦割りが強く、横の連携が非常に悪い。区には障害児運動教室があり、スポーツ振興財団がやっているが、教育委員会が絡んでいない。	障害児運動教室であれば、障害福祉部はもちろん教育委員会も知っていなければならない。まちづくりセンターでも、区でどんな活動をしているか職員が十分に知らなければ皆さんと共有できない。まちづくりセンターの中で様々な活動についてご案内や情報へのアクセスができるようにしていきたい。
その他	桜上水と上北沢は連携している地域にもかかわらず総合支所が違うため、非常にやりにくい。支所の区画を見直すことは出来ないか。	地区の区画変更では、二子玉川の人口が増えたため、用賀地区を分割し二子玉川地区ができた例がある。地域の区画も未来永劫変わらないということではなく、住民の皆さんの声がどこまで高まるかによると思う。
その他	AEDが置いてあるのは役所や学校、公共施設のため、昼間は使えるが夜は使えない。コンビニに置いてもらえないか。	危機管理部や保健所と相談する。

その他	マンション交流会の今後の継続的な運営への危惧から、「問題点（現状分析）」～「課題抽出」～「仮設提案」の簡易プロセスで、交流会運営の改革を提案する。	ご意見をいただいた交流会への参加者数については、参加方法を会場とオンラインの併用にしたことにより増加し、区としても一定の効果があったと認識している。また、交流会では、提案書に基づく地域別交流会を開催するなど改善に着手している。区としては、いただいたご意見については、交流会と共有しながら、マンションの課題解決に向けた交流会の自主的な活動や組織運営を支援していく。
-----	---	---

○上祖師谷地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	地域の担い手不足が問題。若い世代は仕事等で余裕がなく、関わりたくないとすら思っている。彼らの意見に耳を傾け、どうやったら地域に参画してもらえるかを考えるべき。	次の世代の方たちが地域活動に参画できるようサポートしていきたい。例えば、福祉分野のボランティアをしている大学生に地域経営方針についての意見を求めるなど、若い世代のご意見もいただいている。引き続き若い世代の意見に耳を傾けることに努めたい。
町会・自治会・コミュニティ	民生委員に働き世代の若い方の参加が見られない。理由は、集まる時間帯や集まりの形態だと思われるので、土日開催、Zoomでも参加できるとすれば、もう少し若い世代の人も参加できるのではないか。	現在、民生委員にタブレットを配り、資料の共有など電子化を進めている。土日の開催やZoomの活用について、民生委員の皆様と相談しながら考えていきたい。
町会・自治会・コミュニティ	区に住みたい若い世代も多いが、一戸建ては高くて買えない。そこで、空き家をうまく活用できる方法があればいいのではないか。	現在、空き家活用の取組みは、トラストまちづくりで、貸したい人と借りたい人を結ぶマッチング窓口がある。また、空き家活用株式会社で、インターネット上で貸したい人と借りたい人をマッチングする仕組みがある。空き家活用をさらにきめ細かく広げるためには、法律で借り手の権利が非常に大きいので、トラストまちづくりなど第三者機関が入り、オーナー側が安心して貸せるようにすることが大事である。
DX	区役所での支払いにせたがや Pay が利用できない。烏山の駐輪場も現金支払いである。キャッシュレス化を進めることで手続きの迅速化につながると思うが、どのように考えているか。	区の手続きでは、せたがや Pay 以外のクレジットカード、民間の Pay、電子マネー等を現在導入している。せたがや Pay は仕組みが違うため相互に乗れない状況。つなげるためには相当の経費がかかるため、経費が掛からない方法があるのかを含め検討している。駐輪場については、25か所中20か所がキャッシュレス対応できるようになっており、徐々にキャッシュレスに変えようとしているので、お待ちいただきたい。

防災	都営住宅が建替えに伴って高層化している。災害時に備え、エレベーターを動かすための補助電源の使用や水をポンプで引き上げられるような設備を各団地に整えられないか。	都営住宅の対応は都だが、実際に災害が起きた時に対応できるのは区である。何とかすると簡単にお答えはできないが、問題があることは認識した。都営住宅の管理者である都に、いただいたご意見を伝えていく。
福祉	世田谷区立保健医療福祉総合プラザへ行くのに、烏山地域からだと遠くて不便。分院を烏山支所管内に作れないか。	烏山地域に作るとなると、5 地域全てに作らなくてはならないので難しい。子どもの夜間診療や休日診療については、総合支所内で対応していることもあり、今後、総合支所や区民センターのあり方を考えていく中で、保健医療福祉に関する機能も同時に考えていく必要があると思う。
みどり・公園	祖師谷公園から世田谷通りまでの仙川沿いの街路樹の枝が川に下りている。川が増水したときに巻き込まれて洪水を起こす原因になる。また、土砂も堆積しているので取り除いてもらいたい。	現場を確認するとともに、各管理者にいただいたご意見を伝えていく。
道路・街づくり	畦畔（けいはん）に6軒隣接している。現在、盛土の上に2メートルほどフェンスが設置され、強風の時はテラスを3回も雑巾掛けしなくては土汚れが取れない。昨年5月に双方納得の上で、整地やフェンスの撤去など全て終わる予定が、畦畔の対岸の方と交渉が進まず放置状態になっている。区は一刻も早く指示を出し、納得のいく解決策を提示してもらいたい。	ご意見にある畦畔の財産処理について予定通りの作業ができず、区としても困惑している。現在も畦畔の対岸の方と粘り強く交渉を進めており、隣接地の皆様、対岸の方、双方の納得のいく解決をはかっていく。
交通	大型商業施設や大きな病院が地区内にない。交通の便が悪く、南北の移動の道路も鉄道も都合が悪い。環状八号線を使ってモノレールをつくる計画をぜひ進めてもらいたい。	エイトライナー構想をエイトライナー促進協議会で進めている。地下鉄は費用が高く、大江戸線のように若干小さな地下鉄を研究し、新都市交通として環状八号線の上に橋脚を乗せるモノレールを研究したが、地下鉄と同様に費用はかかる。今研究しているのは、LRT（路面電車）と連結バスがあり、連結バスは設備がいらぬが、渋滞への影響がネックとな

		る。 今、区の交通問題は、既存の路線バスの撤退や減便が非常に大きな議論になっている。区ではワゴン車をオンデマンドで呼んで、家の前から病院やスーパーを回る実証実験を始めた。これを10か所に広げる検討をしている。
交通	9/15 号区のおしらせの交通安全自転車課の記事で「歩道で歩行者に対してベルを鳴らしてはいけません。」とあるが、根拠を知りたい。	道路交通法第54条第2項に「車両等の運転者は、法令の規定により警音器を鳴らさなければならないこととされている場合を除き、警音器を鳴らしてはならない。ただし、危険を防止するためやむを得ないときは、この限りではない。」と定められている。
交通	交通不便地域の解消のため、実験的に行われているオンデマンドのワゴン車の対象地域を広げてほしい。	予約制乗合ワゴンについては、今年ようやく実証実験が始まった。まずはこの実験を成功させるために、周知を徹底したい。
教育	中学校の通知表・指導要領・内申書の3点の仕組みが非常によくないと思う。中学3年生の先生方は、数字だけでなく子どものことをしっかり見てほしい。文部科学省は絶対評価、東京都は相対評価の運用をしている。世田谷区の学校なので区が絶対評価で運用してもらえたら、救われる子どもたちがいるのではないか。	今、総合教育会議をやっており、世田谷区の学校が魅力ある、子どもたちが夢を持てる場になるように、教育の作り直しについて、区で取り組んでいこうと議論している。 ただ、教員は都職員で人事権は都にあり、絶対評価・相対評価を区で決められないのが現状。いただいたご意見は教育委員会に伝えておく。
教育	教職員の人件費は都だが、教育内容は区教育委員会に任されているはずなので、評価・評定についても区教育委員会に責任があると思う。評価方法について、もう少し踏み込んで改善をしてほしい。	教育の内容は区に任されている、というご意見を教育委員会にしっかり伝えていく。

公共施設	地域の住民が宴会などでも使える公民館のような施設、コミュニケーションをとるための場所をつくっていただきたい。	けやきネットを使って利用予約をしていただく施設が多いが、飲食を伴った集まりをしたいというお話を伺うことも多い。ルール等について地域行政部と一緒に見直しを開始している。
公共施設	町会が活動をする場所が少ない。会合をする場所は、けやきネットで申し込めばあるが、荷物を置いておける場所がないので困っている。拠点となる場所をつくってほしい。	
公共施設	コミュニケーションを取るためにも、区の施設、学校等の利用時、飲食も可能にしてほしい。	区民センター、地区会館、区民集会所では令和5年3月まで基本的に飲食禁止という運用だったが、4月からアルコールを含まない飲食は可能とする運用を開始した。まず、第一段階としてお弁当と飲み物から運用して、ごみ処理の問題などの課題を検証しながら、今後さらに広げられないか検討していきたい。
その他	対象地域を限定せずに、住んでいる地域に近いあんしんすこやかセンターを利用できるよう、センター間で柔軟に対応してほしい。	粕谷在住の人から見て、あんしんすこやかセンターの場所が不便に感じるのは十分承知しており、要望があれば当該職員が各御家庭に訪問する形で対応している。
その他	個人情報管理について、開示しないという守りの意識が強過ぎて、逆にマイナス効果になっていないか。お互いのつながりが広がるような個人情報の開示の仕方や運用ルールを定めて、もっと血の通った話ができる社会になればよい。	過剰な解釈により様々な問題が起きていることは承知しており、御意見は受け止めさせていただく。

○烏山地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
DX	区民ひろばのイベント情報が散らばっているので情報を一元化し、ツイッター（現X）などでまとめて流してほしい。	イベント情報の一元化については、まちづくりセンター単位で、地域の皆さんの協力もいただきながら検討していきたい。
防災	団地の半数が高齢者で、話を聞き取りづらい方が多い。在宅避難の講演会を開催する予定だが、FM受信機を使用したいので支援してほしい。またプロジェクターは見づらいので、50インチのテレビも共有してほしい。	防災資機材助成については、町会・自治会等の相談を受けたものについて対応している。メニューが限られているところもあるが、地域振興課の防災担当に相談いただければ、災害担当課とも相談して、検討させていただく。
福祉	難病の母を在宅介護しているが、通っている病院から患者切りに遭った。区に相談してもたらい回しされてしまう。区では障害者や難病に対する対応が出来ていない。次の行先も相談出来ず困っている。	医療と介護の連携でお困りとのことなので、保健福祉課でご不安な点についてお話を伺う。
福祉	烏山地域と他地域の地域格差を感じる。乳幼児におけるコロナワクチンに対応している病院が1つしかなく、そこでは受けられず、他地域の病院で受けざるを得なかった。乳幼児を連れての移動は大変なので、地域格差を是正してほしい。	今は、接種会場は地元のクリニックにかなりシフトしている。地域格差はスポーツ施設にも言えることだが、キューズガーデンは第一生命の社会的貢献として区民が利用できる形となった。公園やみどりも意識して計画していきたい。
福祉	高齢単身者の方が部屋で倒れた場合、発見まで時間がかかった事例がある。近所づきあいで声をかけ合うだけでは、限界がある。「ネットワークの深化」の具体的な内容、目指していることを教えてほしい。	区では、ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者見守りの取組みとして「高齢者安心コール」、「民生委員ふれあい訪問」、「あんしん見守り事業」、「地区高齢者見守りネットワーク」を実施している。加えて、宅配事業者と「高齢者見守り協定」を締結しており、高齢者が安心して地域で生活できるよう重層的なセーフティネットを構築している。引き続き、高齢者の生活上の変化や異変の「気づき」につながる取組みや機会の拡充に努め、高齢者の孤立を防ぎ、必要な支援に結びつけられるように見守りのネットワークを深めていく。

福祉	<p>病院の対応に問題があるにも関わらず、区の保健所での研修講師や都の区西南部地域リハケア事業の委託先になっているのは不適切だ。研修の選定や事業審査・評価を誰がどのような基準で行ってきたのか説明してほしい。また、今後このような病院を講師にするのはやめてほしい。</p>	<p>世田谷区福祉人材育成・研修センターにおいて実施する研修の講師は、研修テーマの内容に精通している学識者をインターネットや文献を参考に探してほしい。以前登壇いただいた講師、各種委員会の先生方や関連団体などと研修センターとの繋がりを利用して、適任な講師を紹介することもある。また、参加者へのアンケートにて好評だった講師には継続して依頼することもある。引き続き、研修テーマや参加対象者のニーズなども捉えながら選定していきたい。</p>
子ども	<p>桜新町の産後ケアセンターが烏山地域からアクセスしにくいので、近い場所に作ってほしい。</p>	<p>産後ケアセンターは全区的に作っていくことを目指しており、至誠会第二病院でベッド数を確保する取組みは始まっているが、多くの方に使ってもらえるところまで至っていない。産後一番手のかかる時期に様々なサポートや助言があること、また保育園に入るまでの間、切れ目のない形で支援できるような仕組みを作っていく。</p>
みどり・公園	<p>烏山プレーパークについて、近隣の苦情で、焼き芋やリレー、ボール遊びができなくなった。子どもがのびのびと遊べる場所にしてほしい。</p>	<p>子どもたちがのびのび遊び育つということを保障しつつ、一定のルールを設けて近隣の方の理解も得られるように努めていきたい。</p>
みどり・公園	<p>烏山プレーパークの利用者が、もぐら公園に鳥居のようなものを建てる、駐車違反をする、泥足でベンチに乗るなど迷惑している。また、東屋の柱の根本が腐食する危険性があるため、直していただきたい。</p>	
道路・街づくり	<p>烏山区民センター周辺で建設中の建物は20mくらいの高さになると聞いている。30m以上の建物は控えてほしい。</p>	<p>当該建物については、法令等に基づき工事が進められているものと認識している。建築物の高さについては、地区計画で制限を定めることもでき、当該地区には地区計画が定められている。地区計画を定める際には、地域のご意見を聴きながら地域の実情に応じて決めていく。</p>

道路・街づくり	もぐら公園周辺は都道で分断されてしまうと、交通量も増え環境が悪くなる。見直しを検討してほしい。	当該道路は、優先的に整備すべき路線として選定されており、都により都市計画道路事業が進められている。令和元年6月5日に都が開催した「東京都市計画道路補助線街路第219号線 事業概要及び測量説明会」においても同様のご意見をいただいております。回答した内容を都建設局のホームページで公表しているため確認願いたい。また、ご不明な点は都及び区担当宛に確認願いたい。
道路・街づくり	岩崎学生寮跡地の取得に、近隣住民の署名を集めたが、区もご尽力いただき感謝する。	武蔵野の雑木林や貴重な野鳥等、地域の中でも大事なところであり、長い年月保存運動があった中で、区も協力し、跡地取得が実現した。計画道路については当初の経緯も踏まえつつ、区民や子どもたちにどうやって楽しんでもらえる場所にできるのか、地域の皆さんと一緒に考えたい。
道路・街づくり	寺町周辺の道路で2m幅のところが三か所あり、救急車も通れない。また、万年塀があり、倒れると危険なので対策願いたい。	狭あい道路の拡幅については、建築基準法のセットバックや地区街づくり計画などの街づくりのルールでの誘導が考えられる。皆さんのご意見を踏まえながら考えていきたい。万年塀については、会合等に参加する機会を通じて烏山寺町の皆様にご意見があった旨お伝えしたい。
道路・街づくり	補助216号線の甲州街道より北側について、高度成長期の整備計画をそのまま実施するのはいかなるものか。街路樹や公園が多いところに道路を広く整備して住みやすさにつながるのか、もう一度検討いただきたい。	烏山北住宅や松葉通り沿いの住宅の建て替え地域に近い部分のエリアと思われるが、団地の建て替えの協議が現在進行中で、道路をどのように造っていくのかも併せて協議が進められている。まちづくりは区民の方のご意見をいただきながら行うものと考えており、引き続き対応させていただきます。

道路・街づくり	千歳烏山駅周辺の街づくりについて、都市計画の要素以外に街のイメージづくりに地域の意識や行動が重要と考える。特に烏山区民センター周辺は烏山地域の街のイメージを向上させる上で重要。高齢者・障害者・子どもたちを含め、誰もが安全に過ごせる街、ユニバーサルデザインを体現した街づくりをしてほしい。	区は、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方の基、地元の活動等と連携した取組みを進めており、今後も安全で魅力あふれる街づくりを推進していく。
道路・街づくり	烏山地域に高層ビルを立てる際、ビル風が発生することを念頭に置いて、開発を進めてもらいたい。また高齢者に配慮し、歩道ありきの計画で進めてもらいたい。	
道路・街づくり	千歳烏山駅前の放置自転車について、道路を塞いでおり、大変迷惑している。個人のマナーの部分もあると思うが、区としても何か考えてほしい。	都や京王電鉄と協議し、駅周辺の街づくりを進める中で、駐輪場がどこにあれば便利なのか、区民の皆さんの意見も聞きながら検討していきたい。
道路・街づくり	補助216号線、補助217号線、補助219号線の道路計画について、道のないところを立ち退かせて造る必要があるのか。住民目線で道路計画の見直しを、区として声をあげていただきたい。	下北沢駅周辺において、優先整備路線を見直した事例などもあり、計画に載っているから速やかにではなく、区民の声に耳を傾けたい。ただ、南北の道路がないことによる不便さの声も一方であり、交通事故の危険が高まり、生活環境が脅かされることにならないよう、皆さん意見を伺いながら対応していきたい。
道路・街づくり	京王線立体交差事業について、南北の風の流れを閉じるような高架下の利用はやめてもらいたい。	高架下を区として使用できるスペースは限られているため、今後どのような機能をつけていくのか等、北沢・烏山総合支所合同で協議し、区民の方々の意見をいただく場を設ける形で準備を進めたい。
交通	甲州街道の烏山総合支所入口交差点について、歩行者の青信号の時間がすごく短いので、長くしてほしい。	甲州街道は道幅も広く、高齢者や子どもも利用する箇所でもあるので、成城警察署へ相談する。
教育	区は不登校の生徒の対応を担任任せにしている。担任によって対応が異なるので全教職員に研修を実施	どの子にも学ぶ権利があり、担任教師によって対応が違う、校長によって学校の方針が違うところを子ども

	すべき。	の立場に立って是正していく。
教育	給田幼稚園の存続について署名とともに要望しているが、進捗を含め何も回答を得られていない。進捗状況について情報が得られる場を設けてほしい。給田幼稚園をなくすことが本当にこの地域の子どもたちにとって得策なのかもう一度考えてほしい。	給田幼稚園の保護者の方からの署名や声は直接受け取っており、その趣旨を踏まえて幼稚園の今後の計画のあるべき姿について話はしているので、直接お尋ねいただき、お返ししたい。
教育	幼稚園の無償化が始まってから、区立幼稚園の園児数が減っていると思うが、減少を防ぐ対策をしているのか。給田幼稚園は入園説明会が全く周知されていなかった。区立幼稚園の良い部分の周知に力を入れてほしい。	区としては、区立幼稚園の大事な経験とスキルを残していきたいと考えている。区立幼稚園を必要とするお子さんが通えるように、また情報が届くようにしていきたい。
教育	給田幼稚園ほど発達支援が必要な子に手厚くサポートしているところはないため、残してほしい。	給田幼稚園の発達支援に関する手厚いサポートは他幼稚園にはなく、再編されることで継続できなくなることは理解している。存続を求めている方へ、区として考えを示したい。
教育	性教育を学校で行ってほしい。	性教育は必要と考える。一時否定的に扱われた時期もあったが、現在転換点を迎えており、見直しの時期に入っていると思う。
教育	今年度予算のスローガンは「子ども全力応援予算」と聞いた。区の教員は区が養成するなど、区に必要な人材は区で賄う姿勢に変わりはないか。いわゆるエッセンシャルワーカーなど多くの人材を確保し、処遇も含め改善していくと良いのでは。	区独自教員については、現在区長部局と区教育委員会にて検討を進めている。

教育	<p>息子2人が中学在学中に不登校になった際、別室登校などの配慮も全くなかった。今の教育現場が子どもにとって余りにも厳しいもので、子どものための学校が、教師のための学校になっていないか疑問である。同じ区内に住んでいながら、なぜ中学校くらい自分で選べないのか。また、学校へ行かなくなった子どもに対しての救済策も全く整っていない。不登校特例校やほっとスクールではカバーしきれていないし、入れる人数も少なすぎる。各地区に歩いて行ける距離に、信頼できる大人に出会え、傷ついた子ども同士が穏やかに人間関係を育めるような居場所を早急に用意して欲しい。</p>	<p>本来、安全・安心であるべき学校において、児童・生徒が辛い思いをすることのないよう、子どもたちへの指導のあり方について、現状把握と指導改善を絶えず進めていくとともに、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた教職員への指導・助言の改善を図っていく。指定校変更は、「指定校変更許可基準」ほか、学校運営上または施設の受け入れ状況など、総合的に勘案し判断しており、地域とともに子どもを育てる教育を進めていることから、指定校変更が相当と認められた場合にのみ許可していることをご理解いただきたい。区では新たな不登校支援策として、本年6月から不登校または不登校傾向のある児童・生徒を対象にオンラインを活用した学習支援や居場所提供を行う「ほっとルームせたがY a h！オンライン（ONLINE）」事業を開始した。また、現在一部の区立小・中学校で実施している、ほっとルーム（別室登校）における学校生活サポーター（支援員）による支援拡充も図っている。今後も引き続き、不登校特例校分教室の拡充やほっとスクールの地域偏在解消と定員の拡大による居場所支援策の充実を図るなど、不登校施策を推進していく。</p>
公共施設	<p>地域のサークル活動を支える施設についてはアクセスがよく、歩いていける範囲にあることが重要。500m以内に施設があることを規定する「設置要領」のようなものがあると聞いたが、事実か。</p>	<p>施設の配置基準を定める要綱はないが、区民集会所は地区会館を補完するという考えのもと、区民センターは概ね半径1km、地区会館は概ね半径500mを利用圏内に施設の整備を進めてきた。しかし、様々な行政需要にこたえていくため、利用率の低い施設について近隣施設との統合や他の用途への転用に向けた検討を進めるといった考え方を、公共施設等総合管理計画の改定にあたり示したところである。</p>

公共施設	北烏山地区会館廃止に伴い、代替施設を作ってほしい。	区としては利用率を確認した上で、このような決断をした。代替施設の要望があることは認識しており、民間施設で一定の人数が集まれる広い場所、区民が利用できる場所がないか探っていく。
公共施設	烏山中学校のプール使用料について、高齢者及び障害者の団体の使用料の補助を行ってほしい。他区では無料か半額になっているが、世田谷区は23区で一番使用料が高い。	障害福祉部に伝え、区全体のサービスとして検討させていただく。
公共施設	けやきネットの更新に際して、条例の「他団体とメンバーの半数以上重複がある場合」に該当するため更新できなかった。当選確率を上げる悪用を防ぐ理由であれば理解できるが、団体の存在自体が問題ということであれば憲法違反、結社の自由の侵害である。見解を伺いたい。	団体の中には当選確率を上げるために複数の団体を登録している団体もある。区では機械的にそれを判断している場合もあるので、点検の仕方も含めて改めて検討する。お話の団体の存在自体を否定するつもりはない。
公共施設	けやきネット利用の際、時間の設定が不便。12時半～14時半までの回を利用することが多いが、13時まで昼食の時間で、実質活動が13時～14時半となり、13時～15時まで等使いやすい時間帯の設定にしてほしい。	10年前、枠数を増やそうということで時間帯を変更した。時間帯が使いづらいということについては、改めて検討させていただく。
その他	選挙について、投票率を上げるために選挙に行くことに楽しみを取り入れてはどうか。	区長選の投票率は46%に上がっているが、若者の投票率が低いのは確かなので、選挙管理委員会に意見を伝える。
その他	高源院の鴨池のかいぼりをしてほしい。	管理をしている高源院と相談する。また、湧水がどう影響するかについて専門的な知見も必要なので、かいぼりが適当かどうかも含めて、担当の部署と相談する。
その他	世田谷ナンバーを選択制にしてほしい。	国土交通省関東運輸局が管轄しているため、選択制はできない。

要望等一覧

車座集会での「意見・質問票」やご意見として承った要望等を項目に分けてまとめた。(項目は「地区別質問・意見等」と同じ)

項目	要望等(要旨)
まちづくり	インターネットが使える人、使えない人がいるので、それぞれの方に合わせた広報をお願いしたい。
まちづくり	地区ビジョンづくりを地域住民と一緒に考えていくことで自分事としてとらえていくことができる。地域の課題と将来像が見えてくるといろんな活動を民間連携で地域の方と一緒にやっていく必要があると思う。
まちづくり	成城100年祭が来年スタートするので、区の協力をお願いしたい。
まちづくり	北沢子どもの居場所(きたっこ)を今の場所、もしくは近くに存続してほしい。
まちづくり	スマートフォン教室は、最初の一步がなかなか踏み込めないため後押ししてほしい。
まちづくり	旧玉川高校を活用する場合、水害に備える意味でも、二子玉川ライズのリボンストリートのフロアーから同校に直接行けるような設備をまちづくりの基本的な設計として考えてほしい。
まちづくり	旧玉川高校の跡地活用については一部の人が優先的に使える形ではなく公平に使える仕組みを考えてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	町会離れが多い。町会加入促進を区からPRしてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	多世代交流・学習支援・子ども食堂の活動について、必要にしてくれている人はいるが、場所の問題が常にある。
町会・自治会・コミュニティ	中学校の陸上部の外部指導員をやっているが、地域の大学生や社会人の指導は中学生にとって貴重。組織の垣根を超えた交流は今後もより良い暮らしにするために必要なため、積極的に参加をしたい。
町会・自治会・コミュニティ	地区内の学校に通学しているが、学校として地域と関わる機会がほとんどないことが問題だと生徒会でも話題になった。また、地域の方から道で広がって通行の支障になっている、歩きスマホをしている等多くの苦情が来ており、生徒会も対策を考えている。まずは地域の方との関わりを増やそうと思う。
町会・自治会・コミュニティ	コロナ前は学校の先生も地域との交流について積極的に関わっていた。コロナが明けて世の中が普通に動くようになれば、また交流できると思う。学生の方には、交流したいという気持ちは持ち続けてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	中学生徒会で何かをしたいと思っても、学校の生徒がフォローしないと意味がない。何かを行う際、学校全体で目標に向かっていければいいと思った。
町会・自治会・コミュニティ	家庭、学校、地域と段階によってコミュニティが大きくなっていく中で、一番大事なものは思いやりと尊敬だと思う。地域には素晴らしい方

	がたくさんいるので、学生の方には、見習って頑張してほしい。
町会・自治会・コミュニティ	自治会・町会の高齢化により町会の活動に制限が来ている。区からの仕事も多く、このままだと大変な事になる。区として考えてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	忙しい子育て世代に対して、区がプッシュ型で情報提供する方法を検討してほしい。
町会・自治会・コミュニティ	町会に加入したい気持ちはあるが、自分で町会に連絡するのはハードルが高い。
町会・自治会・コミュニティ	コロナが始まってから、挨拶や思いやりが特にひどい。大人でも挨拶がなく、人間関係が昔と変わってきている。
町会・自治会・コミュニティ	町内会加入のメリットが分からない。非加入者とのコミュニケーションが課題だと考える。
DX	地域行政推進条例において、まちづくりセンターが四者の事業を繋ぎ、補完し合える活動を行ってほしい。また、情報の一元化と情報共有・発信ができる住民参加のDXを生かしたシステムづくりを、まちづくりセンターを中心に行ってほしい。
DX	LINEによる通報の対象に、日常生活を送る上で不安や懸念等があったときの一般的な連絡窓口も追加してほしい。
DX	デジタルを活用して、町会加入・未加入に関わらず区の情報を得て、よりよい生活が送れるよう努力いただきたい。
DX	QRコードやデジタルチラシなど、情報のデジタル化を進めてほしい。今の子育て世代はチラシを見ない。
防災	キャロットタワーにあるカメラを利用し、大規模災害時の発災場所や規模の把握をしてはどうか。またその情報を避難所等に集まっている人々へ迅速に伝えてはどうか。
防災	祖師谷まちづくりセンターに防火水槽があるので、有効活用するため、D級ポンプを置くなどしてほしい。
防災	明正小学校が避難所となっているが、野川を超えて、坂を上って避難できない。喜多見地区会館を防災の拠点にできないのか。
防災	在宅避難は、阪神淡路大震災の時に情報が行き届かず孤立した家が多数あったと聞いた。
防災	令和5年4月に避難所運営マニュアルについての説明会及び検討会があった。私も含め、避難所運営委員になった経緯も統一なく曖昧ということを知り、マニュアルの説明内容も検討（話し合っ）てみてという感じだった。在宅避難の勧めを中心に避難所に行かなくてはならない状況での避難所のあり方をこの委員メンバーでこの場所（地域学校）でやるかを話し、区で年齢も定めるなど決めたら、多くのメンバーも集めやすいかと思う。いつ起こるか分からない災害に対応するため、柔軟な対応や地域の声を聴いていただきたい。
防災	防災や交通のために大きな道路を造るのではなく、感震ブレーカーや防火壁の普及など、きめ細かい対策を取るべきではないか。
防災	災害時に大学生の支援が欲しい。小学校や中学校の避難訓練の際に組

	み込んでくれると良い。
防災	防災訓練を区の指導でやってほしい。マンションに住んでいるが、自分達だけでは不十分に感じる。
安心・安全	高齢者の一人住まいの方が倒れた場合に、早期発見できるようなデジタル的な仕組みをどう考えているか教えていただきたい。
環境・清掃・リサイクル	落書きに関して、治安悪化も予想されるので、地域で「落書き消し隊」の結成と助成をお願いしたい。
環境・清掃・リサイクル	路上のごみ捨てが増えている。シルバー人材センターが対応しているが、区でもさらに助成して欲しい。
環境・清掃・リサイクル	世田谷代田、下北沢に人が集まるのはいいが、落書きや自転車・バイクへのいたずらなどが多くなっているのが気になる。地域内にトイレがもう少し多いと良いと思う。
環境・清掃・リサイクル	近隣の賃貸マンションがごみの分別をしておらず、ごみが回収されずに、ごみ置場が荒らされる。例えば、賃貸マンションに施設管理担当者を置くことを条例で定めるなど、対策を考えてほしい。
環境・清掃・リサイクル	ごみ問題については、小田急の収集サポートサービス「Wooms」を検討してほしい。
環境・清掃・リサイクル	ジモティーを東地区にも展開してほしい。
福祉	下馬地区に宿泊入所施設を作してほしい。今、都営住宅の建て替えて土地が更地になっているので、その土地を有効活用してほしい。
福祉	移動円滑のための促進プランが出来上がり、梅丘、豪徳寺、松陰神社がモデル地区となった。今後、コード化点字ブロックの実証実験が行われるが、情報提供と共に、今後の対策にご協力いただきたい。
福祉	高齢者施設は隔離されているような気がするので、保育園と一緒にするなど、様々な世代が住めるような施設を考えていただきたい。
福祉	高齢者の増加により買い物弱者が増える。生鮮食品の宅配サービスの店を増やして欲しい。
福祉	認知症と診断され認知症を受け入れられない方が、予防的支援などのサービスを受けやすくするアプローチを考えてほしい。
福祉	「せたがやシルバー情報」の冊子を持っているはずの人で、存在を知らない人が多い。
福祉	高齢者を中心に体操の活動をしているが、どのグループも会場の確保に苦労している。区から積極的に会場のあっせんをしてほしい。
福祉	二人暮らしの兄と共にコロナに感染し、兄は病院へ緊急搬送された。その間、船橋あんしんすこやかセンターからの食材の提供やその後の確認など、心温める支えがあり感謝している。
福祉	区内でも障がい者に対する差別があると思う。安全で暮らしやすい街にするためその対策として、地域の皆さんとの「ワークショップ・意見交換等」が不可欠である。
子ども	産後2年以内に使える「片づけ」サービスなどがあると良いのではな

	いか。
子ども	代沢ほっこりんルーム（小学1～4年生向け学習支援事業）はスタートアップ事業ということで3年間の助成だが、継続した助成をお願いしたい。
子ども	プレーパークへの支援を充実させてほしい。
子ども	三島幼稚園跡地で学童が計画されているようだが、敷地を半分しか使わないと聞いている。全ての土地を使い、学童、幼稚園、幼児の遊び場、不登校児の居場所等「子どもの複合施設」として運営する事はできないか。三島幼稚園を残し、インクルーシブ教育を実現してほしい。
子ども	等々力児童館で子どもが心と身体の成長を支えて頂いている。キャンプ、ドッチボール夢プロを続けてほしい。
子ども	子育ての支援体制が10年で大分進化した。子育てひろば、子育て支援ネットワーク、児童館、支援員等、多くの方に活動やお手伝いをしていただいていることにお礼を申し上げたい。
子ども	成城さくら児童館について、いつも良い企画を職員が実施してくれるため感謝している。
子ども	おでかけ広場等、一時預りや利用できる施設が複数ヶ所あるのは有難いが、初回登録の度に個人情報登録するのが大変。一度の登録で関係する施設をすぐ利用できるようにしてほしい。
子ども	屋外でバスケットボールができる場所を造って欲しい。
子ども	保育園の数が12年前の2倍に増えていると話があったが、保育士の人数は足りているのか、先生の質は維持できているか、過酷な勤務になっていないか等、気になった。子どもたちひとり一人の支援ももちろん大事だが、先生の質を上げていくためにいろいろな対策を取っていただきたい。また、小学校の全学年で1クラス最大人数35人にすることは賛成である。
子ども	児童館を利用しておりとても助かっているが、区外の方や自分が幼い頃に使ったことがないと、全く知らない人もいる。児童館がどんなところかもっと周知した方がよい。
子ども	子育て支援の種類は多いが、必要な人に届いていない気がする。場合によってはアウトリーチまで進めていけると良いのではないか。
子ども	支援が必要なお子さんがとても増えている。就学前の無償化と同様に、3歳児検診や歯科検診などの支援について定型児以外の子にも目を向けてもらいたい。
みどり・公園	北沢川緑道の自転車進入が無くならない（一ノ橋～四ノ橋間）。更なる対策をお願いしたい。
みどり・公園	区の保存樹について、保有する方の維持に関する負担が多く、また、大木を切るにも多額の費用がかかる。保存するためには点検の回数を増やすなど工夫が必要。
みどり・公園	けやき広場の看板をすべて撤去してほしい。
みどり・公園	ビオトープを復活させてほしい。

みどり・公園	新しい公園の増設も重要だが、既存の公園の保全も同様に進めないと、不十分である。新たな公園保全条例のような条例がないと、質のよい居心地のよい公園は存続できない。公園周辺の環境を守る手立てを考えていきたい。
みどり・公園	地域に公園がないため、地域住民が気軽に集まることのできる場所を用意してほしい。
みどり・公園	公園のトイレをきれいに使いやすくしてほしい。
道路・街づくり	ボロ市通り沿いには複数の介護施設や保育園が立地しているが、交通規制、横断面構成は交通安全上の問題が大きい。路側帯の幅を2.25mに変更し、ゆずり合いの道路空間にするのはどうか。
道路・街づくり	建物の建替に伴いセットバックしても、植木鉢等が置かれ緊急車両がスムーズに通行できない所が見受けられるので指導をお願いしたい。
道路・街づくり	住宅ができ道路が広がっても電柱がそのままだとあまり意味がない。狭い道路での電柱の地中化はできないのか。
道路・街づくり	奥沢界わい形成地区について、緑を増やすため、住民が意識をもって取り組むことが重要だと思うが、同時に人々やペットが集い憩える小公園ないしは公共スペースが身近なところに多くあると良いと考える。地域全体が心安らぐ「我が家の庭」のように感じられるようお力添えをいただきたい。
道路・街づくり	玉川田園調布会は、環八通りで分断されており、道路を横断するための、信号から信号までは、約1キロ離れている。途中に2本の陸橋があるが、身体障害者や高齢者には利用が難しい。信号から信号までの途中に信号付きの横断歩道を設置してほしい。
道路・街づくり	玉川小児童2～300人が登下校で渡る権蔵橋踏切は極めて狭く交通事故の発生が危惧されるため、対策を進めてほしい。
道路・街づくり	瀬田交番前の国道246号線を渡る横断歩道について、道がデコボコしており段差もあるため、小さい子や年配の方の自転車の転倒が相次いでいる。段差がなくなるように整備を早くしてほしい。また、自転車に頻繁にぶつかりそうになるため、道に左側通行、右側通行がわかる矢印を書いてほしい。
道路・街づくり	瀬田交差点を渡ってくる自転車が、交番前の横断歩道を信号が変わる前にすごいスピードで走って来るので、信号の切り替えのタイミングを変えるのはどうか。自身が気を付けていても巻き込まれてしまう可能性が大きいので、死亡事故や重大な事故が起こる前に早急な対応が必要ではないか。
交通	甲州街道松原2丁目の信号から入り、2丁目13番付近の安全確保をお願いしたい。信号・横断歩道を設置する前に、まず、警察による取り締まりを始めて欲しい。
交通	成城学園駅前から成城町まで横断歩道がないため、設けてほしい。
交通	高速で走る自転車に恐怖を感じ、外出を控えがちになる高齢者も多い。身体的に弱い立場にある方々が安心して歩ける町づくりの一環と

	して、ポスターや立て看板を含め、思いやりのある自転車の運転を区として強く進めてほしい。
交通	コミュニティバスを実現し、特に区役所や文学館への交通を便利にしてほしい。
交通	南北のバス路線の拡充→バス会社が消極的なら財政補助
交通	二子玉川地区在住の高齢者、ハンディキャップ、子育て世帯の方を対象として、「丸子川⇄環八（用賀駅方面）」の急坂の行き来に、弊社保有の介護車両を活用していただくのはいかがか。
交通	千歳船橋駅のタクシー乗り場について、森繁久彌像の近く又は駅前北側の広場を削って設置してほしい。
交通	乗合ワゴンが良い取組みだが、採算性が問題である。継続するためにも利用状況のデータやKPI（重要業績評価指標）を開示した方がどちらの結果になっても納得感がある。予約後にメールで知らせるなどのシステム改変が必要だと思う。
教育	少子化による教育者減少のため、年代を問わない教育・教養サービスを増やして欲しい。
教育	喜多見8・9丁目は、本屋もなく図書館がないので、狛江市に行くしかない。
教育	プレーパークのような自由に外遊びができる環境をもっと整備しても良いと思う。
教育	世田谷市民大学の公開講座を行う広い会場がないので、大学の教室を使わせてもらいたい。大学生も参加できるようにして、地域との交流があってもいいのではないか。
教育	昭和女子大学では、空いている教室は貸し出せるので、ご相談いただきたい。
教育	スクールカウンセラーによるカウンセリングについて、区や学校から利用を促してほしい。
教育	対応できる職員がいないため、中学校で保健室登校している子が2時間くらいで帰らねばならない。不登校が増えてしまう状況がある。
教育	学校の先生が病欠等で休職された場合に代替の先生を配置してもらえず、本来受けられる授業の形態を受けられない状況が続いている。よりよい教育環境をつくっていただきたい。
教育	小学校1年生からタブレットが支給されているが、ただでさえランドセルが重たく、かわいそう。今後もそのような教育環境なのか。
教育	子どもの気持ちへの寄り添い方を考えるコンテンツ（不登校に限らず、思春期、タブレット依存やSNSトラブル等包括した内容、保護者向けのもの）を増やして欲しい。
教育	旧北沢小学校にオルタナティブスクールが開設されたらありがたい。オルタナティブスクールでも必要であれば内申点がつき、受験の際にも不利にならない仕組みがあると将来に希望もてる。小中一貫のような運営だと有難い。

教育	子どもたちが地域の学習を進める中で、実際に区民センターや図書館で働いている方の仕事やその場所を目のあたりする機会が奪われることは大きな損失ではないかと思う。子どもたちの学びの機会が奪われることのないよう、奥沢図書館の早い再開を希望する。また、区民センターには子どもたちが自由に過ごせるスペースもあると良い。小・中学校教員の確保が重要な課題であるとともに、施設や環境の整備についても現場の小さな声に耳を傾けてほしい。
教育	瀬田中学校体育館にまともなエアコンをつけてほしい。現状家庭用のエアコンが四台付いているが、全く効かず、授業や部活をできる環境ではない。
教育	瀬田小学校改築に伴い、中学校の校庭を小学校、地域が利用するため部活動の妨げになる。都や区の施設の優先的な利用をさせてほしい。年間計画に依りて年度はじめ（一般公募前）に緑地や公園などの野球場、サッカー場を部活動用に押さえさせてほしい。
教育	特に小学校の慢性的な教員不足の解消を区の教育委員会が主導してほしい。
教育	一部の地区を除き主任児童委員と学校との連携はとれていない状況である。主任児童委員の認知もあまりされていないように感じる。不登校、虐待など様々な問題がある中、地域と学校はもっと力を合わせて行くべきだ。
教育	砧から教育総合センターまで遠く、講座に申し込んでもほとんど当選せず参加できない。拡充の予定、他の所で同じように講座を行う予定はあるか。
公共施設	まちづくりセンター前または付近に休憩施設（ベンチ等）を設置してほしい。まちセンのトイレがいつも使えるわけではないので、天祖神社の公共トイレを改修してほしい。
公共施設	上用賀公園に防災訓練ができる防災広場を作って欲しい。また地域の子どもたちや老人でも参加できる花壇を作って欲しい。
公共施設	下馬6丁目は区の公共施設から遠く、不便である。図書館も遠いので、図書返却のポスト等をまちづくりセンターに設置してほしい。
公共施設	笹原小学校の理科室の机が古くなっているため、替えてほしい。
公共施設	下北沢周辺には運動する場所がない。北沢タウンホールの会議室等を利用し、高齢者でも簡単に気軽に運動ができる場所を設けてほしい。
公共施設	希望丘区民集会所の利用規定の見直しにあたっては、希望する団体が平等に調理室・集会室を利用できるよう配慮してほしい。
公共施設	保健センターのイベントの予約がなかなか取れないので、増設等を考えてほしい。
公共施設	地方分権により、住民に直結する問題の多くを区が担当することになったと思うが、権限的には国や都が握っているように感じる。都立公園や都営住宅のような区民が利用する施設に係る要望等について、区が代表して申し入れるようなシステムはあるのか。

その他	ガラス張りで人の動きがわかる銀行のATMコーナーがある。安心して利用したいので、建物内へATMを入れるよう働きかけて欲しい。
その他	来街者頼りの飲食店やエンターテイメントの店ばかりだと、オーバーツーリズムにより、住宅街の治安が悪くなる。
その他	車座集会で地域の大学に通う学生や学校の音に迷惑しているという話が出ていたが、子どもや若者は未来を作る地域の宝である。高齢者も皆、昔は子どもだったはず。若い人に大人の気持ちを理解してほしいと言うのは無理なことだが、大人は若い人の気持ちを理解できるはず。地域の子どもや学生、学校や大学を大切に思い、支援したいと考えている住民もいることを関係者に伝えて欲しい。
その他	情報のデジタル化についていけない高齢者もいるので、広報板も活用してほしい。
その他	人口問題やそれに対する取組みなど、予防的観点からの情報発信をお願いしたい。
その他	まちづくりをやっていた人材が何でも相談を受ける窓口を設置してほしい。
その他	ふるさと納税についての区長の考えに共感した。
その他	ボランティアに手厚い費用を出すべき。
その他	民間企業では個々の机を廃止してフリーアドレスにしたが、区役所は個々の机が決まっており、書類の山である。民間に遅れているので、DXをどんどん進めてほしい。
その他	車座集会について、出席者の服装や机の並べ方を工夫すれば、もっとラフな意見が出るようになるのではないかと思う。
その他	マイナンバーカードは不良品であり、不要である。
その他	選挙区の区割りが自宅前の道路を境に分かれているが、自分の地区の候補者の選挙演説を聞く機会がなく、選挙公報以外でも候補者のことを知る手立てがほしい。また、自分がどちらの地区か分かるようポスター掲示板に対象地区を入れてほしい。
その他	下北沢の図書館カウンターでは本や新聞が読めないので、実物の本が置いてある場所を作って欲しい。
その他	北沢総合支所の会議室を使って軽体操を開催するなどして欲しい。
その他	代田地区会館は常駐職員がいらないため陶芸教室しか使っておらずもったいない。民間に委託するなどして活用して欲しい。
その他	下北沢駅周辺はバス路線が少なく、区内の縦移動が不便。
その他	ごみ問題はごみ箱設置でなく、置き去りにされたごみを回収する方が効果的なのではないかと思った。また、ごみを持ち帰るように伝える工夫も必要である。
その他	世田谷区でもシニア戦力の活用の機会として雇用拡大の機会創出をお願いしたい。
その他	奥沢4丁目は東横線と目黒線に囲まれ、踏切りが横切り、生活弱者にとっては日常の行動が制限されることに繋がっている。奥沢区民セン

	ターの復活が見通せない今、空地进行を借りる等して老若問わず気軽に集まることの出来る集会所をつくってほしい。
その他	副区長の話し方が、早口で話についていくのに苦労した。部下に話しているような、またスライドの内容を知っている人に話しているような感じだった。区民には色々な種類の人がいるので、話し方を意識してほしい。
その他	音楽をする場所を増やしてほしい。
その他	区は、年齢・ジェンダー・職業等、多様な経験やバックグラウンドを持つ人材が集まっている場所だと思う。地域活動や子育て世代支援等に協力できることも多いと思うので、人材マッチングの仕組みづくりをしてほしい。 また、人材を必要としている団体、活動についての広報活動をしてほしい。特に区民の参画によって、よりよい形で進められるような取組みがあれば積極的に参画を募ってほしい。 副区長のように民間経験のある人のさらなる登用を期待する。
その他	10月には地区のお祭りや学校イベントが重なるため、たまがわ花火大会を夏に戻してほしい。
その他	お休み処について、ペットボトルを置くだけでなく、休めるスペースも確保してほしい。
その他	空家が増え、樹木が放置されて道路の安全性などが阻害されている。迅速に対応できる法的枠組みなどを整備してほしい。またシャッター店舗も活性化してほしい。
その他	冬季になり、コロナの再流行が見込まれるが対策や無料PCR検査の再開はあるか。
その他	回覧板で回ってくる情報が多いため、もっとまとめてほしい。量が多い故に結局読まずに回してしまっているのではないか。

○アンケート集計結果

車座集会開催後に行ったアンケートを集計し、地域別に以下のとおりまとめた。

アンケート内容

1 年 齢

- ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代
⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳以上

2 今回の「車座集会」を何で知りましたか。

- ① 区のおしらせ ② チラシ
③ 区ホームページ ④ 区メルマガ ⑤区X（旧ツイッター）
⑥ 区FM番組 ⑦デジタルサイネージ（実施地区のみ）
⑧ その他（ ）

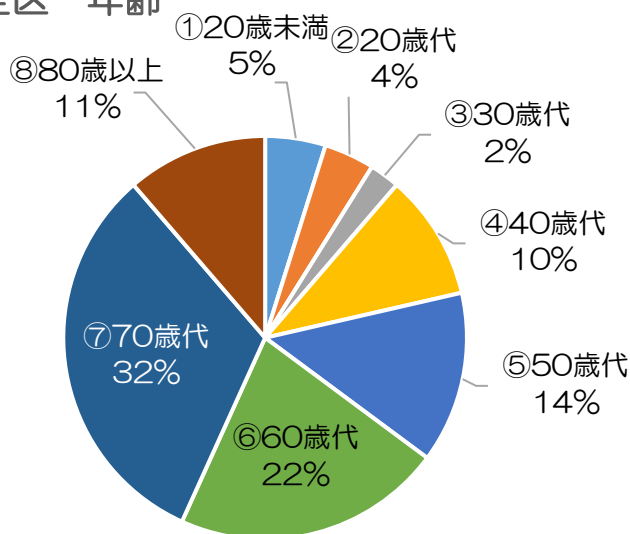
3 本日の感想をご記入ください。

地域別集計（アンケート1、2）

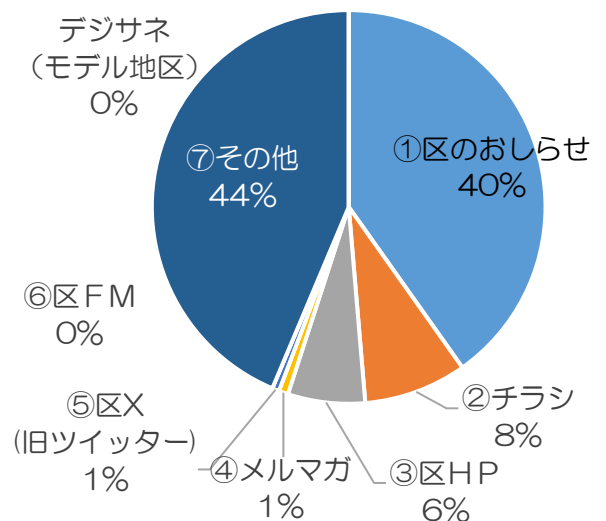
【全区合計】

参加者数	回答数	参加者：事前申込者 644 名、当日参加者 17 名 計 661 名						
661	496							
年 齢	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
	24	20	12	50	68	107	158	56
知った方法	①区のおしらせ	②チラシ	③区HP	④メルマガ	⑤区X (旧ツイッター)	⑥区FM	⑦その他	デジサネ (モデル地区)
	209	44	33	4	3	0	227	0

全区 年齢

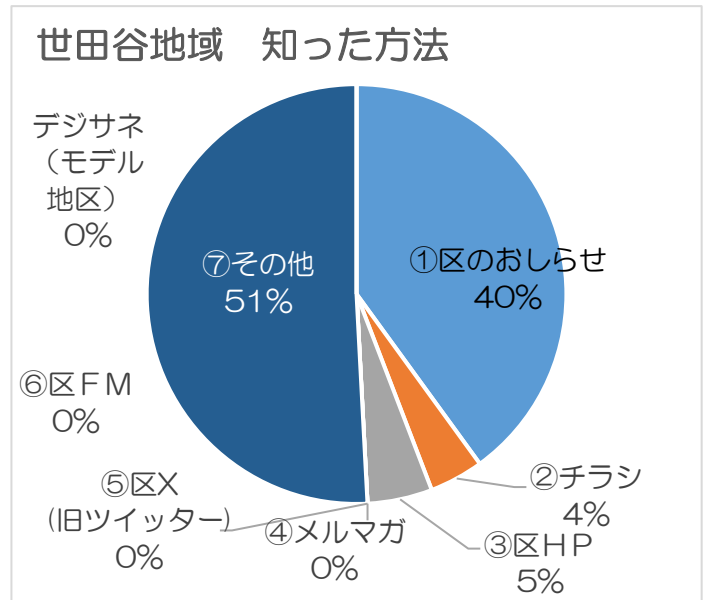
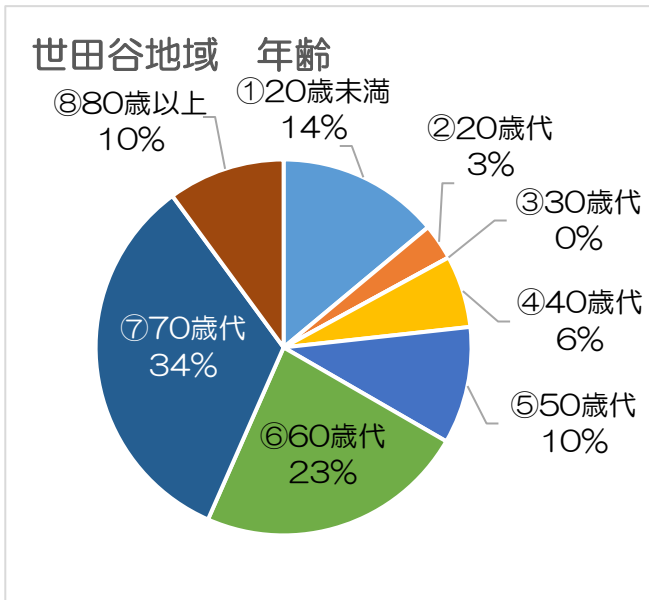


全区 知った方法



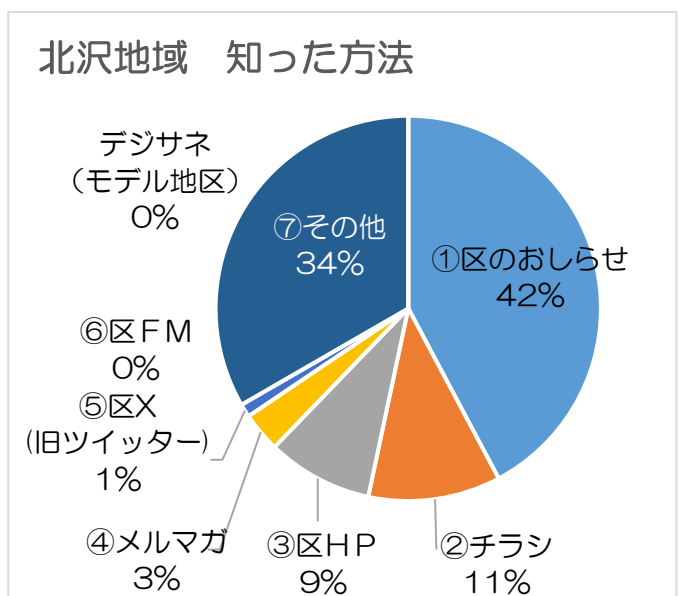
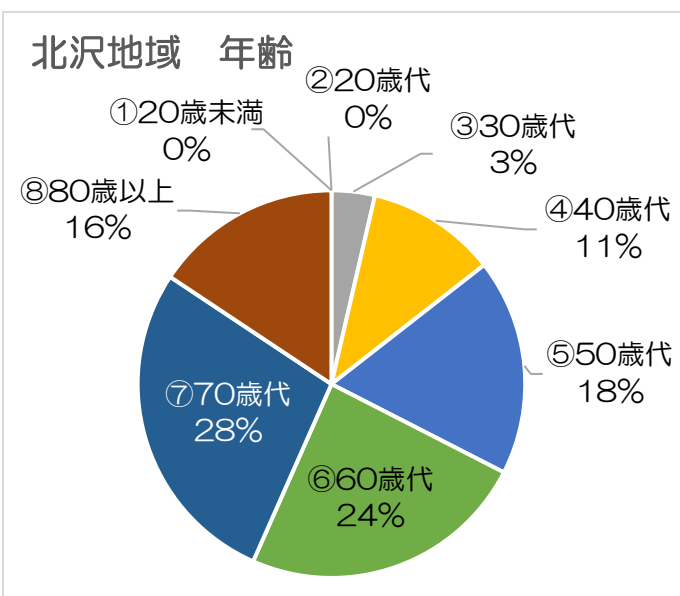
【世田谷地域】

参加者数	回答数	参加者：事前申込者 165 名、当日参加者 10 名 計 175 名						
175	129							
年 齢	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
	18	4	0	8	13	30	43	13
知った方法	①区のおしらせ	②チラシ	③区HP	④メルマガ	⑤区X (旧ツイッター)	⑥区FM	⑦その他	デジサネ (モデル地区)
	48	5	6	0	0	0	61	0



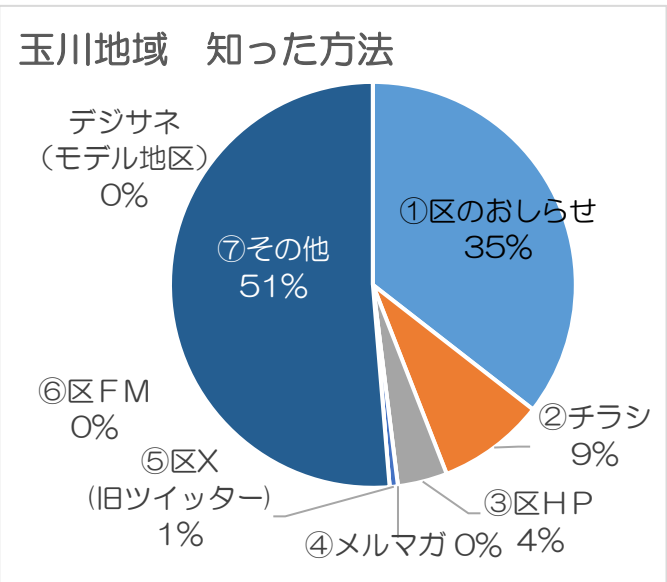
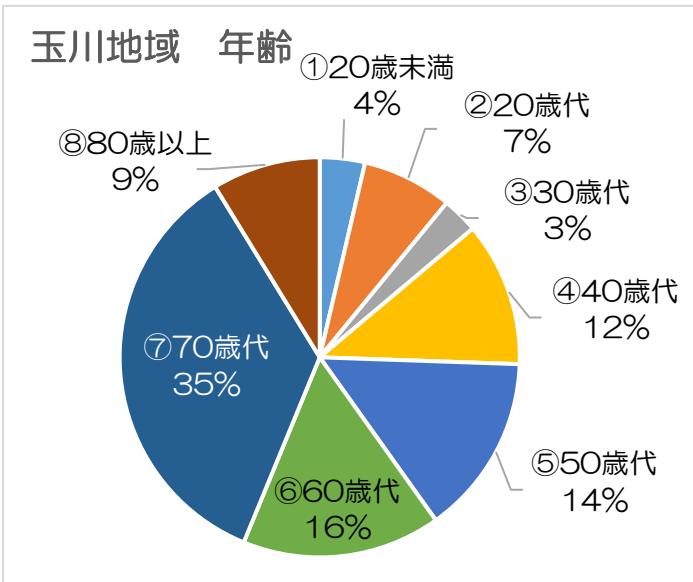
【北沢地域】

参加者数	回答数	参加者：事前申込者 117 名、当日参加者 3 名 計 120 名						
120	83							
年 齢	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
	0	0	3	9	15	20	23	13
知った方法	①区のおしらせ	②チラシ	③区HP	④メルマガ	⑤区X (旧ツイッター)	⑥区FM	⑦その他	デジサネ (モデル地区)
	38	10	8	3	1	0	30	0



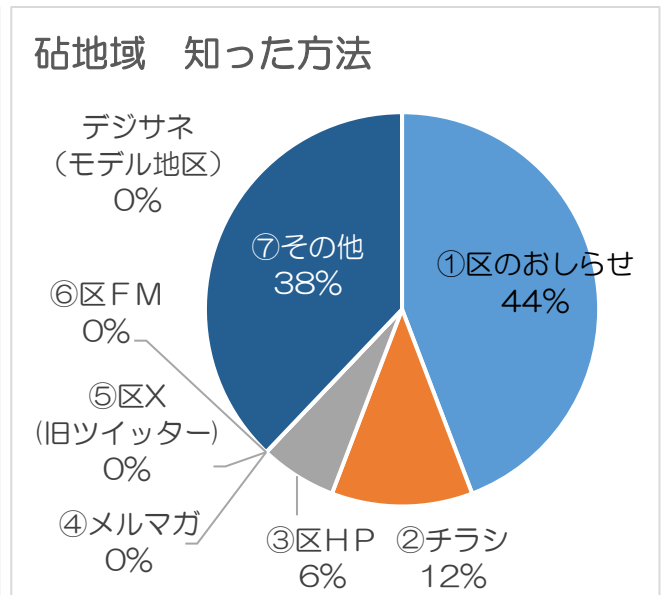
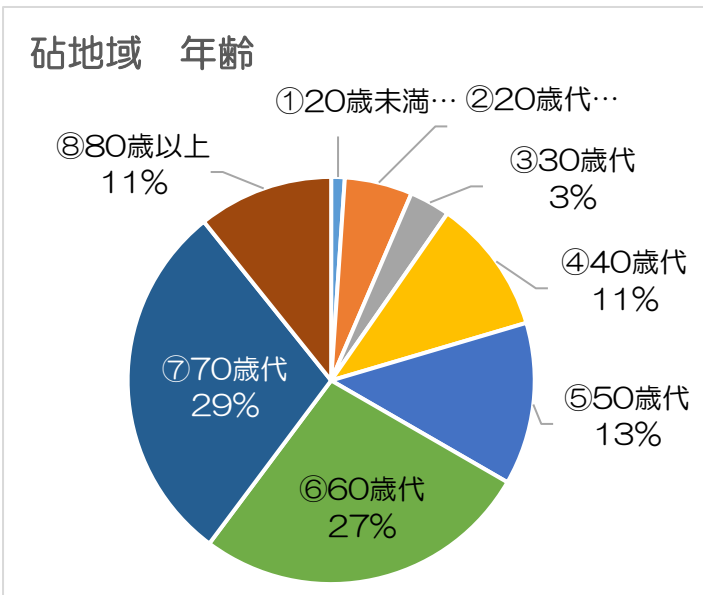
【玉川地域】

参加者数	回答数	参加者：事前申込者 178 名、当日参加者 0 名 計 178 名						
178	138							
年 齢	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
	5	10	4	16	20	22	48	12
知った方法	①区のおしらせ	②チラシ	③区HP	④メルマガ	⑤区X (旧ツイッター)	⑥区FM	⑦その他	デジサネ (モデル地区)
	54	13	6	0	1	0	78	0



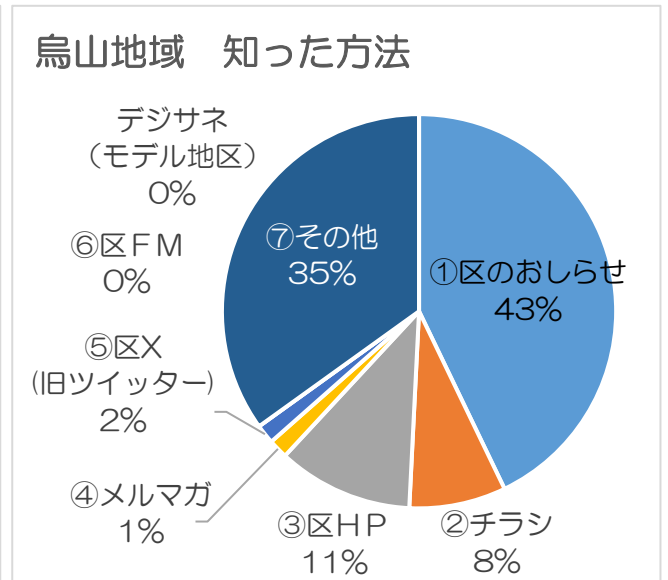
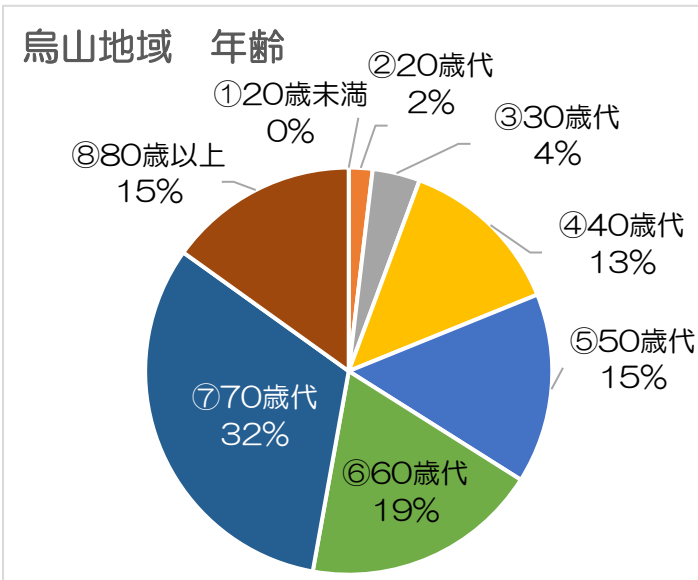
【砧地域】

参加者数	回答数	参加者：事前申込者 112 名、当日参加者 4 名 計 116 名						
116	92							
年 齢	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
	1	5	3	10	12	25	27	10
知った方法	①区のおしらせ	②チラシ	③区HP	④メルマガ	⑤区X (旧ツイッター)	⑥区FM	⑦その他	デジサネ (モデル地区)
	42	11	6	0	0	0	36	0



【烏山地域】

参加者数	回答数	参加者：事前申込者 72 名、当日参加者 0 名 計 72 名						
72	54							
年 齢	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
	0	1	2	7	8	10	17	8
知った方法	①区のおしらせ	②チラシ	③区HP	④メルマガ	⑤区X (旧ツイッター)	⑥区FM	⑦その他	デジサネ (モデル地区)
	27	5	7	1	1	0	22	0



当日の主な感想（アンケート3）※原文のまま

地区の現在の課題やこれからに向けて、多くの人から話を聞いたことで自分達はどこに照点を当てるべきかよくわかった。この地区の長所を生かしつつ、短所は改善できるように努力したい。（若林）	20代未満
若者を中心とする世代に、区に関する情報が届いていないことが問題だと感じた。若者世代は地域や区政に関して意識が低い人が多いと思うので、その意識を上げていくためのプログラムを充実させていくことが求められていくのではないかと思った。（船橋）	20代
さまざまな年代の方の意見や考えを聞くことができとても勉強になった。その場で区長の見解を聞くことができ区政を身近に感じる事ができた。（等々力）	30代
28 地区それぞれカラーが出ることは確実で、大きな面積、多数の住民を抱える世田谷区政の大変さを改めて認識した。地区ごとの特色がでるニーズではなく、共通してでる時代的なニーズはどのようなものなのかも興味深い。（喜多見）	40代
区長や職員の方がいろいろ尽力して下さっていることがわかった。自分のできることをしようと思った。まちづくりセンターに相談するのはまだまだハードルが高い気がした。（松沢）	50代
今回は前回に比べ参加者数も増え、多世代化した点が印象に残った。前回より多様な意見が聴けて良かった。（成城）	60代
具体的な意見に対して、区長だけでなく各関係部署が答えてくれたのは良かった。是非改善策をしっかりと検討してほしい。（上町）	70代
皆様の活発な意見、区民として自覚して過ごしたいと実感した。（上北沢）	80代以上